

元気はしま 21

みんなで作ろう
健康なまち



羽島市第2期健康増進計画

はじめに

今日、わが国は世界で有数の長寿国となりました。しかし、その一方で、急速な高齢化の進展とともに、疾病構造の変化に伴う生活習慣病が増加し続けています。その結果、医療や介護の必要な人々が増加し、深刻な社会問題となっています。

一人ひとりの価値観やライフスタイルが多様化し、健やかで心豊かに生活したいという意識は、年々高まりつつあります。市民の皆様方が、生涯にわたって健康で生きがいのある豊かな生活を送る健康寿命を延ばし、活力ある社会を創ることが重要な取り組みとなってきています。

羽島市では、平成 15 年度に「元気はしま 21」と称し、羽島市健康増進計画を策定しました。この計画は、個人の健康づくりを総合的に支援し、健康で長生きできる社会の実現を目指しており、市民の皆様一人ひとりが健康であってほしい、元気であってほしいという思いを込めています。

今回の第 2 期健康増進計画では、これまでの健康づくりの取り組みを評価し、より一層の推進を図ります。この計画の推進にあたりましては、市民の皆様方と地域、関係機関及び行政がともに協力し、社会全体で健康づくりに取り組むことが必要となります。

最後になりましたが、「元気はしま 21」の改定にあたり、ご意見・ご提言をいただきました羽島市健康づくり施策検討委員会の皆様方をはじめ関係各位に対し、心から感謝申し上げますとともに、今後の事業推進にあたりましても、倍旧のご支援、ご協力をお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

平成 25 年 3 月

羽島市長 松井 聡

目 次

第1章 計画策定にあたって

| | |
|-----------------|---|
| 1 計画策定の背景 | 1 |
| 2 計画の基本方針 | 2 |
| 3 計画の性格等 | 2 |
| 4 計画期間 | 3 |

第2章 羽島市の現状と市民の健康状態

| | |
|-------------------------|----|
| 1 人口の動向 | 4 |
| 2 出生・死亡の状況 | 7 |
| 3 介護保険事業についての状況 | 17 |
| 4 健康診査(検診)についての状況 | 19 |

第3章 前計画の最終評価

| | |
|------------------|----|
| 1 評価方法について | 23 |
| 2 目標の達成状況 | 23 |

第4章 今後の取り組み

| | |
|------------------------------|----|
| I 母子の健康づくり | |
| 1) 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保 | 31 |
| 2) 歯の健康 | 35 |
| 3) 育児環境と事故防止 | 38 |
| 4) 子育てと育児参加 | 41 |

| | |
|-----------------------|----|
| Ⅱ 児童・生徒の健康づくり | |
| 1) 栄養・食生活 | 44 |
| 2) 休養・こころの健康づくり | 48 |
| 3) 喫煙、飲酒および薬物使用の防止 | 50 |
| 4) 歯の健康 | 53 |
| 5) 性に関する知識 | 54 |
| Ⅲ 成人・高齢者の健康づくり | |
| 1 生活習慣病の発症・重症化予防と健康寿命 | 56 |
| 2 生活習慣に関する取り組み | |
| 1) 栄養・食生活 | 59 |
| 2) 身体活動・運動 | 65 |
| 3) 休養・こころの健康づくり | 67 |
| 4) アルコール | 69 |
| 5) たばこ | 70 |
| 6) 歯の健康 | 72 |

第5章 計画の推進

| | |
|---------------|----|
| 1 計画の推進体制 | 74 |
| 2 関係機関等の役割と連携 | 74 |
| 3 評価 | 75 |

資料

| | |
|-------------------------|----|
| 目標値まとめ | 76 |
| 羽島市健康づくり施策検討委員会設置要綱 | 82 |
| 羽島市健康づくり施策検討担当者名簿 | 84 |
| 羽島市健康づくり施策検討委員会名簿 | 85 |
| 元気はしま 21 第 2 期計画策定経過の概要 | 86 |

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の背景

日本人の平均寿命は、生活水準の向上や医学の進歩、生活習慣や生活環境等の変化によって延び、世界有数の長寿国となりました。しかしその一方で、急速な高齢化の進展とともに疾病構造の変化に伴い生活習慣病が増加し、医療や介護の必要な人々が増加し深刻な社会問題となりました。

国は、平成12年に国民の健康づくり対策として、21世紀のわが国を、健やかでこころ豊かに生活できる活力ある社会とするため、健康寿命の延伸などを目的とした、「21世紀における国民の健康づくり運動(健康日本21)」を定め、また岐阜県においても「ヘルスプランぎふ21」を定めました。

本市においても、平成16年3月に羽島市健康増進計画(第1期計画)元気はしま21を策定推進し、早期発見と早期治療によって疾病が進行しないうちに治す「二次予防」を中心とした施策から、疾病そのものを予防する「一次予防」を重視し、一人ひとりの健康づくりを支援してきました。

このような中メタボリックシンドロームの概念が提唱され、内臓脂肪が原因でなる糖尿病や高血圧症などの生活習慣病は、内臓脂肪を減らすことで予防が可能であることが明らかになりました。

今回の第2期計画では、これまでの健康づくりの取り組みを評価し、更なる推進を図ります。

さらに、この計画は平成17年に施行された食育基本法に基づく「食育推進計画」の内容及び21世紀の母子保健の取り組みである「健やか親子21」の内容を含めた計画としています。

2 計画の基本方針

(1)健康寿命の延伸

高齢化の進展及び疾病構造の変化を踏まえ、生活習慣病の予防及び社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上により、健康寿命の延伸を目指します。

(2)生活習慣病の発症・重症化予防の重視

日常の生活習慣を見直し、疾病を予防する一次予防に重点をおいた健康づくりを推進します。

(3)市民の主体的な健康づくりの取り組み

市民一人ひとりが自らの健康づくりを考え、それぞれのライフスタイルに合った方法で健康づくりを実践します。

(4)個人の取り組みを支える地域活動

健康づくりは、市民の個人的な努力だけでは限界があります。個人をとりまく家族、学校、企業、地域などと一体的に実践することが重要です。身近な地域の仲間や組織と一緒に健康づくりに取り組み、互いに支えあっていくことは、身体的な健康づくりだけでなく、地域への愛着や連帯感、生きがいなどこころの健康づくりにもつながります。

(5)市民の健康づくりを支える環境づくり

市民の健康づくりに対する取り組みを積極的に進めるための身近な環境の整備を進めます。

3 計画の性格等

(1)この計画は、健康増進法第8条第2項の「市町村健康増進計画」、母子保健分野における国民運動計画である「健やか親子21」及び食育基本法第18条第1項の「市町村食育推進計画」の3つの計画をまとめたものです。

(2)この計画は、「羽島市第5次総合計画」の下位計画であり、本市の関連計画や、岐阜県の「ヘルスプランぎふ21」などの関連計画との調整を図りつつ推進します。

4 計画期間

計画の期間は、2013年度(平成25年)を初年度とし2022年度(平成34年度)を目標年度とする10年間の計画です。ただし、社会情勢等の変化があった場合には、必要に応じて見直しをします。

第2章 羽島市の現状と市民の健康状態

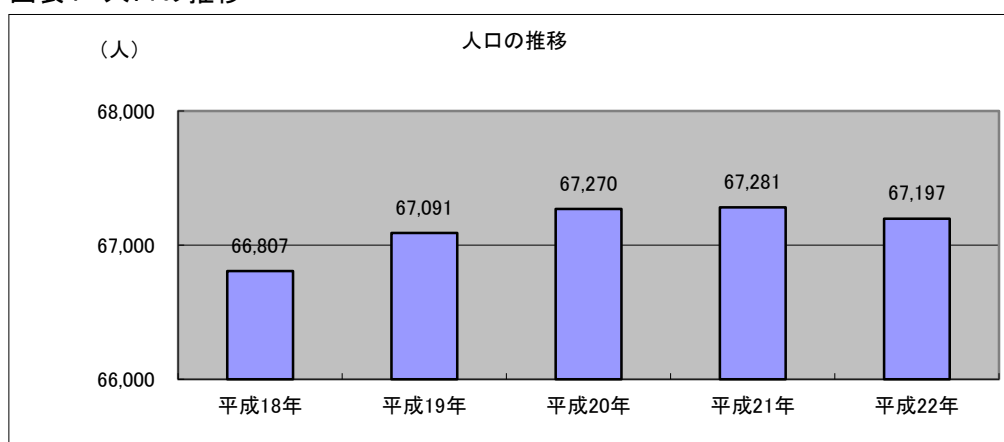
1 人口の動向

1-1 人口の推移

平成18年から平成21年にかけて人口の増加がみられましたが、平成22年度には減少しました。平成22年度の本市の人口は67,197人です。

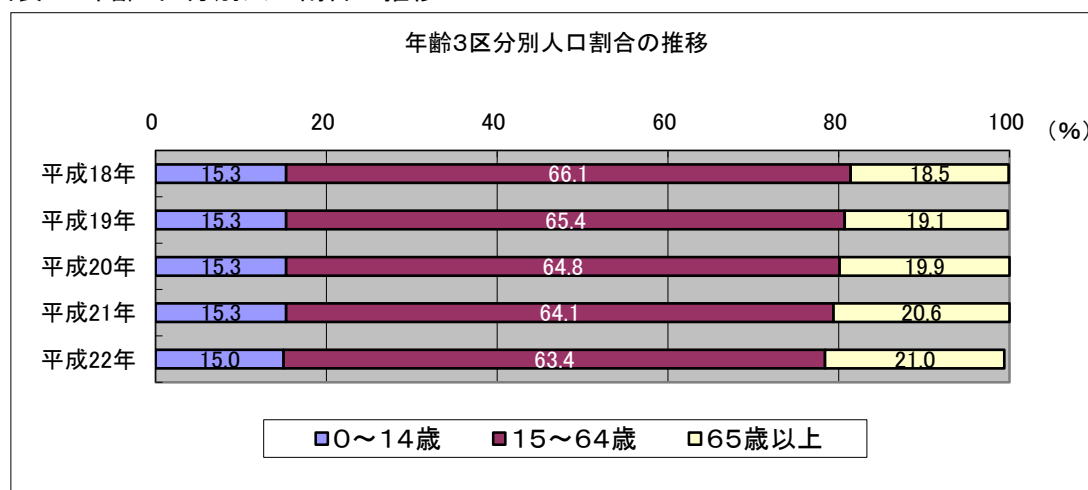
年齢3区分別人口の割合の推移は、15歳～64歳の生産年齢人口割合が減少しているのに対し、65歳以上の高齢人口割合は増加し、高齢化が進行しています。

図表1 人口の推移



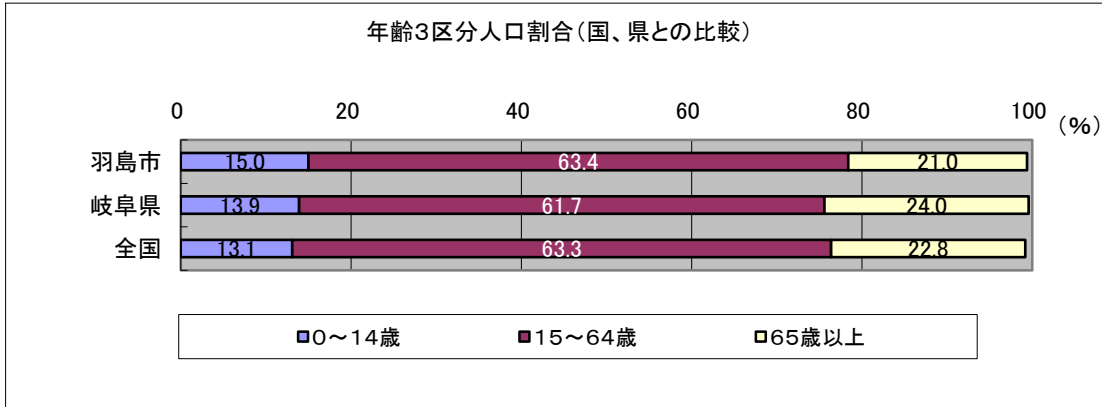
資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(各年10月1日現在)

図表2 年齢3区分別人口割合の推移



資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(各年10月1日現在)

図表3 年齢3区分別人口割合(国、県との比較)

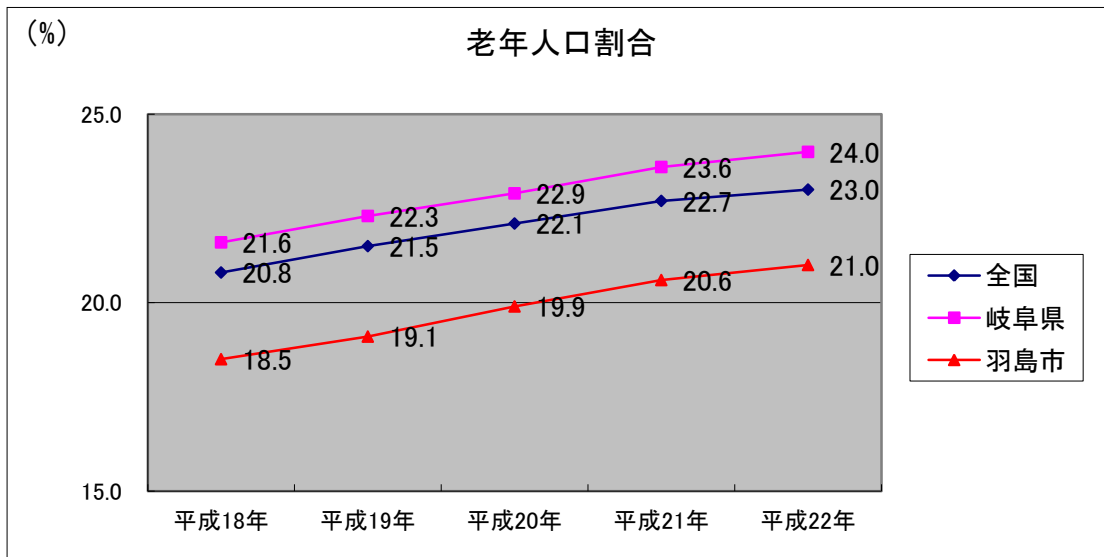


資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(平成22年)

1-2 老年人口割合(65歳以上:高齢化率)の推移

老年人口割合は全国や岐阜県より低いものの年々増加がみられ平成18年からの5年間で2.5ポイント増加しています。

図表4 老年人口割合



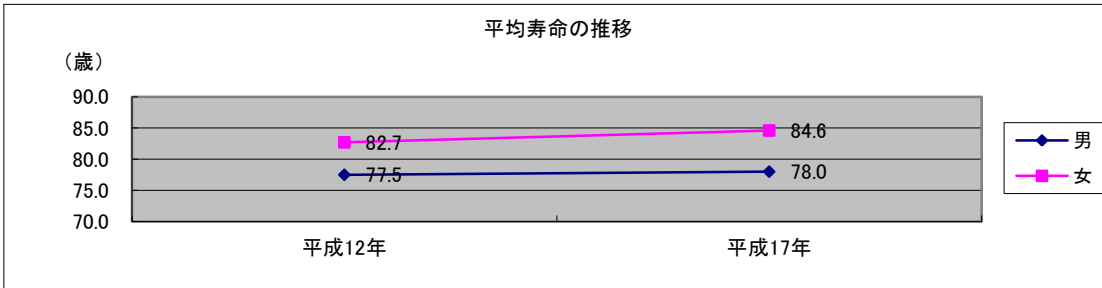
老年人口割合 = 老年人口(65歳以上の人口) / 人口 × 100

資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(平成22年)

1-3 平均寿命

当市の平均寿命の推移は、図表5のようになっています。また、平成17年市町村別生命表によると、男女ともに岐阜県内の市の中で最下位となっています。

図表5 平均寿命の推移



資料：厚生労働省「市区町村別生命表平成12年、17年」

図表6 国、岐阜県及び市町村別生命表(平成17年)

| | 男(歳) | | 女(歳) |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 全国 | 79.3 | 全国 | 86.1 |
| 岐阜県 | 79.0 | 岐阜県 | 85.6 |
| 可児市 | 80.5 | 瑞浪市 | 86.8 |
| 下呂市 | 80.1 | 下呂市 | 86.4 |
| 美濃加茂市 | 80.0 | 中津川市 | 86.3 |
| 飛騨市 | 79.7 | 恵那市 | 86.2 |
| 関市 | 79.5 | 美濃加茂市 | 86.2 |
| 美濃市 | 79.5 | 多治見市 | 86.1 |
| 郡上市 | 79.5 | 土岐市 | 86.0 |
| 各務原市 | 79.1 | 飛騨市 | 86.0 |
| 高山市 | 79.1 | 関市 | 85.8 |
| 多治見市 | 79.1 | 高山市 | 85.7 |
| 中津川市 | 79.1 | 可児市 | 85.6 |
| 恵那市 | 79.0 | 郡上市 | 85.6 |
| 瑞浪市 | 78.9 | 美濃市 | 85.5 |
| 大垣市 | 78.8 | 各務原市 | 85.4 |
| 土岐市 | 78.7 | 大垣市 | 85.4 |
| 本巣市 | 78.7 | 本巣市 | 85.3 |
| 瑞穂市 | 78.7 | 瑞穂市 | 85.2 |
| 海津市 | 78.6 | 岐阜市 | 85.0 |
| 岐阜市 | 78.5 | 山県市 | 85.0 |
| 山県市 | 78.4 | 海津市 | 84.7 |
| 羽島市 | 78.0 | 羽島市 | 84.6 |

2 出生・死亡の状況

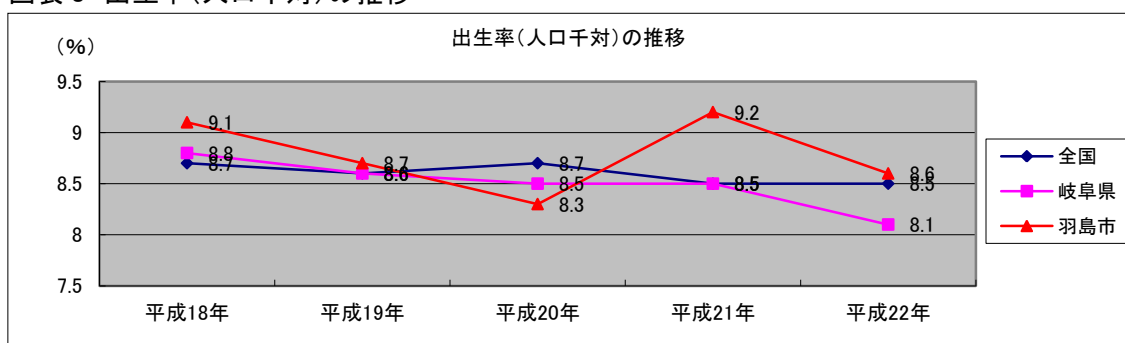
2-1 出生の状況

年間の出生数は 600 人前後で推移をしています。出生率は、平成 22 年では全国や岐阜県の値より高くなっています。

図表 7 出生数の推移

| | 平成 18 年 | 平成 19 年 | 平成 20 年 | 平成 21 年 | 平成 22 年 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 出生数(人) | 606 | 585 | 561 | 619 | 578 |

図表 8 出生率(人口千対)の推移



資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(平成 22 年)

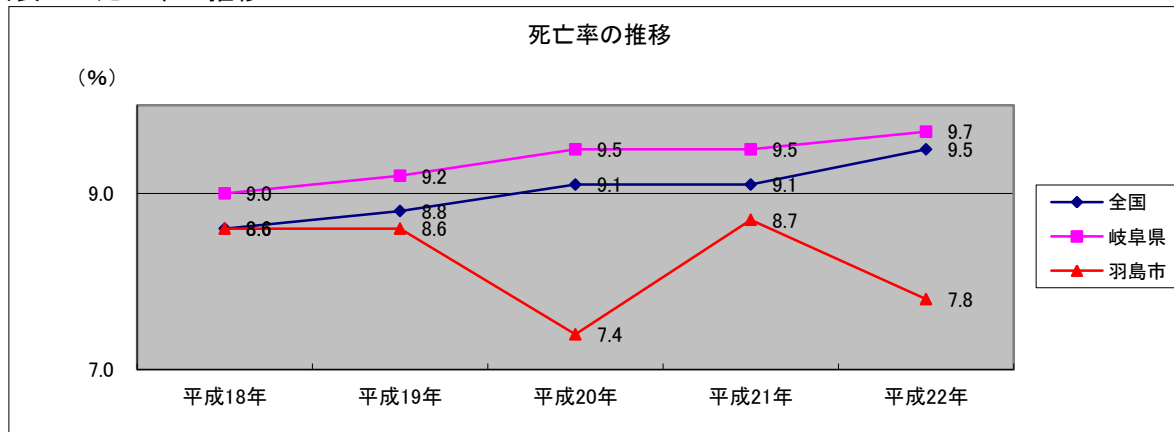
2-2 死亡の状況

死亡率は、全国や岐阜県と比べて低くなっています。

図表 9 死亡数の推移

| | 平成 18 年 | 平成 19 年 | 平成 20 年 | 平成 21 年 | 平成 22 年 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 死亡数(人) | 572 | 576 | 500 | 582 | 523 |

図表 10 死亡率の推移

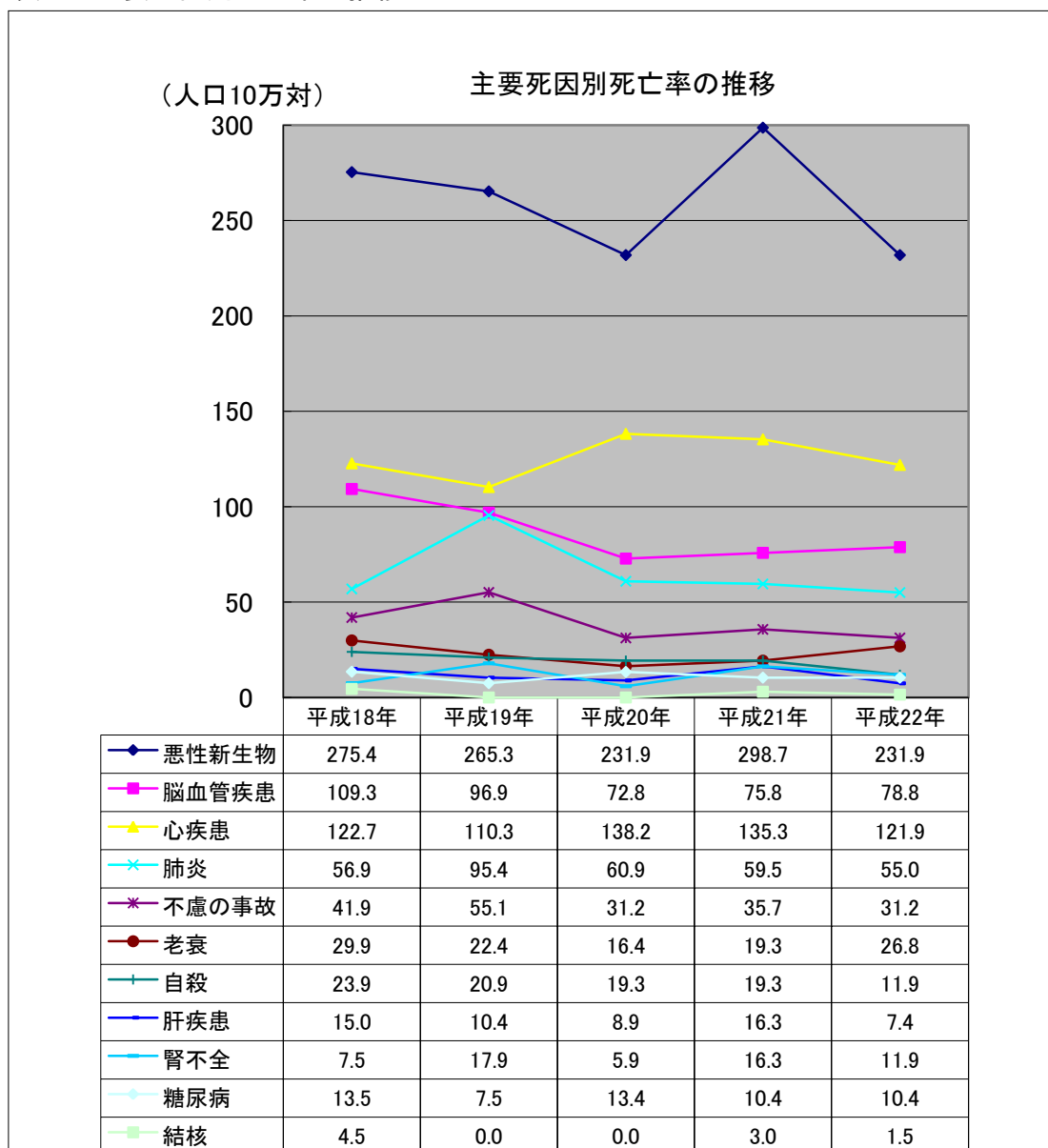


資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(平成 22 年)

2-3 主要死因別死亡率の推移

平成18年から5年間の死因の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患、第4位は肺炎となっています。

図表 11 主要死因別死亡率の推移



死亡率は人口10万人当たり死亡者数

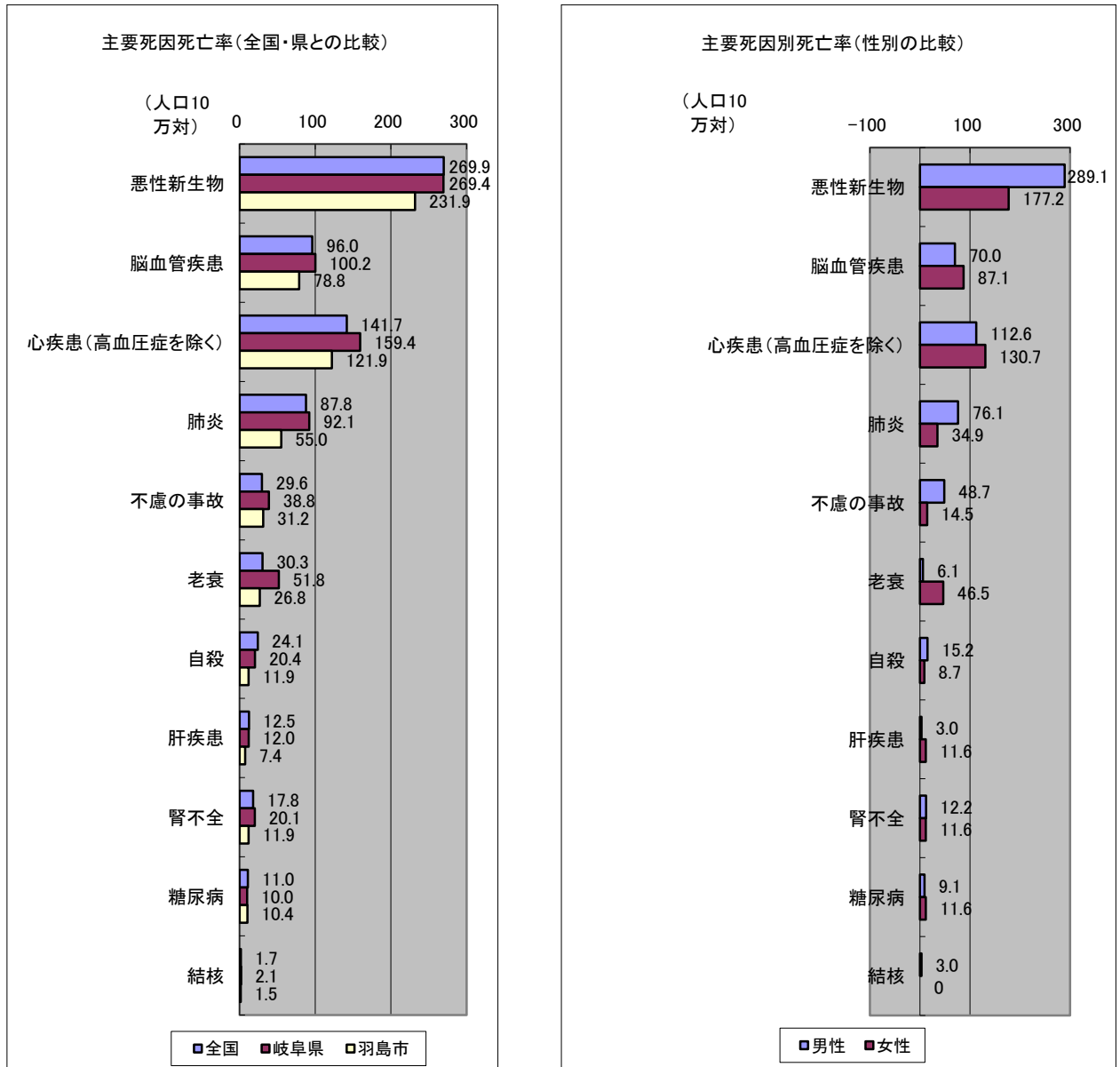
資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(各年10月1日現在)

2-4 主要死因別死亡率(全国・県との比較、性別の比較)

平成 22 年の主要死因別死亡率は、全国や岐阜県と同様に、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の割合が高くなっていますが、当市は全国や岐阜県と比べ死亡率は下回っています。

男女別では、悪性新生物、肺炎、不慮の事故は男性の方が多く、脳血管疾患、心疾患(高血圧症を除く)は女性の方が多くなっています。

図表 12 主要死因死亡率



資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(平成 22 年)

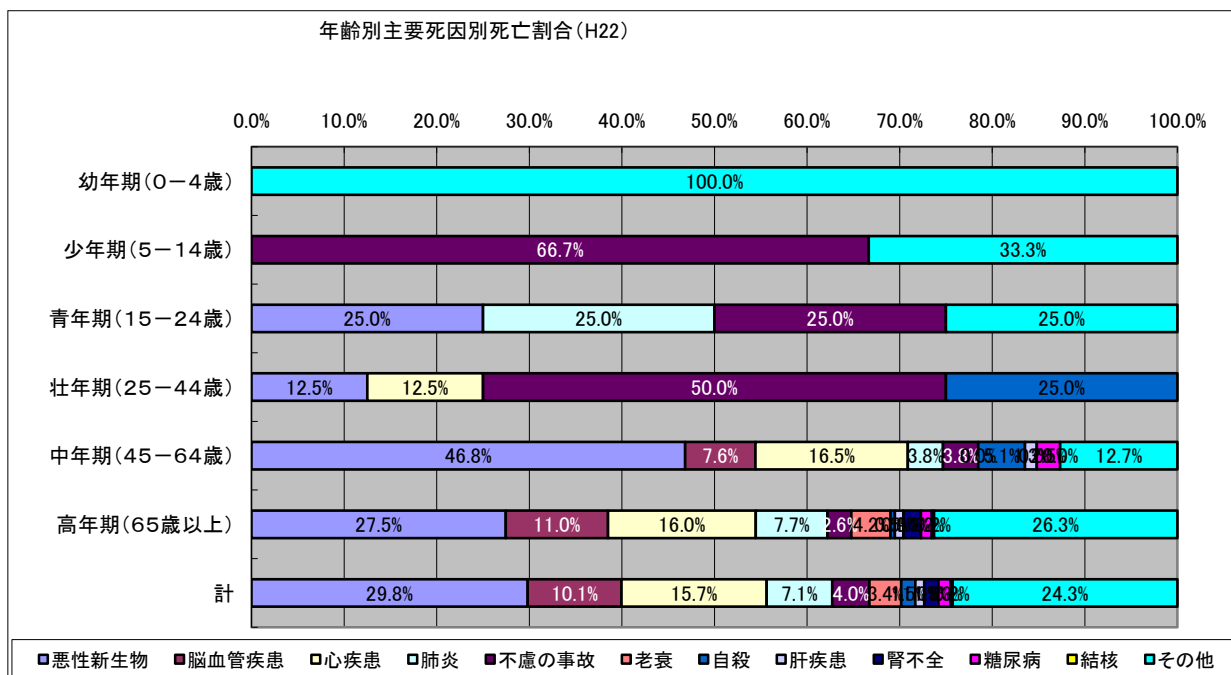
2-5 年齢階級別主要死因別死亡数

平成 22 年の年齢階級別主要死因別死亡率をみると、少年期・壮年期では不慮の事故の割合が多く、壮年期では、自殺による割合が 25.0%となっています。中年期や高年期では、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の順で高くなっています。

図表 13 年齢階級別主要死因別死亡数(平成 22 年)

| (人) | 幼年期 (0-4歳) | 少年期 (5-14歳) | 青年期 (15-24歳) | 壮年期 (25-44歳) | 中年期 (45-64歳) | 高年期 (65歳以上) | 計 |
|-------|---------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|-----|
| 総数 | 3 | 3 | 4 | 8 | 79 | 426 | 523 |
| 悪性新生物 | 0 | 0 | 1 | 1 | 37 | 117 | 156 |
| 脳血管疾患 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 47 | 53 |
| 心疾患 | 0 | 0 | 0 | 1 | 13 | 68 | 82 |
| 肺炎 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 33 | 37 |
| 不慮の事故 | 0 | 2 | 1 | 4 | 3 | 11 | 21 |
| 老衰 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | 18 |
| 自殺 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 | 2 | 8 |
| 肝疾患 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 5 |
| 腎不全 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 8 |
| 糖尿病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 | 7 |
| 結核 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| その他 | 3 | 1 | 1 | 0 | 10 | 112 | 127 |

図表 14 年齢別主要死因別死亡割合



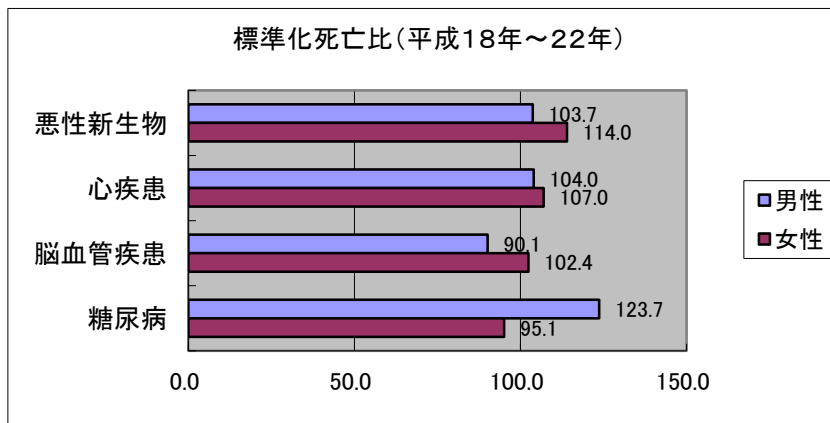
資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(平成 22 年)

2-6 疾病別標準化死亡比

年齢構成が異なる集団の死亡率を比較する場合に、標準化死亡比(SMR)が用いられます。全国平均を100としているので、100を下回れば全国平均より低く、100を上回れば全国平均より高くなります。

男女ともに、悪性新生物、心疾患が高くなっています。また男性では糖尿病が高くなっています。

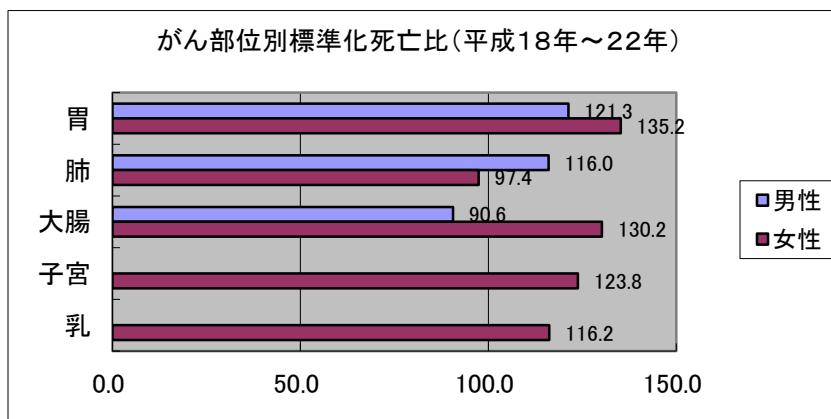
図表 15 標準化死亡比



2-7 がん部位別標準化死亡比

男性では胃がん、肺がんが高く、女性では胃がん、大腸がん、子宮がん及び乳がんが高くなっています。

図表 16 がん部位別標準化死亡比



2-8 死産率

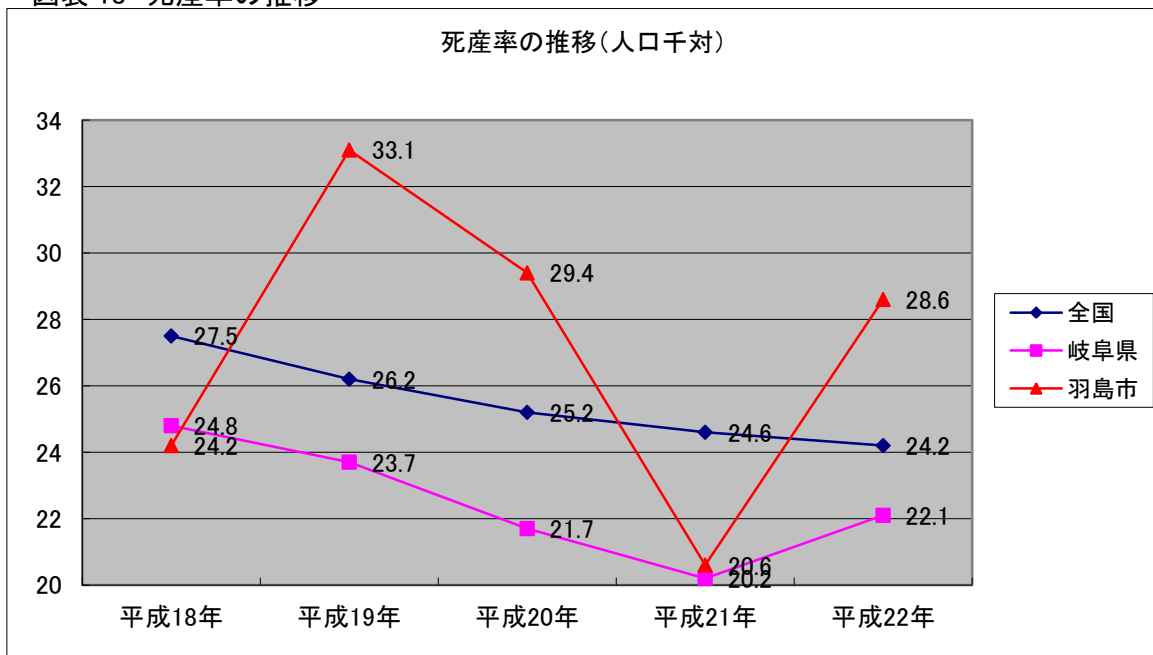
死産とは、妊娠満12週以後の死児の出産をいいます。死産率は、年間出生数と死産を合わせたもののうちの死産の割合です。

国や県と比較して、平成19、20、22年は高くなっています。

図表 17 死産数の推移(人)

| | 総数 | 自然死産数 | 人工死産数 |
|-------|----|-------|-------|
| 平成18年 | 15 | 6 | 9 |
| 平成19年 | 20 | 7 | 13 |
| 平成20年 | 17 | 9 | 8 |
| 平成21年 | 13 | 7 | 6 |
| 平成22年 | 17 | 7 | 10 |

図表 18 死産率の推移

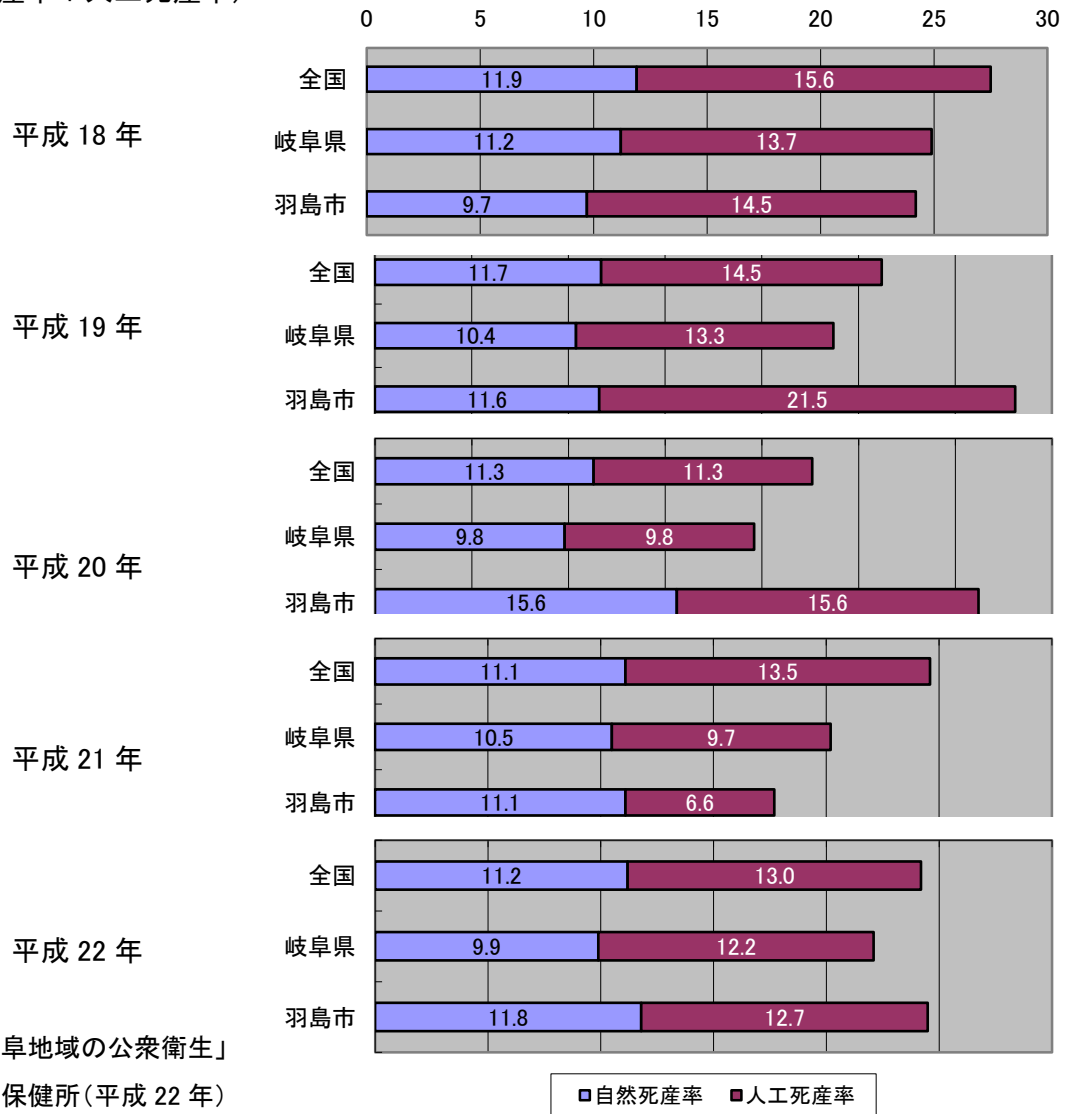


資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(各年10月1日現在)

図表 19 死産率(全国、県との比較)

死産率

(自然死産率+人工死産率)



2-9 周産期死亡率

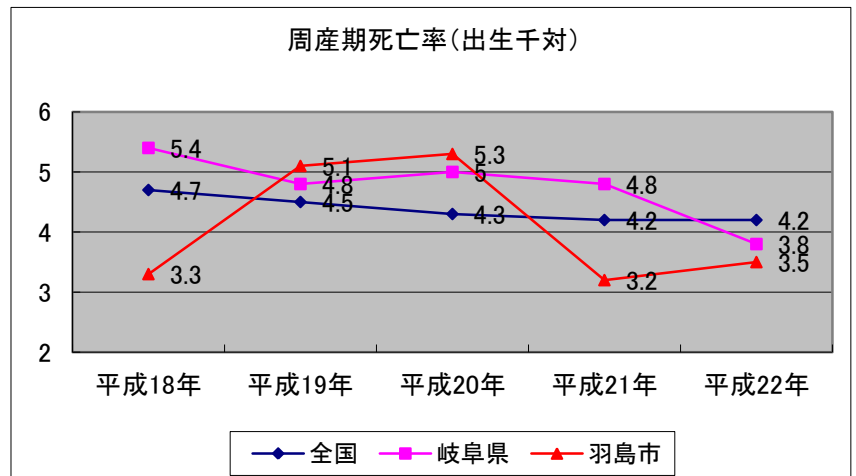
周産期死亡は、妊娠満22週以後の死産に生後1週間未満の死亡(早期新生児死亡)を合わせたものをいいます。

平成18、21、22年では国や県の値を下回っています。

図表20 周産期死亡数(人)

| | |
|-------|---|
| 平成18年 | 2 |
| 平成19年 | 3 |
| 平成20年 | 3 |
| 平成21年 | 2 |
| 平成22年 | 2 |

図表21 周産期死亡率



2-10 乳児死亡・新生児死亡

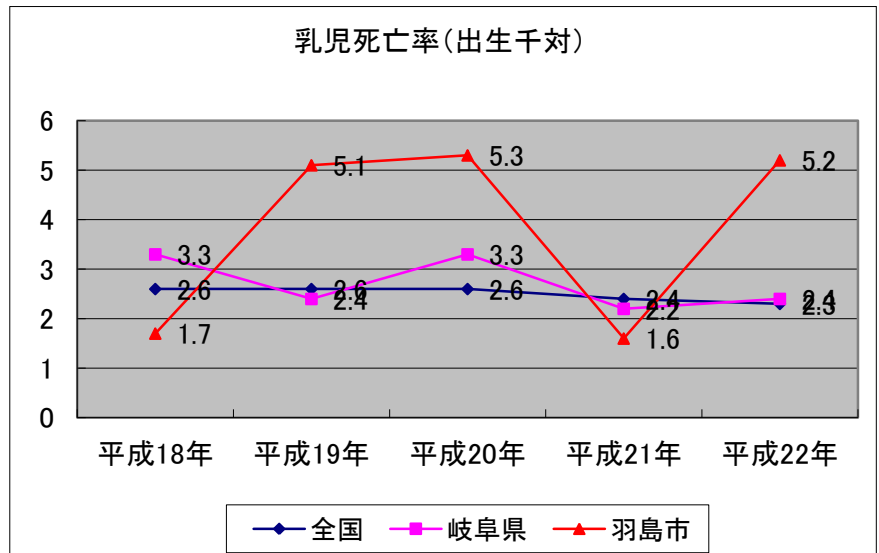
生後1年未満のこどもの死亡を「乳児死亡」、生後4週間未満のこどもの死亡を「新生児死亡」といいます。

平成18年からの5年間では、乳児死亡数、新生児死亡数は3人以下で推移しています。

図表 22 乳児死亡数(人)

| | |
|-------|---|
| 平成18年 | 1 |
| 平成19年 | 3 |
| 平成20年 | 3 |
| 平成21年 | 1 |
| 平成22年 | 3 |

図表 23 乳児死亡率

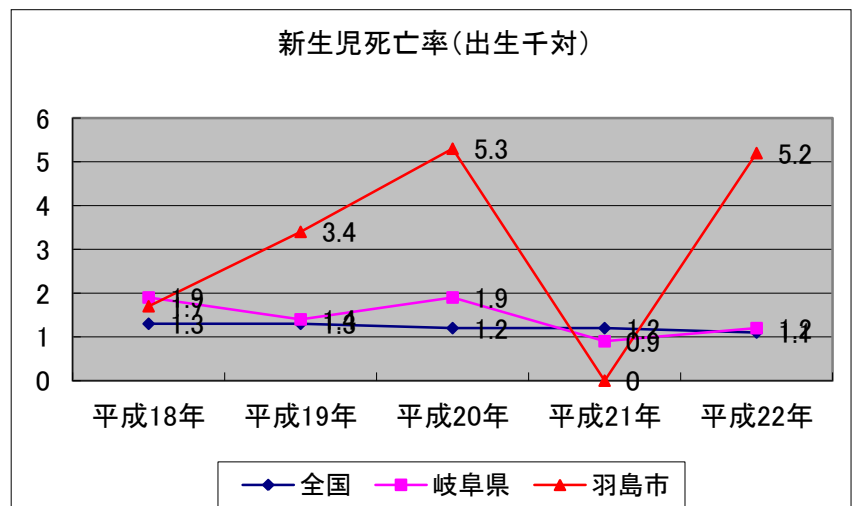


資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(各年10月1日現在)

図表 24 新生児死亡数(人)

| | |
|-------|---|
| 平成18年 | 1 |
| 平成19年 | 2 |
| 平成20年 | 3 |
| 平成21年 | 0 |
| 平成22年 | 3 |

図表 25 新生児死亡率

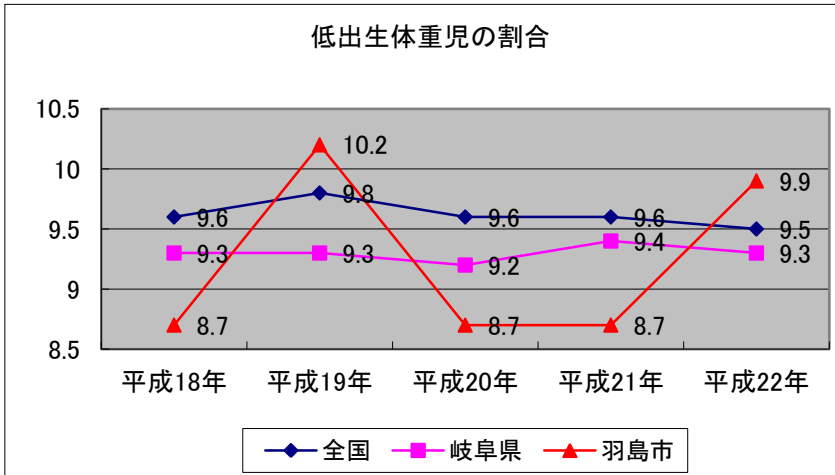


資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(各年10月1日現在)

2-11 低出生体重児

低出生体重児とは、出生時の体重が2,500g未満の乳児をいいます。
平成18、20、21年の低出生体重児の割合は、国や県の値を下回っています。

図表 26 低出生体重児の割合



資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(平成22年)

図表 27 低出生体重児数(人)

| | |
|-------|----|
| 平成18年 | 53 |
| 平成19年 | 63 |
| 平成20年 | 49 |
| 平成21年 | 54 |
| 平成22年 | 57 |

資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(平成22年)

図表 28 低出生体重児数(人)

| 1,000g未満 | 1,000~1,500g未満 | 1,500~2,000g未満 | 2,000~2,500g未満 | 合計 |
|----------|----------------|----------------|----------------|----|
| 6 | 2 | 3 | 46 | 57 |

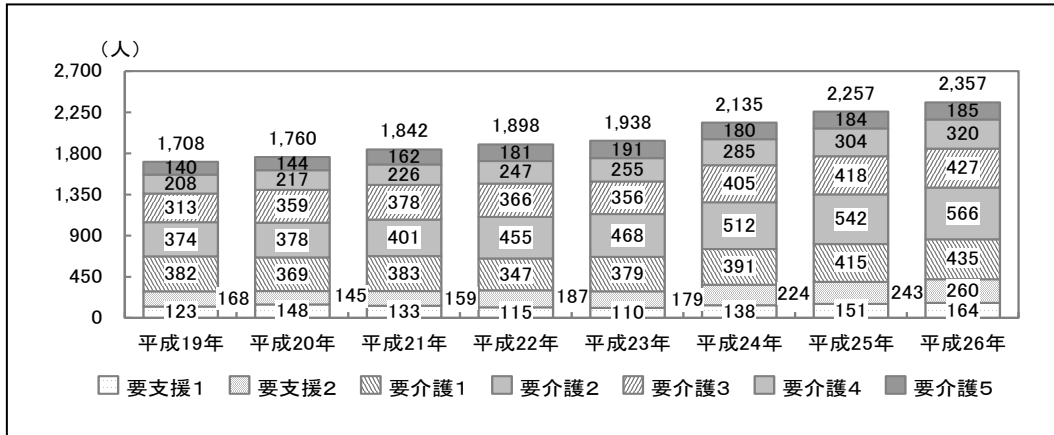
資料:「岐阜地域の公衆衛生」岐阜保健所(平成22年)

3 介護保険事業についての状況

3-1 要介護認定者数の推移と将来推計

要介護認定者数は年々増加し、平成23年で過去最高の1,938人となっています。平成24年以降の将来推計をみると、今後も増加を続け平成26年には2,357人になる見込みです。

図表 29 要介護認定者数

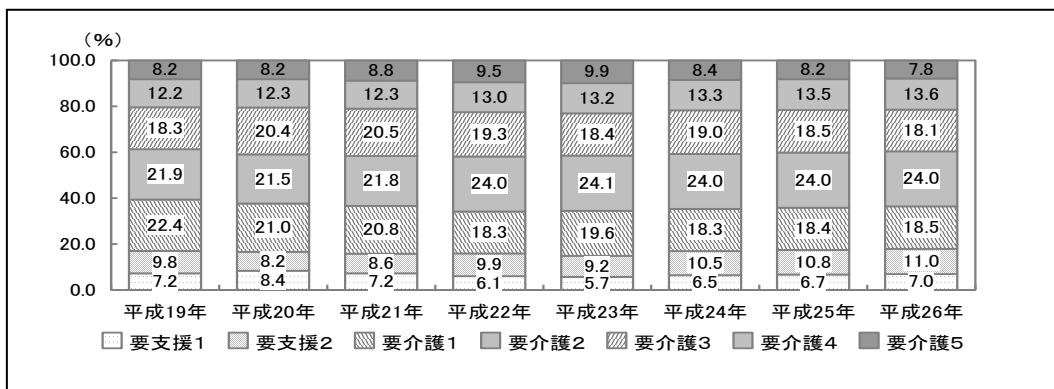


資料:羽島市高齢者計画(平成23年)

3-2 要介護度別構成比の推移と将来推計

要介護度別の構成比の推移は、要介護2の占める割合が上昇しています。要介護4、5の占める割合も徐々に上昇しています。将来推計では、要介護1以下の認定者の占める割合が上昇を続けると推計されており、要介護4以上の重度の認定者の占める割合は、ほぼ横ばいで推移すると推計されています。

図表 30 要介護度別構成比の推移



資料:羽島市高齢者計画(平成23年)

3-3 要介護認定者数の推移と将来推計(第1号被保険者のみ)

第1号被保険者の要介護認定者数は増加を続けていますが、要介護認定率についてはほぼ横ばいで推移しています。今後も要介護認定者数は増加を続けていくと推計されており、要介護認定率についても増加に転じると予測されています。

図表 31 要介護認定者数の推移

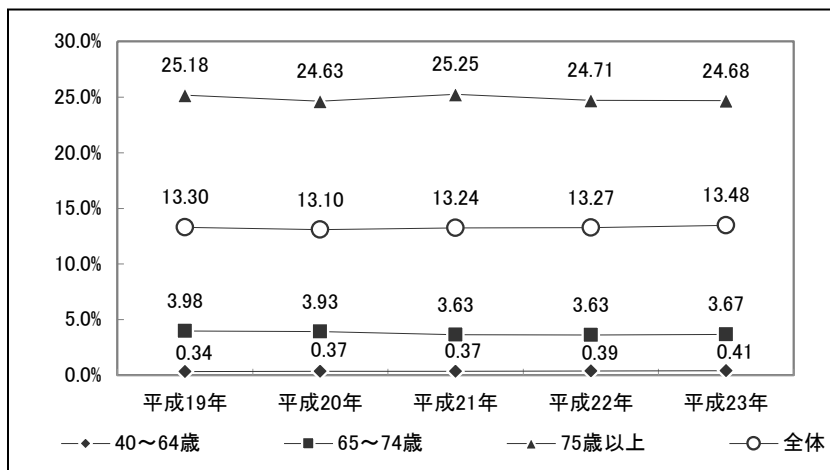


資料:羽島市高齢福祉課

3-4 年齢区分別要介護認定率の推移

年齢区分別の要介護認定率の推移をみると、すべての年代でほぼ横ばいの推移をしています。

図表 32 年齢区分別要介護認定率の推移



資料:羽島市高齢者計画(平成23年)

4 健康診査(検診)についての状況

4-1 特定健康診査の状況

平成 22 年度の特定健康診査の受診率は、33.7%です。岐阜県の受診率と比較してやや低い状況となっています。また経年の受診率は年々低下しています。

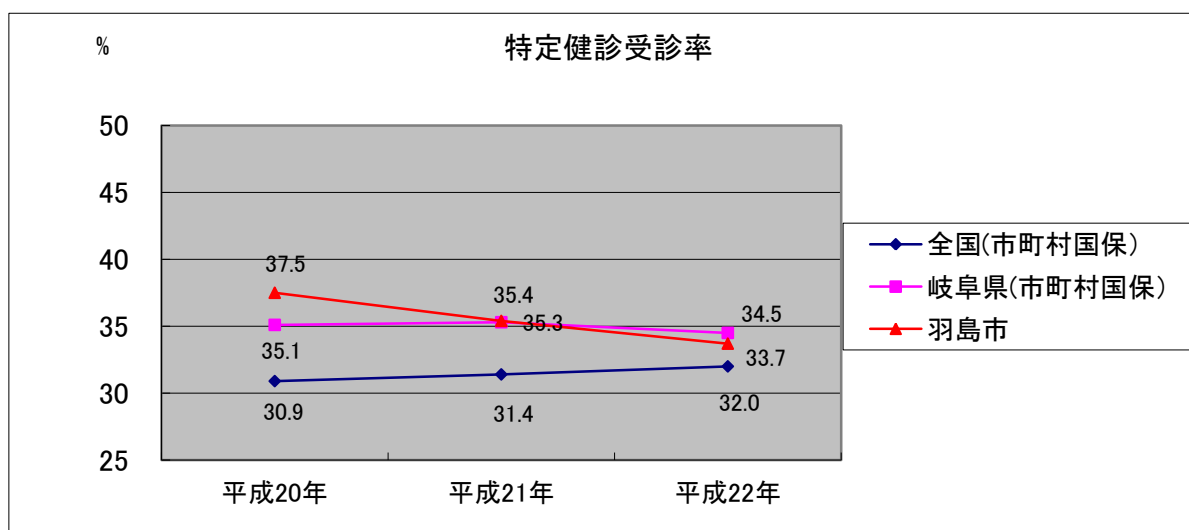
年齢別受診率では、60 歳以上の女性が高くなっており、40 歳代の男女ともに低くなっています。

図表 33 羽島市特定健康診査受診状況(平成 22 年度 法定報告)

| | |
|---------|----------|
| 対象者 | 12,772 人 |
| 受診者 | 4,304 人 |
| 受診率 | 33.7% |
| 岐阜県の受診率 | 34.5% |

資料: 岐阜県保健医療課

図表 34 特定健康診査受診率の推移



図表 35 特定健康診査年齢別受診率(平成 22 年度 法定報告)

| | 受診率 | | | | | | |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 40～44 歳 | 45～49 歳 | 50～54 歳 | 55～59 歳 | 60～64 歳 | 65～69 歳 | 70～74 歳 |
| 男性 | 15.4% | 20.1% | 18.0% | 19.7% | 26.4% | 37.6% | 40.4% |
| 女性 | 15.8% | 16.6% | 27.0% | 31.8% | 40.0% | 46.0% | 52.1% |

4-2 特定健康診査受診結果(平成 22 年度)

男性の 13.4%、女性の 6.0%がメタボリックシンドローム予備群であり、男性の 32.5%、女性の 14.5%がメタボリックシンドローム該当者です。男女ともに県の値より高くなっています。

肥満者の割合(BMIが 25 以上)は男性が 28.1%、女性が 23.7%で男女ともに県の値より高くなっています。

中性脂肪基準値以上の割合は男性が 41.8%、女性が 31.5%で男女ともに県の値より高くなっています。

糖尿病の検査結果のHbA1cが基準値以上の割合は、男女ともに県の値より高くなっています。

血圧基準値以上の割合は、男女ともに県の値より高くなっています。

コレステロール値異常の割合は、LDL コレステロール基準値以上の割合は女性が県の値より高くなっています。また、LDLコレステロール基準値以下の割合は男女ともに県の値より高くなっています。

図表 36 メタボリックシンドローム該当者の割合

| | 男性 | | 女性 | |
|-----------------|-------|-------|-------|------|
| | 羽島市 | 岐阜県 | 羽島市 | 岐阜県 |
| メタボリックシンドローム予備群 | 13.4% | 16.0% | 6.0% | 5.3% |
| メタボリックシンドローム該当 | 32.5% | 24.0% | 14.5% | 9.3% |

図表 37 BMI25以上の割合

| | 男性 | | 女性 | |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| | 羽島市 | 岐阜県 | 羽島市 | 岐阜県 |
| BMI25以上 | 28.1% | 24.5% | 23.7% | 17.6% |

図表 38 中性脂肪基準値(150mg/dl)以上の割合

| | 男性 | | 女性 | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|
| | 羽島市 | 岐阜県 | 羽島市 | 岐阜県 |
| 中性脂肪基準値以上 | 41.8% | 30.5% | 31.5% | 20.3% |

図表 39 HbA1c基準値以上の割合

| | 男性 | | 女性 | |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|
| | 羽島市 | 岐阜県 | 羽島市 | 岐阜県 |
| HbA1c (5.2~6.0%) | 47.8% | 45.4% | 52.4% | 51.5% |
| HbA1c (6.1%以上) | 11.4% | 9.6% | 7.4% | 5.6% |

図表 40 血圧基準値以上の割合

| | 男性 | | 女性 | |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| | 羽島市 | 岐阜県 | 羽島市 | 岐阜県 |
| 血圧 正常高値 I度 (130~159/85~99mmHg) | 52.4% | 46.4% | 47.6% | 41.6% |
| 血圧 高値 II度 (160~/100~mmHg) | 5.7% | 6.2% | 4.9% | 4.5% |

図表 41 コレステロール値異常の割合

| | 男性 | | 女性 | |
|------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| | 羽島市 | 岐阜県 | 羽島市 | 岐阜県 |
| LDLコレステロール基準値 以上(120mg/dl)以上 | 47.5% | 47.6% | 60.1% | 58.5% |
| HDLコレステロール基準値 以下 (39mg/dl)以下 | 13.3% | 11.5% | 3.5% | 2.9% |

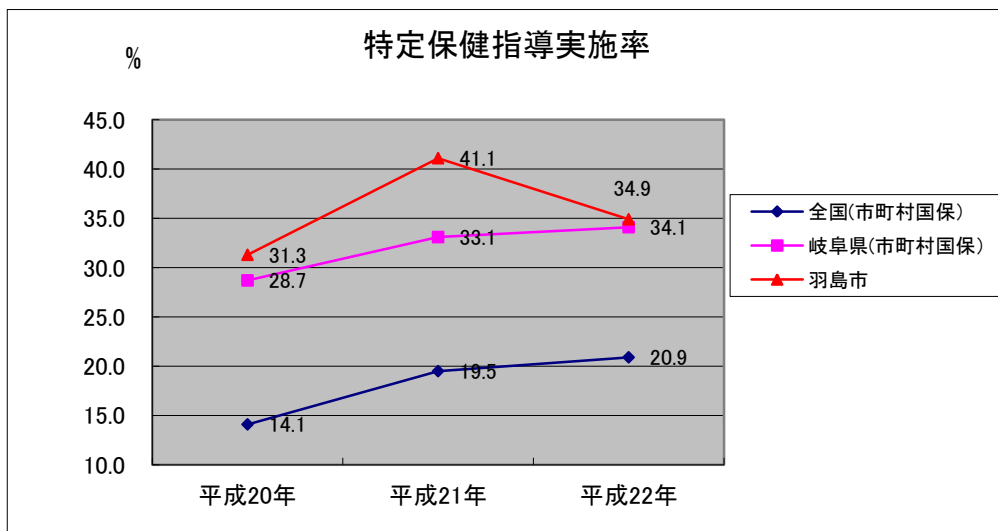
4-3 特定保健指導の状況

平成 22 年度の特定保健指導実施率は 34.9%で、前年度より低くなっています。

図表 42 特定保健指導実施率(平成 22 年度 法定報告)

| 支援別 | 特定保健指導 対象者数 | 終了者数 | 終了率 |
|------|----------------|-------|-------|
| 積極的 | 168 人 | 43 人 | 25.6% |
| 動機づけ | 373 人 | 146 人 | 39.1% |

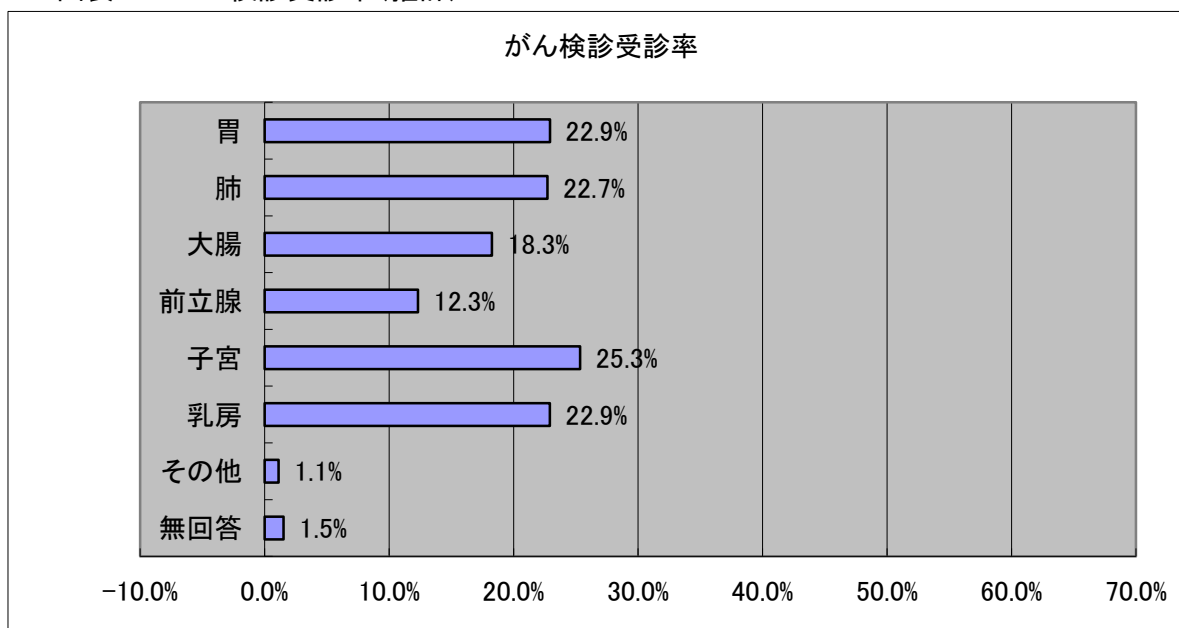
図表 43 特定保健指導実施率(全国、県との比較)



4-4 がん検診の状況

がん検診の受診率は目標値である 50%を大きく下回っています。

図表 44 がん検診受診率(推計)



資料:市民健康意識調査

第3章 前計画の最終評価

計画策定時及び中間評価時に設定された目標について、目標の達成状況や関連する取組の状況の評価するとともに、健康づくり対策や健康問題等の課題を明らかにすることで、第2期健康増進計画への今後の対策に反映させていきます。

1 評価方法について

平成23年度に最終評価のための調査を実施しました。

「健康意識調査(母子)」、「乳幼児健診及び10ヶ月児教室による問診票調査」、「毎日の生活についてのアンケート(児童・生徒)」、「市民健康意識調査(成人)」を実施し、その結果や「人口動態統計」「特定健康診査結果」などから得たデータをもとに計画策定時に設定した目標の達成状況について、現状値を把握し評価を行いました。

2 目標の達成状況

目標の達成状況は策定時の値(基準値)と評価値を比較し、「◎:目標を達成した項目」「○:目標は達成していないが改善された項目」「■:悪化または低下した項目」としました。

また、平成20年度の中間評価時に設定した目標については、中間評価時の値と評価値を比較しています(※の項目)。羽島市の値が算出できなかった項目については、岐阜県の値を用い()で値を記載しています。

1) 母子の健康づくり

①妊娠出産に関する安全性と快適さの確保

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|----------------------------|--------|-------|-------|-----|
| 妊娠中、心身ともに快調であると感じた人の割合 | 58.5% | 49.6% | 増加 | ■ |
| 出産について満足している人の割合 | 80.0% | 81.4% | 100% | ○ |
| 産後にうつ状態を感じた人の割合※ | ※40.3% | 41.9% | 減少傾向へ | ■ |
| 妊娠11週以下での妊娠の届け出率 | 55.6% | 89.1% | 100% | ○ |
| 母子健康管理指導事項連絡カードを知っている妊婦の割合 | 12.5% | 31.2% | 100% | ○ |
| 妊娠中の喫煙率 | 6.7% | 3.6% | なくす | ○ |
| 妊娠中の同居者の喫煙率 | 28.3% | 36.7% | なくす | ■ |
| 妊娠中の飲酒率 | 15.0% | 5.5% | なくす | ○ |

②乳幼児死亡率

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|---------------------|------|------|-------|-----|
| 周産期死亡率(出生千対) | 6.1 | 3.5 | 減少傾向へ | ◎ |
| 新生児死亡率(出生千対) | 1.7 | 5.2 | 減少傾向へ | ■ |
| 乳児死亡率(出生千対) | 3.7 | 5.2 | 減少傾向へ | ■ |
| 幼児(1～4歳)死亡率(人口10万対) | 42.8 | 0 | 半減 | ◎ |
| 低出生体重児の割合 | 7.3% | 9.8% | 減少傾向へ | ■ |

③歯の健康

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|-----------------------|-------|-------|-------|-----|
| う歯のない3歳児の割合 | 66.4% | 80.6% | 80%以上 | ◎ |
| フッ化物塗布を受けたことのある3歳児の割合 | 83.9% | 96.5% | 96%以上 | ◎ |
| 甘味食品・飲料を頻回飲食する児の割合 | | | | |
| 1歳6ヵ月児 | 17.0% | 13.7% | 8%以下 | ○ |
| 3歳児 | 18.0% | 8.8% | 8%以下 | ○ |

④育児環境と事故予防

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|--------------------------|-------|-------|------|-----|
| 育児期間中の自宅での喫煙率 | 31.5% | 26.8% | なくす | ○ |
| 乳児期にうつぶせ寝を防いでいない割合 | 12.9% | 5.8% | なくす | ○ |
| かかりつけの小児科医をもつ親の割合(1～3歳) | 73.8% | 86.8% | 100% | ○ |
| 休日・夜間の小児救急医療機関を知っている親の割合 | | | | |
| 乳児 | 100% | 62.8% | 100% | ■ |
| 1歳6ヵ月児 | 79.6% | 70.8% | 100% | ■ |
| 3歳児 | 92.3% | 67.5% | 100% | ■ |
| 事故防止対策を実施している家庭の割合 | | | | |
| 1歳6ヵ月児 | 78.8% | 84.9% | 100% | ○ |
| 3歳児 | 78.0% | 85.0% | 100% | ○ |
| 心肺蘇生法を知っている家庭の割合 | | | | |
| 乳児 | 21.4% | 16.9% | 100% | ■ |
| 1歳6ヵ月児 | 28.6% | 14.9% | 100% | ■ |
| 3歳児 | 38.5% | 15.7% | 100% | ■ |
| チャイルドシートを必ずしている割合 | | | | |
| 乳児 | 63.4% | 85.3% | 100% | ○ |
| 1歳6ヵ月児 | 74.5% | 81.4% | 100% | ○ |
| 3歳児 | 56.4% | 74.0% | 100% | ○ |

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|-----------------------|-------|-------|-----|-----|
| 車内に子どもだけをおいておくことがある場合 | | | | |
| 乳児 | 24.4% | 16.3% | なくす | ○ |
| 1歳6カ月児 | 61.7% | 33.6% | なくす | ○ |
| 3歳児 | 51.3% | 37.4% | なくす | ○ |
| 1歳6カ月までに予防接種が終了している割合 | | | | |
| 三種混合 | 74.4% | 93.5% | 97% | ○ |
| 麻しん | 48.7% | 91.8% | 97% | ○ |

⑤こどものこころの安らかな発達の促進と育児不安の軽減

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|------------------------------|-------|-------|-------|-----|
| 子育てに自信が持てない母親の割合 | 35.8% | 72.6% | 減少傾向へ | ■ |
| 子どもを虐待していると思う親の割合 | 4.9% | 8.5% | 減少傾向へ | ■ |
| ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合 | 85.2% | 91.0% | 増加傾向へ | ◎ |
| 育児について相談相手のいる母親の割合 | 100% | 97.3% | 100% | ■ |
| 育児に参加する父親の割合 | | | | |
| よくやっている | 31.5% | 34.2% | 増加傾向へ | ○ |
| 時々やっている | 46.5% | 37.0% | 増加傾向へ | ■ |
| 子どもと一緒に遊ぶ父親の割合 | | | | |
| よく遊ぶ | 48.7% | 50.1% | 増加傾向へ | ◎ |
| 時々遊ぶ | 41.0% | 44.1% | 増加傾向へ | ◎ |
| 出産後1カ月時の母乳育児の割合 | 42.2% | 57.9% | 増加傾向へ | ◎ |
| 乳幼児健康診査に満足している人の割合 | 75.3% | 92.1% | 増加傾向へ | ◎ |
| 乳幼児相談に満足している人の割合 | 48.9% | 93.6% | 増加傾向へ | ◎ |

2) 児童・生徒の健康づくり

①栄養・食生活

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|-----------------|-------|------|------|-----|
| 児童・生徒の肥満者 | | | | |
| 小学男子 | 7.9% | 3.8% | 5%以下 | ◎ |
| 小学女子 | 5.7% | 2.6% | 3%以下 | ◎ |
| 中学男子 | 6.4% | 5.3% | 3%以下 | ○ |
| 中学女子 | 7.2% | 4.9% | 3%以下 | ○ |
| 高校3年 | 4.7% | 5.7% | 4%以下 | ■ |
| 朝食を食べない児童・生徒の割合 | | | | |
| 中学3年 | 4.2% | 1.9% | なくす | ○ |
| 高校3年 | 12.5% | 8.9% | なくす | ○ |

②身体活動・運動

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|--------------------|-------|-------|-------|-----|
| 体育以外に30分以上運動している割合 | | | | |
| 小学6年男子 | 83.3% | 85.9% | 90%以上 | ○ |
| 小学6年女子 | 60.6% | 66.2% | 80%以上 | ○ |
| 中学3年男子 | 90.2% | 48.2% | 90%以上 | ■ |
| 中学3年女子 | 74.4% | 33.8% | 80%以上 | ■ |
| 高校3年男子 | 52.3% | 46.7% | 70%以上 | ■ |
| 高校3年女子 | 24.1% | 33.0% | 40%以上 | ○ |

③休養・こころの健康づくり

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|------------------|-------|-------|-------|-----|
| あまりよく眠れていない割合 | | | | |
| 高校3年生 | 18.8% | 29.1% | 10%以下 | ■ |
| ストレスを毎日のように感じる割合 | | | | |
| 小学6年 | 20.1% | 8.3% | 10%以下 | ◎ |
| 中学3年 | 13.3% | 17.3% | 10%以下 | ■ |
| 高校3年 | 24.1% | 31.6% | 10%以下 | ■ |

④喫煙、飲酒および薬物使用の防止

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|---------------------|-------|-------|------|-----|
| 喫煙率 | | | | |
| 中学3年男子 | 9.8% | 7.1% | なくす | ○ |
| 中学3年女子 | 6.4% | 1.3% | なくす | ○ |
| 高校3年男子 | 18.4% | 26.6% | なくす | ■ |
| 高校3年女子 | 15.1% | 12.4% | なくす | ○ |
| 飲酒率 | | | | |
| 中学3年男子 | 35.4% | 28.2% | なくす | ○ |
| 中学3年女子 | 46.2% | 27.3% | なくす | ○ |
| 高校3年男子 | 38.1% | 35.0% | なくす | ○ |
| 高校3年女子 | 49.3% | 37.1% | なくす | ○ |
| 薬物乱用の有害性について知っている割合 | | | | |
| 小学6年男子 | 87.0% | 94.0% | 100% | ○ |
| 小学6年女子 | 90.5% | 93.5% | 100% | ○ |
| 中学3年男子 | 96.3% | 97.6% | 100% | ○ |
| 中学3年女子 | 100% | 97.4% | 100% | ■ |
| 高校3年男子 | 93.8% | 91.7% | 100% | ■ |
| 高校3年女子 | 98.5% | 86.6% | 100% | ■ |

⑤歯の健康

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|--------------------|-------|-------|-------|-----|
| う歯所有率 | | | | |
| 小学生 | 61.6% | 53.5% | 55%以下 | ◎ |
| 中学生 | 72.4% | 45.2% | 40%以下 | ○ |
| フッ化物配合歯磨剤を使用している割合 | | | | |
| 小学6年 | 60.0% | 50.3% | 90%以上 | ■ |
| 中学3年 | 79.4% | 36.4% | 90%以上 | ■ |
| 高校3年 | 89.8% | 36.7% | 95%以上 | ■ |
| 個別的な歯口清掃指導を受けている割合 | | | | |
| 小学6年 | 23.4% | 44.5% | 50%以上 | ○ |
| 中学3年 | 22.0% | 39.5% | 50%以上 | ○ |
| 高校3年 | 14.9% | 33.5% | 30%以上 | ◎ |

⑥性に関する知識

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|-----------------|-------|-------|------|-----|
| 避妊法を正確に知っている割合 | | | | |
| 高校3年男子 | 27.9% | 38.3% | 100% | ○ |
| 高校3年女子 | 20.9% | 29.9% | 100% | ○ |
| 性感染症を正確に知っている割合 | | | | |
| 高校3年男子 | 19.7% | 35.0% | 100% | ○ |
| 高校3年女子 | 4.7% | 15.5% | 100% | ○ |

3)成人・高齢者の健康づくり

①栄養・食生活

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|----------------------------|----------|----------|--------|-----|
| 肥満者(BMI25以上の割合) | | | | |
| 20～60歳代の男性 | 22.4% | 22.5% | 15%以下 | ■ |
| 40～60歳代の女性 | 20.1% | 13.2% | 15%以下 | ◎ |
| 20歳代の女性のやせの人(BMI18.5未満)の割合 | 22.2% | 23.1% | 15%以下 | ■ |
| 20～40歳代の脂肪エネルギー比率の割合 | (27.0%) | (27.4%) | 25%以下 | ■ |
| 成人の1日あたりの食塩摂取量 | (12.0g) | (10.1g) | 10g未満 | ○ |
| 成人の1日あたりの野菜摂取量 | (300.3g) | (295.9g) | 350g以上 | ■ |
| 成人のカルシウムに富む食品摂取量 | | | | |
| 牛乳 | (89.8g) | (107.1g) | 130g以上 | ○ |
| 豆類 | (80.9g) | (53.8g) | 100g以上 | ■ |
| 緑黄色野菜 | (102.4g) | (102.0g) | 120g以上 | ■ |

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|---------------------------------|-------|-------|-------|-----|
| 朝食欠食者の割合 | | | | |
| 20歳代男性 | 32.6% | 21.9% | 15%以下 | ○ |
| 20歳代女性 | 16.5% | 7.7% | 9%以下 | ◎ |
| 30歳代男性 | 18.9% | 15.0% | 10%以下 | ○ |
| 3食きちんとした食事をする人の割合 | | | | |
| 成人男性 | 47.2% | 37.2% | 80%以上 | ■ |
| 成人女性 | 52.8% | 33.3% | 80%以上 | ■ |
| 栄養成分表示を参考にする成人の割合 | 50.9% | 41.3% | 80%以上 | ■ |
| 健康管理のために食事の量や内容に気をつけている人の割合 | | | | |
| 成人男性 | 61.0% | 68.4% | 80%以上 | ○ |
| 成人女性 | 83.1% | 80.2% | 90%以上 | ■ |
| 自分の食生活に問題があると思う人のうち、改善意欲がある人の割合 | | | | |
| 成人男性 | 52.8% | 59.9% | 80%以上 | ○ |
| 成人女性 | 70.0% | 74.9% | 80%以上 | ○ |

②身体活動・運動

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|--|-------|---------|---------|-----|
| 意識的に運動を心がけている人の割合 | | | | |
| 成人男性 | 39.0% | 49.0% | 50%以上 | ○ |
| 成人女性 | 39.1% | 46.3% | 50%以上 | ○ |
| 運動習慣者の割合 (1回30分以上で、週2回以上実施し、1年以上継続している者の割合) | | | | |
| 成人男性 | 15.9% | 22.4% | 30%以上 | ○ |
| 成人女性 | 13.0% | 15.5% | 30%以上 | ○ |
| 日常生活における歩数 | | | | |
| 成人男性 | 7019歩 | (7217歩) | 8500歩以上 | ■ |
| 成人女性 | 6552歩 | (6169歩) | 8000歩以上 | ■ |
| 男性(60～74歳) | 5710歩 | (5294歩) | 6700歩以上 | ■ |
| 女性(60～74歳) | 5145歩 | (4243歩) | 6200歩以上 | ■ |
| 外出について積極的な態度を持つ人の割合 | | | | |
| 男性(60～74歳) | 43.0% | 51.6% | 65%以上 | ○ |
| 女性(60～74歳) | 43.1% | 46.5% | 65%以上 | ○ |
| 何らかの地域活動を実施している人の割合 | | | | |
| 男性(60～74歳) | 55.3% | 64.0% | 75%以上 | ○ |
| 女性(60～74歳) | 58.6% | 56.9% | 75%以上 | ■ |

③休養・こころの健康づくり

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|-----------------------|-------|-------|-------|-----|
| ストレスを感じた人の割合 | 69.5% | 79.3% | 50%以下 | ■ |
| 睡眠による休養を十分にとれていない人の割合 | 25.4% | 30.7% | 21%以下 | ■ |
| 睡眠補助品等を使用する人の割合 | 15.3% | 15.8% | 13%以下 | ■ |
| 自殺 | | | | |
| 自殺者数 | 15.8人 | 8人 | 11人以下 | ◎ |
| 自殺死亡率(人口10万対) | 24.3 | 11.9 | 16.7 | ◎ |

④たばこ

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|-------------------------|-------|-------|------|-----|
| 喫煙が及ぼす健康影響について知っている人の割合 | | | | |
| 肺がん | 83.6% | 85.1% | 100% | ○ |
| ぜんそく | 51.4% | 55.0% | 100% | ○ |
| 気管支炎 | 56.6% | 61.5% | 100% | ○ |
| 心臓病 | 37.6% | 51.3% | 100% | ○ |
| 脳卒中 | 35.1% | 55.4% | 100% | ○ |
| 胃かいよう | 27.2% | 35.1% | 100% | ○ |
| 妊婦への影響 | 79.4% | 81.9% | 100% | ○ |
| 歯周病 | 28.8% | 44.8% | 100% | ○ |
| 公共施設による禁煙・分煙を実施している割合 | 95.6% | 100% | 100% | ◎ |
| 禁煙支援プログラムの提供 | — | 100% | 100% | ◎ |

⑤アルコール

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|-------------|------|------|--------|-----|
| 多量に飲酒する人の割合 | | | | |
| 男性 | 3.5% | 5.3% | 3.0%以下 | ■ |
| 女性 | 0.3% | 0.4% | 0.2%以下 | ■ |

⑥歯の健康

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|------------------|---------|-------|-------|-----|
| 進行した歯周炎を有する人の割合 | | | | |
| 40歳 | (42.3%) | 34.8% | 30%以下 | ○ |
| 50歳 | (56.6%) | 59.6% | 40%以下 | ■ |
| 歯間部清掃用具を使用する人の割合 | | | | |
| 40歳(35～44歳) | 17.7% | 26.4% | 50%以上 | ○ |
| 50歳(45～54歳) | 14.1% | 30.2% | 50%以上 | ○ |

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|-------------------------|---------|---------|-------|-----|
| 自分の歯を有する人の割合 | | | | |
| 80歳(75～84歳)で20歯以上 | (28.6%) | (39.5%) | 45%以上 | ○ |
| 70歳(65～74歳)で22歯以上 | 37.7% | 40.4% | 60%以上 | ■ |
| 60歳(55～64歳)で24歯以上 | 47.7% | 53.2% | 70%以上 | ○ |
| 過去1年間に歯石除去や歯面清掃を受けた人の割合 | | | | |
| 60歳(55～64歳) | 22.4% | 29.1% | 45%以上 | ○ |
| 過去1年間に歯科検診を受けた人の割合 | | | | |
| 60歳(55～64歳) | 9.8% | 20.9% | 20%以上 | ◎ |

⑦保健・医療

| 項目 | 基準値 | 評価値 | 目標値 | 達成度 |
|----------------------------------|--------|--------|-------|-----|
| メタボリックシンドロームの概念を知っている者の割合 | — | 80.5% | 80%以上 | ◎ |
| 特定健診受診率 | — | 33.7% | 65%以上 | ■ |
| 特定保健指導実施率 | — | 34.9% | 45%以上 | ■ |
| メタボリックシンドローム該当者・予備群の推定数(40～74歳)※ | ※7730人 | 10089人 | 10%減少 | ■ |
| 糖尿病有病者推定数 | 2000人 | 2324人 | 2800人 | ◎ |
| 高血圧症有病者推定数(40～74歳)※ | ※8467人 | 9283人 | 10%減少 | ■ |
| 脂質異常症有病者推定数(40～74歳)※ | ※7702人 | 16272人 | 10%減少 | ■ |
| がん検診受診率 | | | | |
| 胃がん検診 | 9.4% | 22.9% | 50%以上 | ○ |
| 肺がん検診 | 4.6% | 22.7% | 50%以上 | ○ |
| 大腸がん検診 | 6.3% | 18.3% | 50%以上 | ○ |
| 子宮がん検診 | 14.3% | 25.3% | 50%以上 | ○ |
| 乳がん検診 | 6.8% | 22.9% | 50%以上 | ○ |
| 前期高齢者の要支援・要介護認定者発生率 | | | | |
| 男性 | 3.2% | 3.6% | 4%以下 | ◎ |
| 女性 | 4.3% | 3.8% | 5%以下 | ◎ |
| 65歳の健康余命 | | | | |
| 男性 | 14.8年 | 16.1年 | 16.5年 | ○ |
| 女性 | 16.6年 | 17.8年 | 18.5年 | ○ |

第4章 今後の取り組み

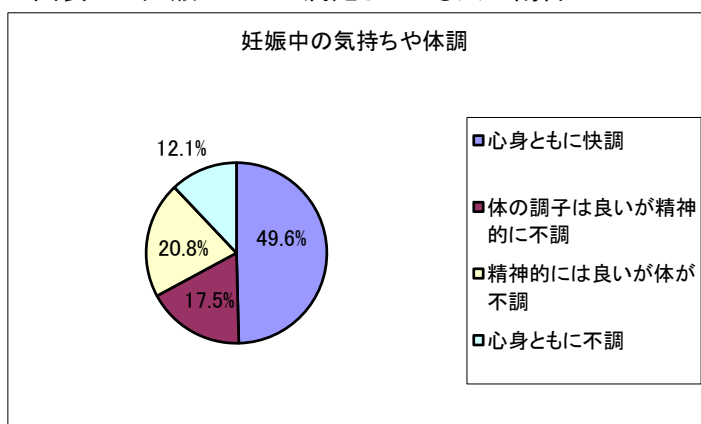
I 母子の健康づくり

1 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保

◆現状と課題

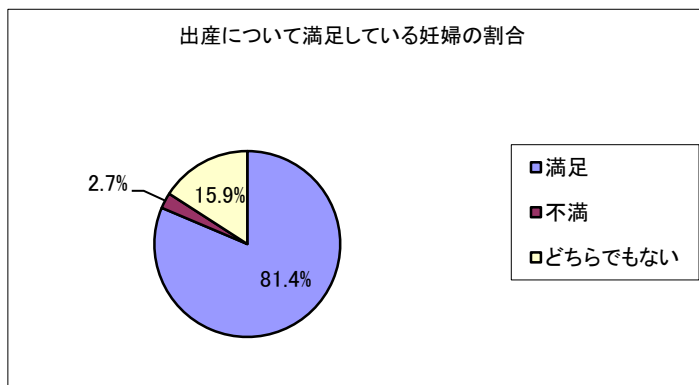
- 妊娠中、心身ともに快調であると感じた人の割合が減少し、産後うつ状態を感じた人の割合が増加していました。産後にうつ状態を感じることはホルモンのバランスの変化や大きな仕事を成し遂げたあとであり、多くの女性にみられることです。妊娠中や産後に気軽に相談できるよう、相談機関の情報提供や妊娠中や産後に起こりえる体や心の変化についての知識の普及が必要です。
- 妊娠11週以内の妊娠届け出が増加しています。妊婦健康診査の公費負担事業の実施により早期に妊娠届け出をされる方が増加しています。
- 母子健康管理指導事項連絡カードを知っている妊婦の割合は増加していますが、31.2%とまだ低くなっています。
- 妊婦自身の喫煙率は減少していますが、同居者の喫煙率は増加しています。喫煙による胎児や乳幼児への健康に及ぼす影響に関する知識を普及し、妊婦自身の禁煙と同居者及び周りの人の分煙などを働きかけることが必要です。
- 妊婦自身の飲酒率は減少しています。妊娠中の習慣的な飲酒は胎児の発育に悪影響を与える可能性が高いため、妊娠中の飲酒に対する指導が必要です。
- 低出生体重児が増加しており、妊娠中の適正な体重増加についての指導が必要です。
- 不妊治療を求める夫婦に対して、特定不妊治療費の経済的支援を実施しています。年々助成者数が増加しています。

図表 45 妊娠について満足している人の割合



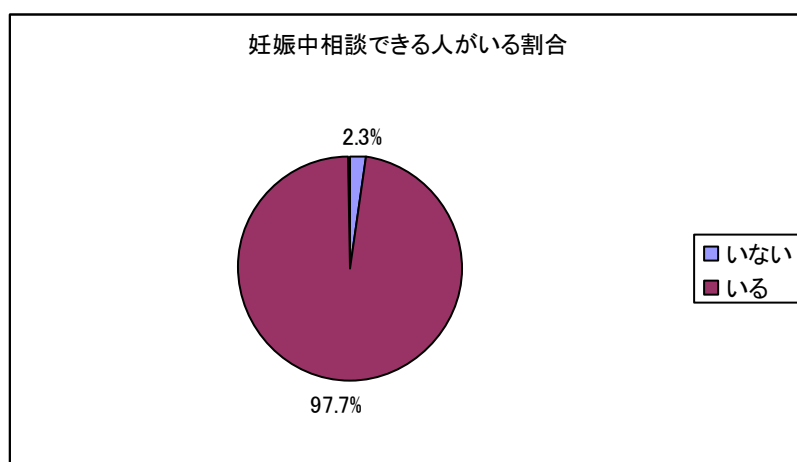
資料：健康意識調査

図表 46 出産について満足している割合



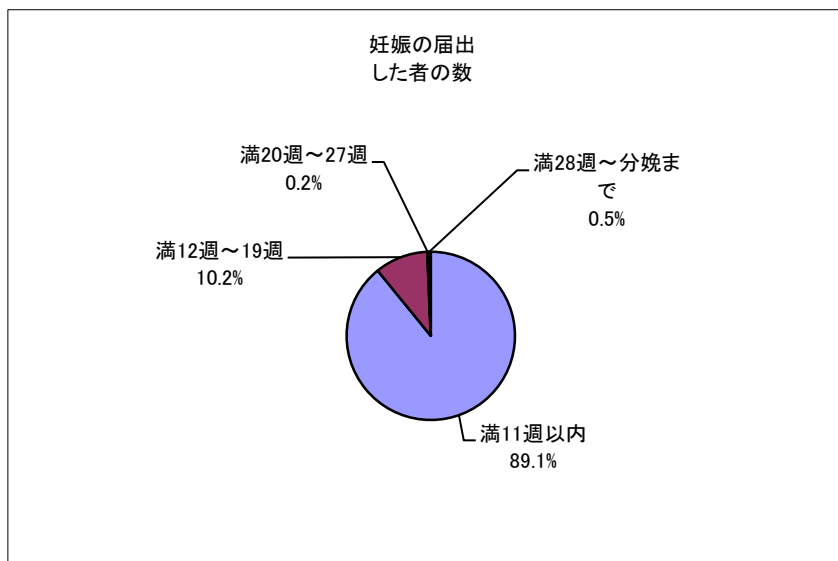
資料: 健康意識調査

図表 47 妊娠中相談できる人がいる割合



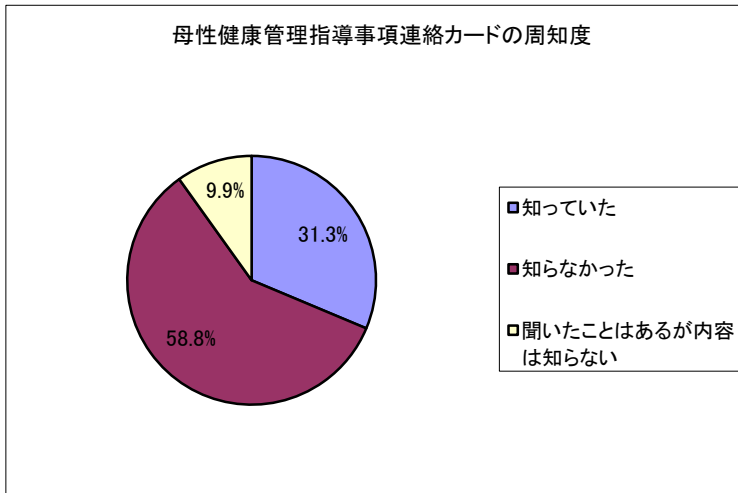
資料: 妊婦問診票

図表 48 妊娠の届出(H22)



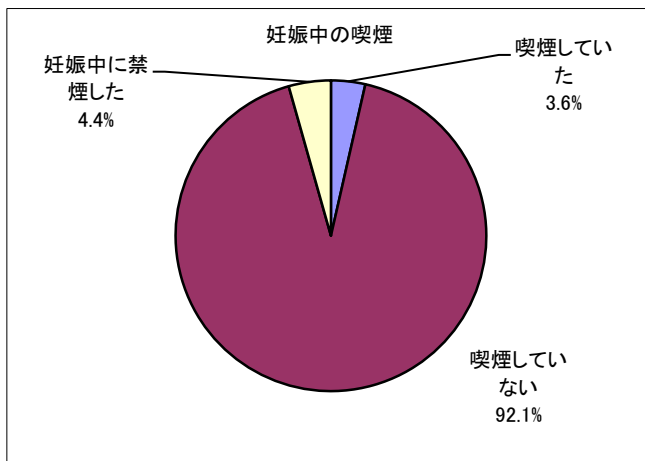
資料: 人口動態

図表 49 母性健康管理指導事項連絡カードの周知度



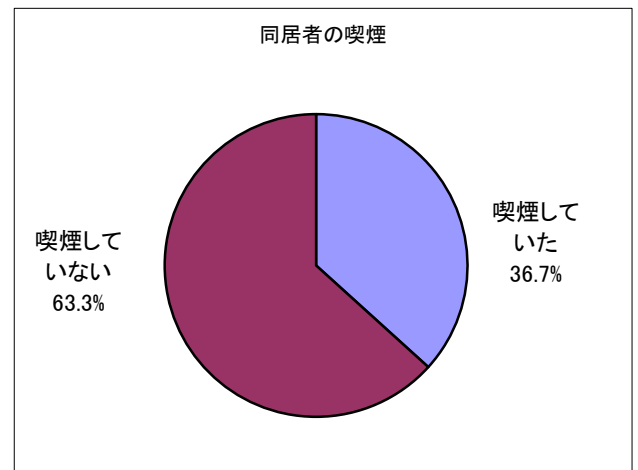
資料: 健康意識調査

図表 50 妊娠中の喫煙



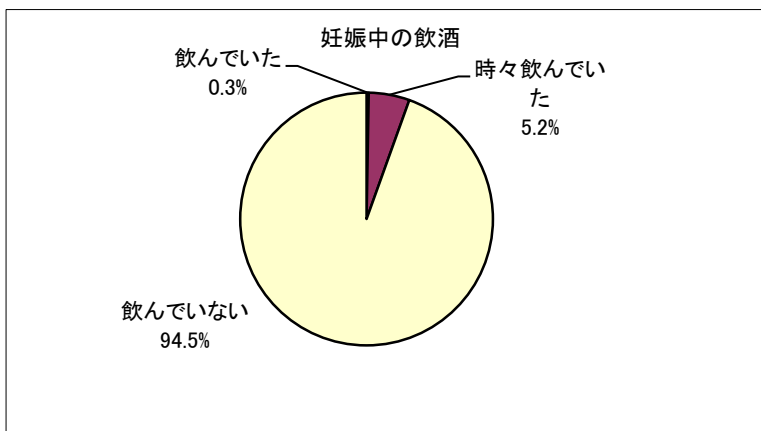
資料: 健康意識調査

図表 50-1 同居者の喫煙



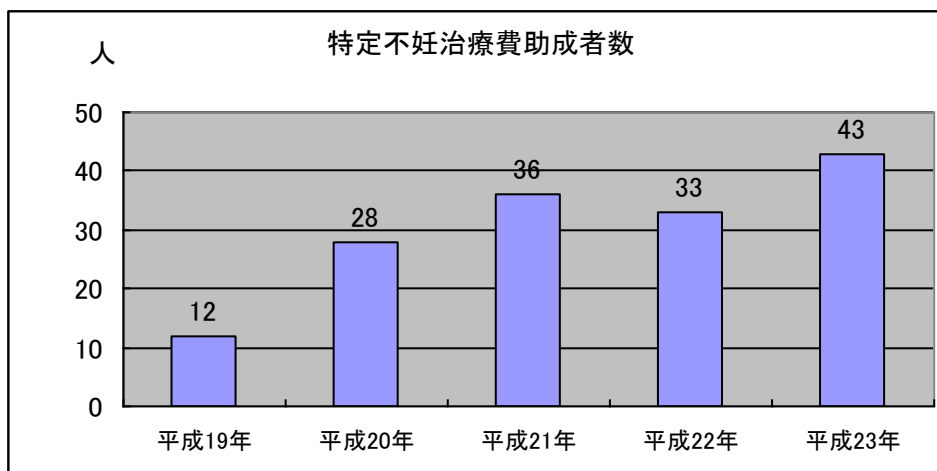
資料: 健康意識調査

図表 51 妊娠中の飲酒



資料: 健康意識調査

図表 52 特定不妊治療費助成者数



資料:羽島市健康管理課

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|----------------------------|-------|------|
| 妊娠中、心身ともに快調であると感じた人の割合 | 49.6% | 100% |
| 出産について満足している人の割合 | 81.4% | 100% |
| 妊娠中、産後に相談できる人がいる割合 | 97.7% | 100% |
| 妊娠 11 週以下での妊娠の届け出率 | 89.1% | 100% |
| 母子健康管理指導事項連絡カードを知っている妊婦の割合 | 31.2% | 100% |
| 妊娠中の喫煙率 | 3.6% | 0% |
| 妊娠中の同居者の喫煙率 | 36.7% | 0% |
| 妊娠中の飲酒率 | 5.5% | 0% |

◆目標値を達成するための取り組み

- 妊娠満 11 週以内に保健センターへ妊娠の届け出をするように啓発し、早期に妊婦に適切な指導をしていきます。
- 母子健康管理指導事項連絡カードは母子健康手帳内に様式があることを、母子健康手帳交付時に説明し必要時に利用していただくよう啓発をします。
- 母子健康手帳発行時に、喫煙、飲酒等の悪影響に関するパンフレットを配布し、知識の普及を図ります。
- 母子健康手帳発行時に、問診を実施し、妊娠中や産後に気軽に相談できる機関の情報提供や妊娠中や産後に起こりえる体や心の変化について知識の普及と相談を行います。
- 「パパママ教室」への参加を呼びかけ、出産や育児、栄養等に関する正しい知識を普及します。
- 不妊治療を求める夫婦に対して、特定不妊治療費の一部助成事業を継続します。

2 歯の健康

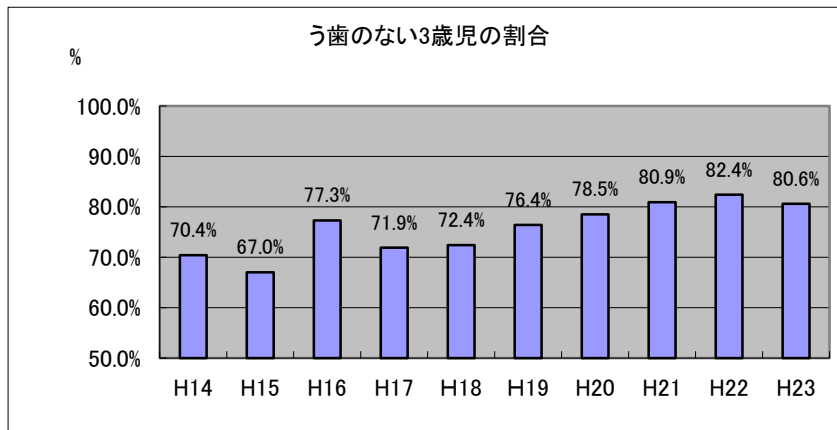
◆現状と課題

○う歯のない3歳児の割合が増加しています。1人平均う歯数についても減少しています。

○フッ化物塗布を受けたことのある3歳児の割合が増加しています。

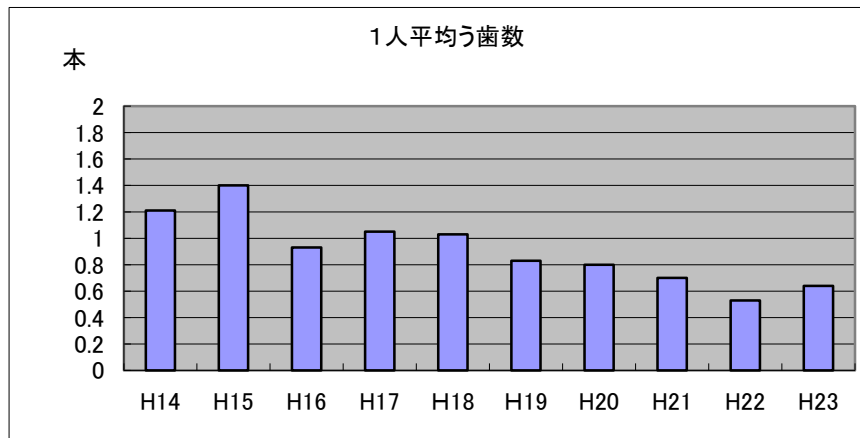
○甘味食品・飲料を頻回飲食する児の割合が減少しています。おやつを与える回数は、2回が53.7%で高くなっていますが、3回以上与える方も10.9%あります。

図表 53 う歯のない3歳児の割合



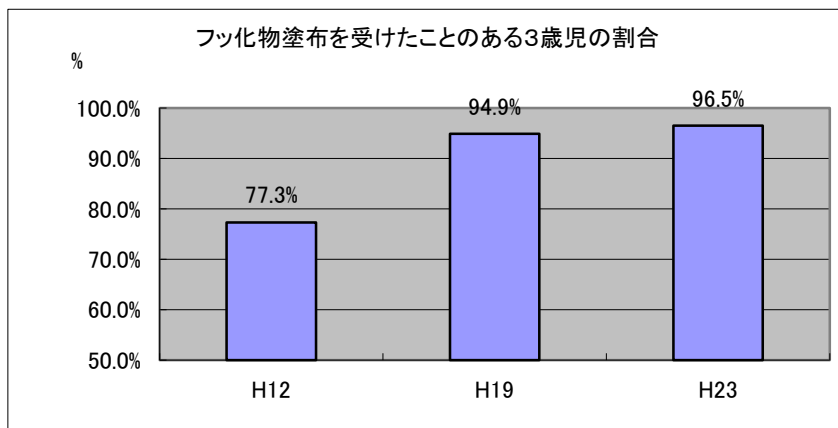
資料:3歳児健康診査

図表 54 一人平均う歯数(3歳児)



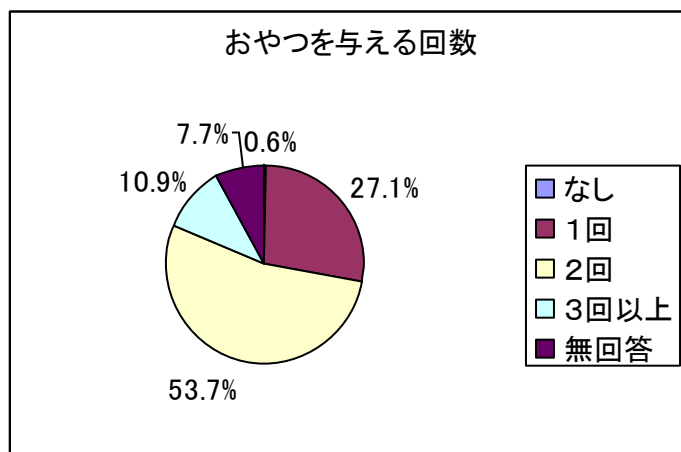
資料:3歳児健康診査

図表 55 フッ化物塗布を受けたことのある3歳児の割合



資料: 3歳児健康診査

図表 56 おやつを与える回数



資料: 1歳6ヵ月児健康診査・3歳児健康診査

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|-------------|-------|-------|
| う歯のない3歳児の割合 | 80.6% | 85%以上 |

◆目標値を達成するための取り組み

- う歯予防は毎日の生活習慣が大きく影響を及ぼします。引き続き、「乳児健康診査」、「離乳食教室」、「10ヵ月教室」等の健診や教室の機会をとらえ、乳児期からの歯の健康に対する意識づけを行うとともに、よい食生活や生活習慣を啓発していきます。
- 「1歳6ヵ月健康診査」、「3歳児健康診査」では、それぞれ健診対象者の希望者へ、「歯みがき教室とフッ化物塗布」では、2歳児・2歳6ヵ月児にフッ化物塗布を実施します。フッ化物塗布の有効性を説明し、できるだけ多くの児がフッ化物塗布をするようにします。また、定期的にフッ化物塗布を実施していくことが有効であるため、3歳児健康診査以降も、かかりつけ歯科医を持ち定期的に実施する必要性について啓発していきます。

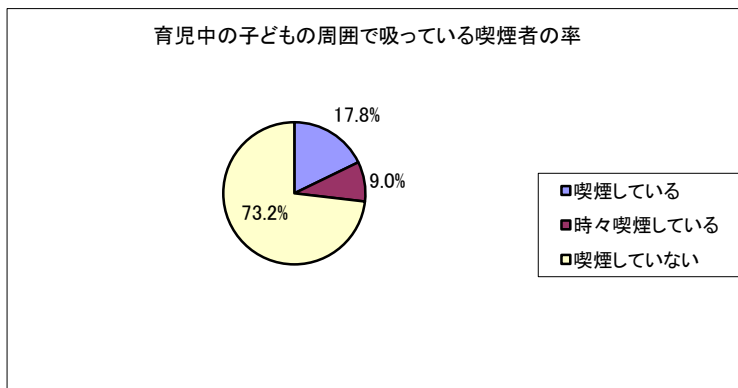
- 2 歳児、2 歳 6 ヶ月児を対象とした「菌みがき教室とフッ化物塗布」において、ブラッシング指導や生活習慣、食生活に対する個別指導を実施します。
- 保育園、幼稚園への「巡回歯科衛生教育」において、園児に対する歯の磨き方、特に第一大臼歯の磨き方を指導します。

3 育児環境と事故防止

◆現状と課題

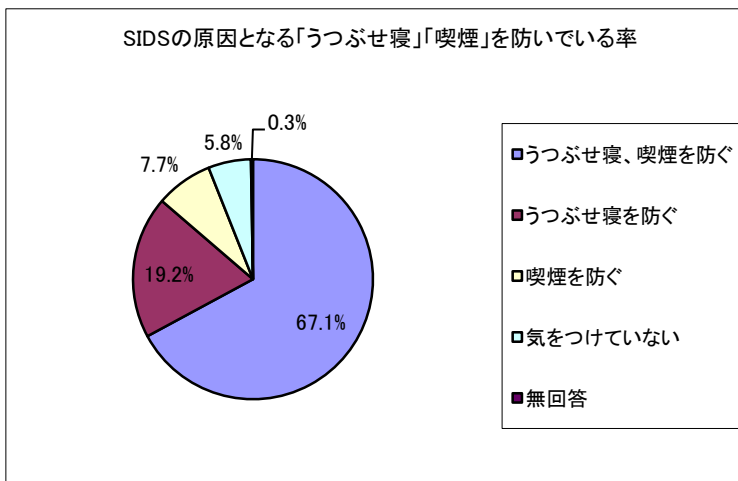
- こどもの周囲でたばこを吸っている家族が 17.8%、ときどき吸っている家族が 9.0%、あわせて 26.8%で減少しています。
- SIDS(乳幼児突然死症候群)の原因とされる「うつぶせ寝」や「喫煙」を予防していない(気をつけていない)割合が 5.8%で減少しています。
- 事故予防のために、たばこや灰皿、口に入れると危険なものを子どもの周りに置かないように常に注意している割合は、1歳6ヵ月児 81.4%、3歳児 86.2%で増加しています。また、お風呂の水を常にぬいている割合は1歳6ヵ月児 88.5%、3歳児 83.7%で増加しており、事故予防を講じる割合が高くなっています。
- 救急法を知っている割合が低くなっています。
- チャイルドシートを着用している割合は乳児 85.3%、1歳6ヵ月児 81.4%、3歳児 74.0%で増加しています。
- 1歳6ヵ月までにDPT(三種混合)の予防接種が1回以上終了している割合は 93.5%、MR(麻しん風しん混合)の予防接種が終了している割合は 91.8%で増加しています。

図表 57 育児中の子どもの周囲で吸っている喫煙者の率



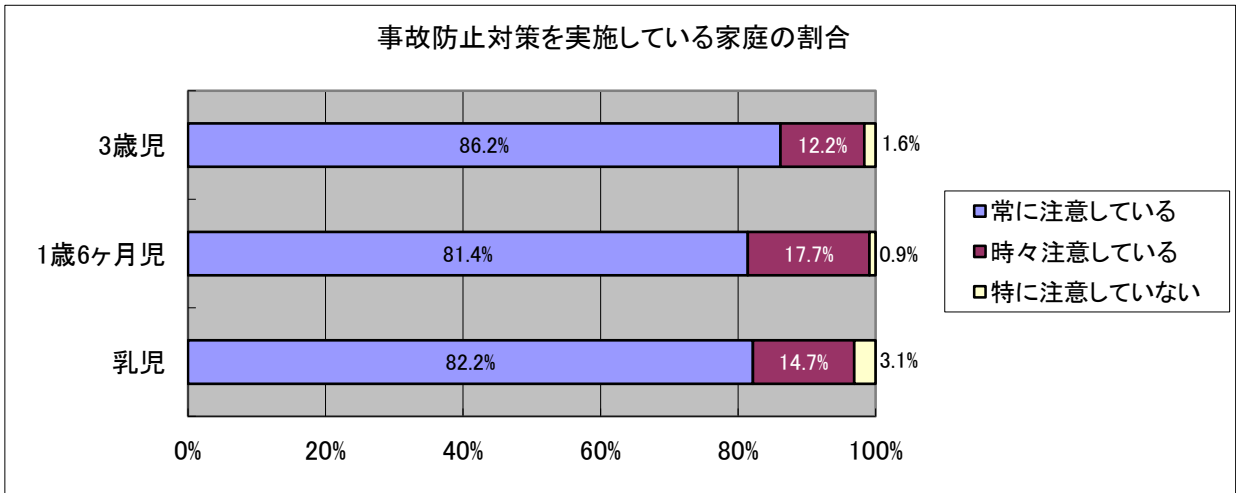
資料:健康意識調査

図表 58 SIDSの原因となる「うつぶせ寝」「喫煙」を防いでいる率



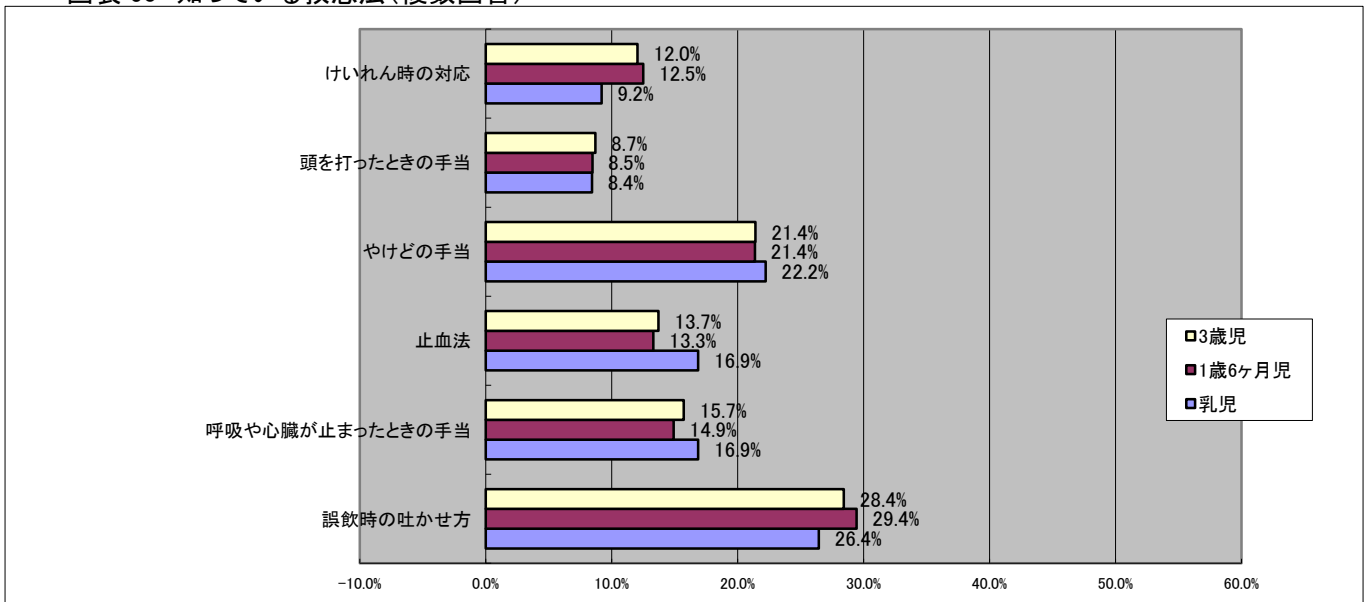
資料:健康意識調査

図表 59 事故防止対策を実施している家庭の割合



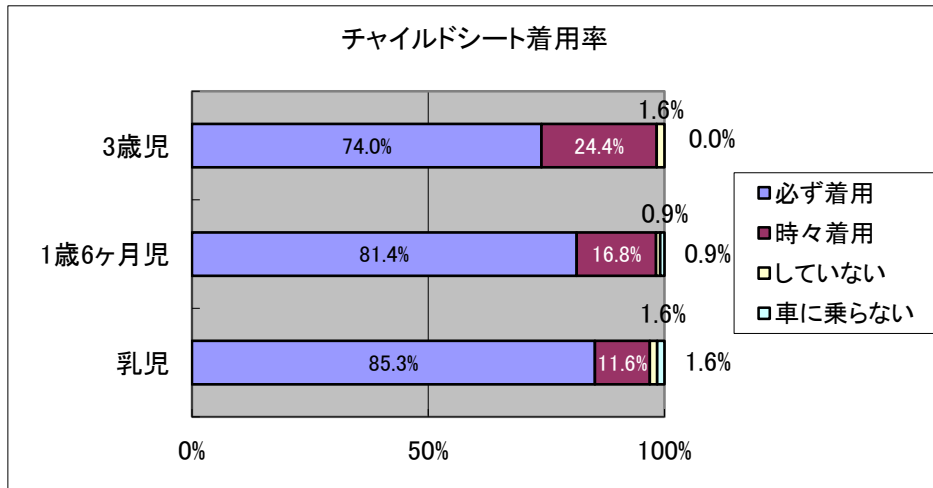
資料: 健康意識調査

図表 60 知っている救急法(複数回答)



資料: 健康意識調査

図表 61 チャイルドシート着用率



資料: 健康意識調査

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|--------------------------------|-------|-------|
| 育児期間中の自宅での喫煙率(こどもの周囲で吸っている喫煙者) | 26.8% | なくす |
| 乳児期にうつぶせ寝を防いでいない割合 | 5.8% | なくす |
| 事故防止対策を実施している家庭の割合 | | |
| 1歳6ヵ月児 | 81.4% | 100% |
| 3歳児 | 85.0% | 100% |
| 心肺蘇生法を知っている家庭の割合 | | |
| 乳児 | 16.9% | 100% |
| 1歳6ヵ月児 | 14.9% | 100% |
| 3歳児 | 15.7% | 100% |
| チャイルドシートを必ずしている割合 | | |
| 乳児 | 85.3% | 100% |
| 1歳6ヵ月児 | 81.4% | 100% |
| 3歳児 | 74.0% | 100% |
| MR接種率 | | |
| 第1期 | 93.7% | 95%以上 |
| 第2期 | 95.5% | 96%以上 |

◆目標値を達成するための取り組み

- 妊婦や乳幼児のいるところでは喫煙をしないよう啓発を行ないます。
- 母子健康手帳交付時に、妊娠中の禁煙や受動喫煙の防止やSIDS(乳幼児突然死症候群)と関連する「乳幼児期のうつぶせ寝」「こどもの周囲での喫煙」を防ぐように呼びかけます。
- 乳児健康診査時に安全チェック表に基づき、各家庭で必要な事故防止対策について保護者とともに確認をし、意識の向上に努めます。
- 各種健康診査、教室等の保健事業において、対象児の月齢、年齢に応じた事故防止について指導を実施します。
- 10ヵ月児教室において救急ボランティアによる心肺蘇生法の講習を実施し、救命手当の知識や技術の普及を行ないます。
- 防災交通課と連携し、母子健康手帳交付時や乳児期の教室においてチャイルドシートの着用の意識づけを繰り返し行ないます。
- 予防接種法に基づき実施する定期予防接種の接種率向上のため、乳幼児健診及び教室時に接種状況を個別に確認し、勧奨を行ないます。

4 子育てと育児参加

◆現状と課題

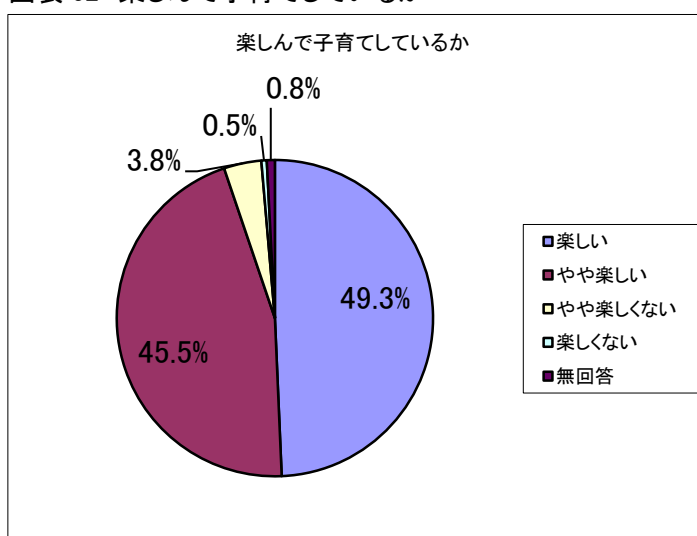
○子育てが「楽しい」と答えた人が 49.3%、「やや楽しい」が 45.5%で、あわせて 94.8%になります。「やや楽しくない」が 3.8%、「楽しくない」が 0.5%であわせて 4.3%です。

○ここに余裕を持って子育てをしている割合は、「はい」が 67.9%、「いいえ」が 1.9%、「どちらでもない」が 30.3%です。

○育児について相談相手のいる母親の割合は 97.3%です。

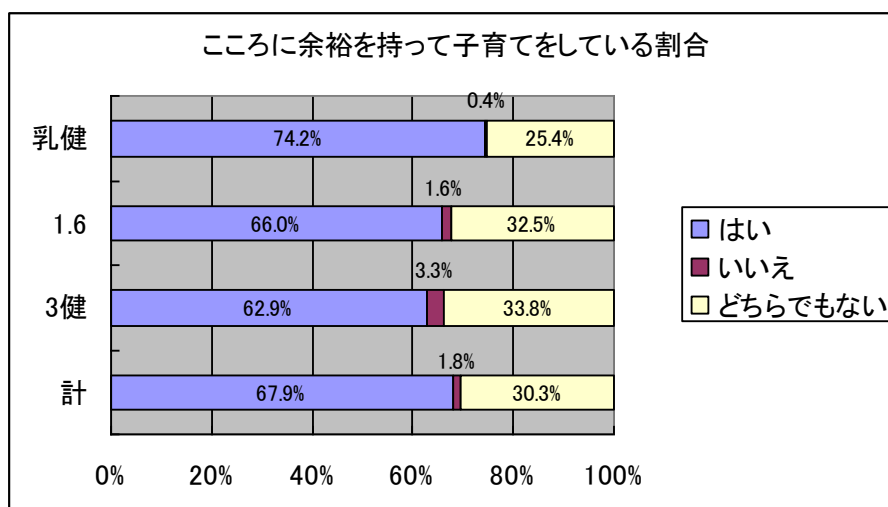
○父親の育児参加や協力状況に満足している割合は、「満足」が 34.2%、「やや満足」が 37.0%であわせて 71.2%です。

図表 62 楽しんで子育てしているか



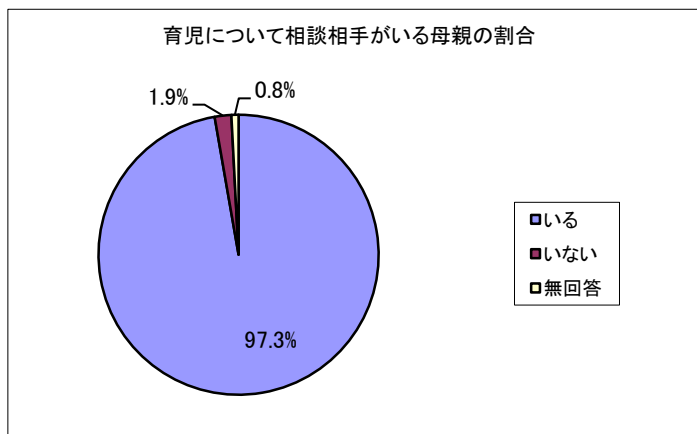
資料:健康意識調査

図表 63 ところに余裕を持って子育てをしている割合



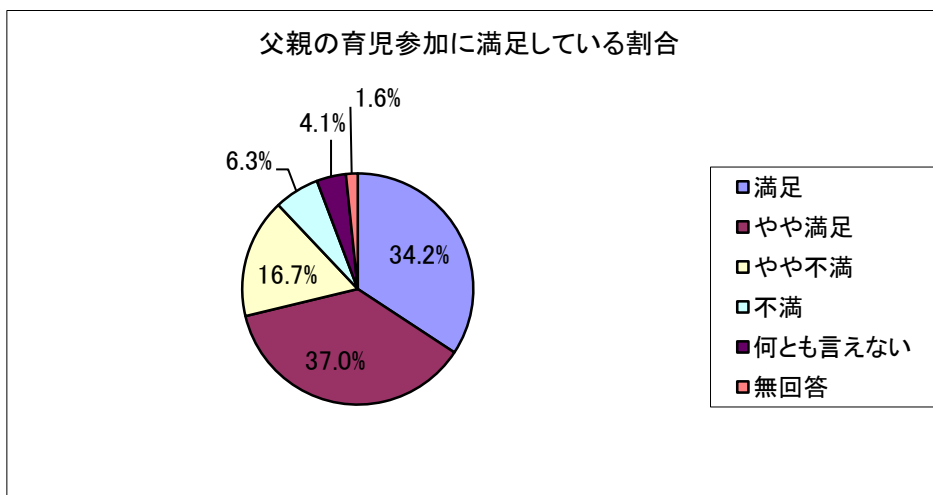
資料:乳幼児健康診査

図表 64 育児における相談相手



資料:健康意識調査

図表 65 父親の育児参加に満足している割合



資料:健康意識調査

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|-----------------------|-------|-------|
| ここに余裕を持って子育てをしている割合 | 67.9% | 増加傾向へ |
| 育児について相談相手のいる母親の割合 | 97.3% | 増加傾向へ |
| 父親の育児参加や協力状況に満足している割合 | 71.2% | 増加傾向へ |

◆目標値を達成するための取り組み

- こんにちは赤ちゃん事業において母子保健推進員等が4ヵ月までの乳児を全戸訪問し、子育て支援に関する情報提供、親子の心身の状況の確認、養育環境の把握及び助言をし、必要時には早期から保健センター等専門機関につなぐことで育児不安の軽減を図ります。
- 母子健康手帳交付時に育児について相談できる機関を紹介します。
- 乳幼児健康診査の場において、市内の子育て支援センター、育児サークルを紹介することで母親同士の仲間づくりを推進し、育児の孤立化を防ぎます。

- 福祉課、子ども相談センター等の関係機関との連携により虐待の早期発見に努めるとともに虐待が疑われる家庭への支援を関係機関と協力して行ないます。
- パパママ教室を通じて父親の育児参加の大切さを知らせるとともに、母子健康手帳交付時に父親向けのパンフレットなどで PR することで父親の育児参加の推進を図ります。

Ⅱ 児童・生徒の健康づくり

1 栄養・食生活

◆現状と課題

○小学生男女、中学生男女ともに肥満者の割合が減少しています。中学生男子、高校3年生はやや高くなっています。

○朝食摂取状況をみると、「ほとんど食べない」の割合が小学6年生 2.4%、中学3年生 1.9%、高校3年生 8.9%になっています。

朝食を食べない理由には、「時間がない」が一番多く、「食欲がない」、「食べる習慣がない」といった理由となっています。

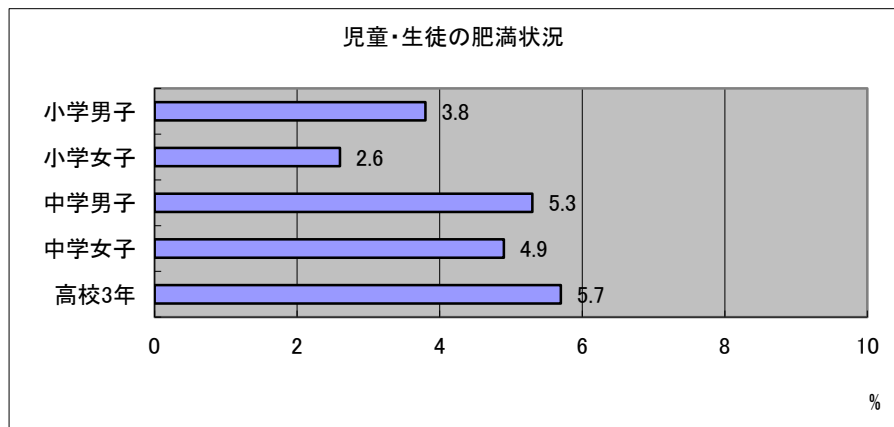
○1週間のうち家族で食事をする割合をみてみると、「週に4~5回食べる」が小学6年生で77.6%、中学3年生で72.2%、高校3年生で46.8%になっています。「ほとんど食べない」が小学6年生で4.8%、中学3年生で8.0%、高校3年生で8.2%になっています。

○1日の主食、主菜、副菜のそろった食事回数をみてみると、「3食」が小学6年生で39.3%、中学3年生で26.5%、高校3年生で17.7%になっています。

○羽島市ならではの食材や郷土料理を知っている割合は、小学6年生で47.9%、中学3年生で74.1%、高校3年生で27.2%になっています。

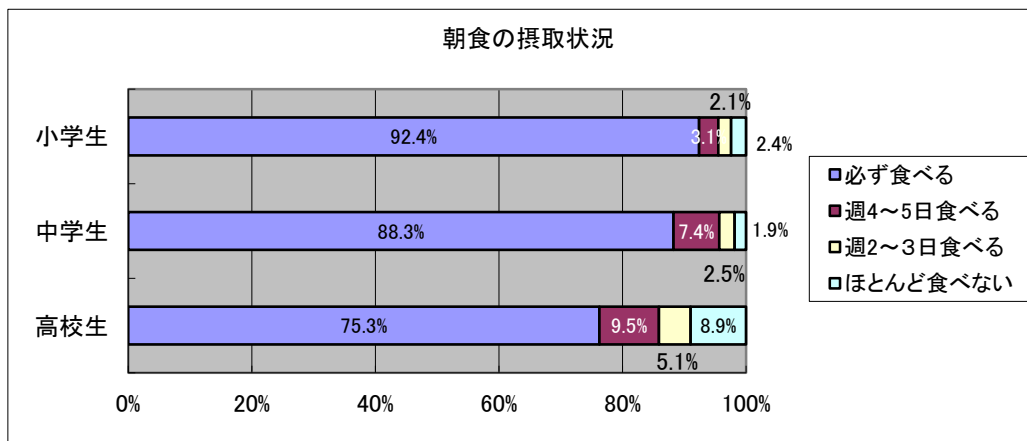
○行事食や郷土料理をつくったり食べたりしている割合は、小学6年生で80.3%、中学3年生で75.9%、高校3年生で56.3%になっています。

図表 66 児童・生徒の肥満者の割合



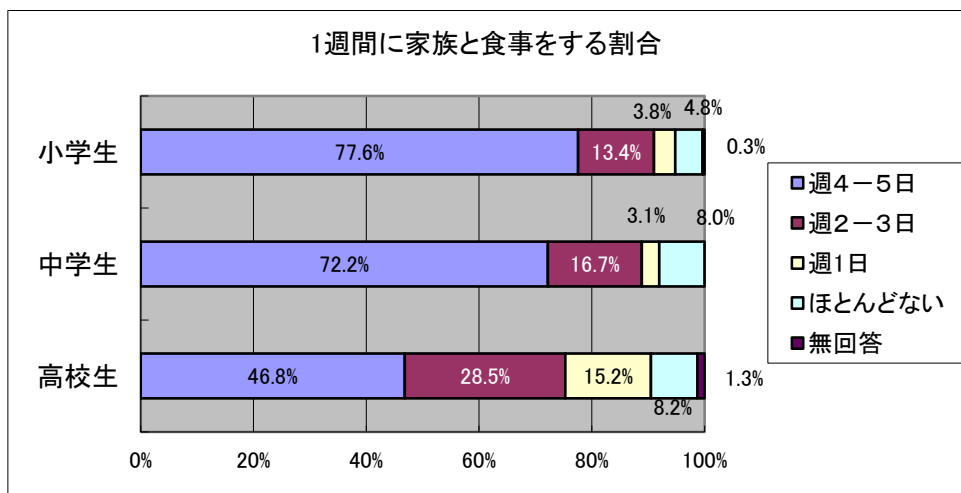
資料:子どものからだ(羽島市学校保健会)(平成23年)

図表 67 朝食の摂取状況



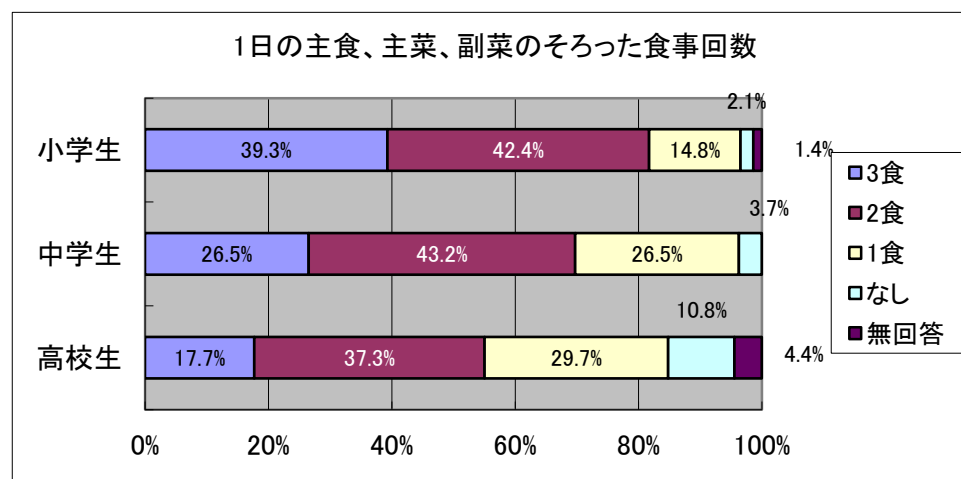
資料: 毎日の生活についてのアンケート

図表 68 1週間に家族と食事をする割合



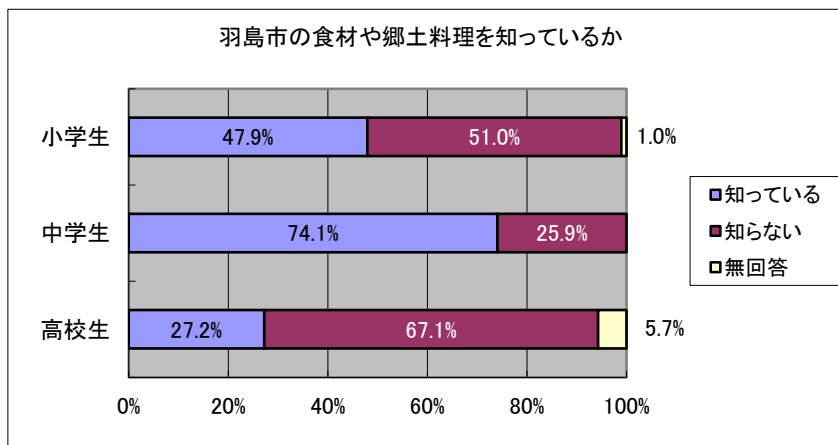
資料: 毎日の生活についてのアンケート

図表 69 1日の主食、主菜、副菜のそろった食事回数



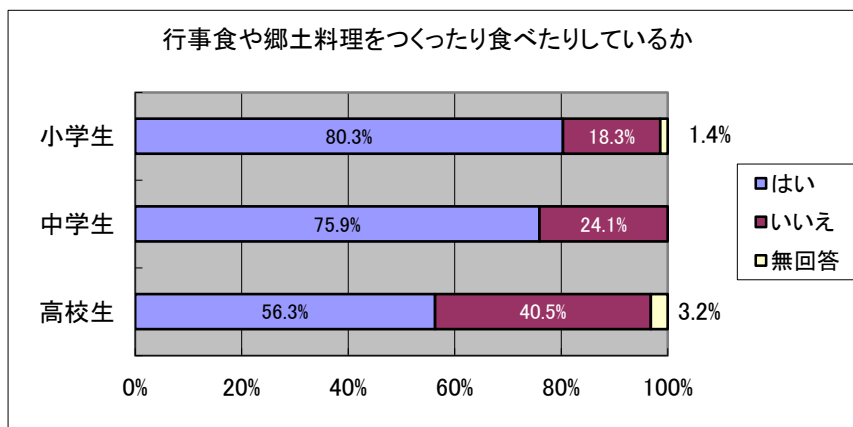
資料: 毎日の生活についてのアンケート

図表 70 羽島市の食材や郷土料理を知っている割合



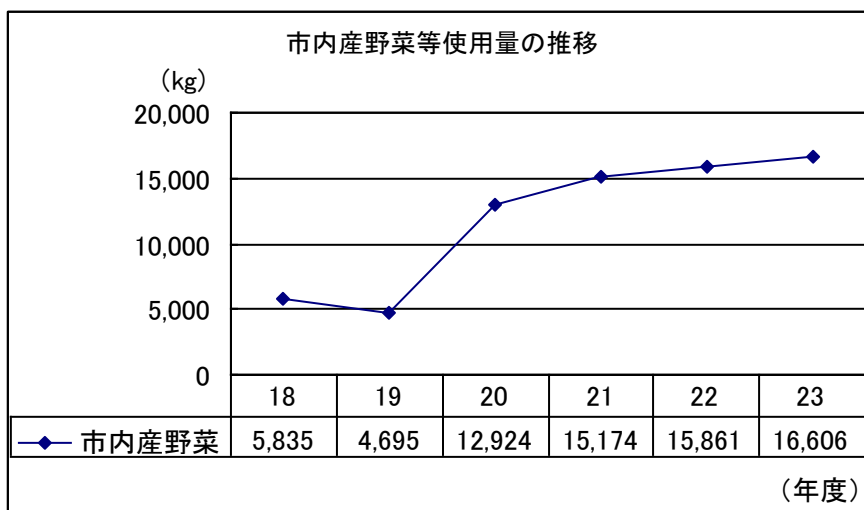
資料: 毎日の生活についてのアンケート

図表 71 行事食や郷土料理をつくったり食べている割合



資料: 毎日の生活についてのアンケート

図表 72 市内産野菜等使用量の推移



資料: 羽島市農政課

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|-------------------|-----------|-------------|
| 児童・生徒の肥満者 | | |
| 小学生男子 | 3.8% | 3.5%以下 |
| 小学生女子 | 2.6% | 2.5%以下 |
| 中学生男子 | 5.3% | 5.0%以下 |
| 中学生女子 | 4.9% | 4.5%以下 |
| 高校3年生 | 5.7% | 5.0%以下 |
| 朝食を食べない児童・生徒の割合 | | |
| 小学6年生 | 2.4% | 0% |
| 中学3年生 | 1.9% | 0% |
| 高校3年生 | 8.9% | 0% |
| 3食きちんとした食事をする割合 | | |
| 小学6年生 | 39.3% | 50%以上 |
| 中学3年生 | 26.5% | 40%以上 |
| 高校3年生 | 17.7% | 30%以上 |
| 郷土料理をつくったり食べる割合 | | |
| 小学6年生 | 80.3% | 90%以上 |
| 中学3年生 | 75.9% | 80%以上 |
| 高校3年生 | 56.3% | 70%以上 |
| 学校給食における市内産野菜等使用量 | 16,606 kg | 20,000kg 以上 |

◆目標値を達成するための取り組み

- 肥満傾向の児童・生徒は成人期での生活習慣病の恐れがあります。運動や食生活等の継続的な指導を行います。
- 1日3回の食事は、栄養・食生活の基本です。特に朝食をしっかりと規則正しい生活リズムを整えることが必要であることから、学校での指導及び家庭への啓発をします。
- 主食、主菜、副菜のそろったバランスの取れた食事の必要性を指導します。
- 子どもの食生活を見直すためには家庭への支援が必要です。食生活のボランティア活動を行う食生活改善推進員による食育教室等の講習会を開催し啓発をします。
- 羽島ならではの食材や郷土料理を学校給食等で啓発し、食文化を伝えていきます。
- 学校給食における市内産野菜を使用した学校給食を推進していきます。

2 休養・こころの健康づくり

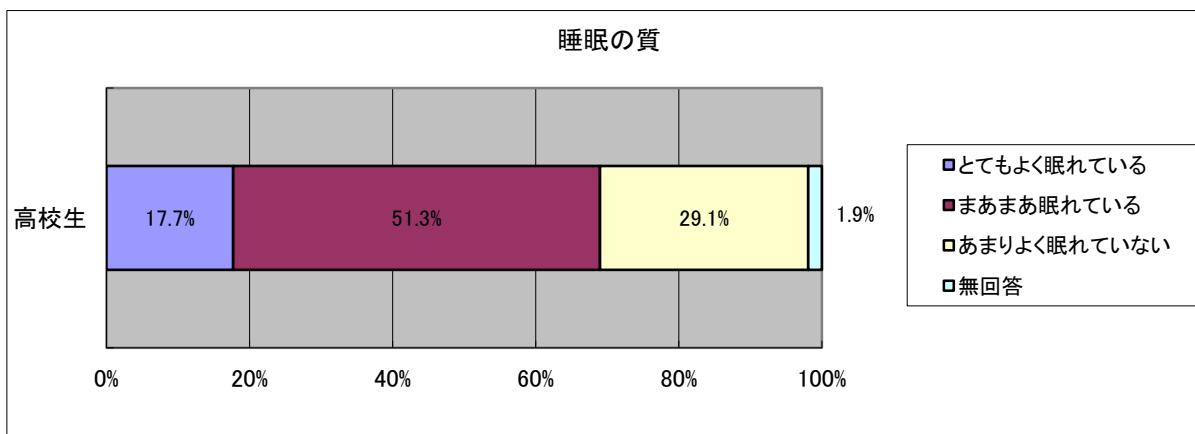
◆現状と課題

○心身の疲労の回復と充実した生活を送るためには、休養が必要です。十分な睡眠をとり、ストレスと上手につきあうことはこころの健康に欠かせない要素ですが、高校3年生の29.1%が「あまりよく眠れていない」と答えています。

○現代は、ストレス社会と言われるほど多くのストレスを児童・生徒もかかえています。「ストレスを毎日のように感じる」が小学6年生8.3%、中学3年生17.3%、高校3年生31.6%となっています。

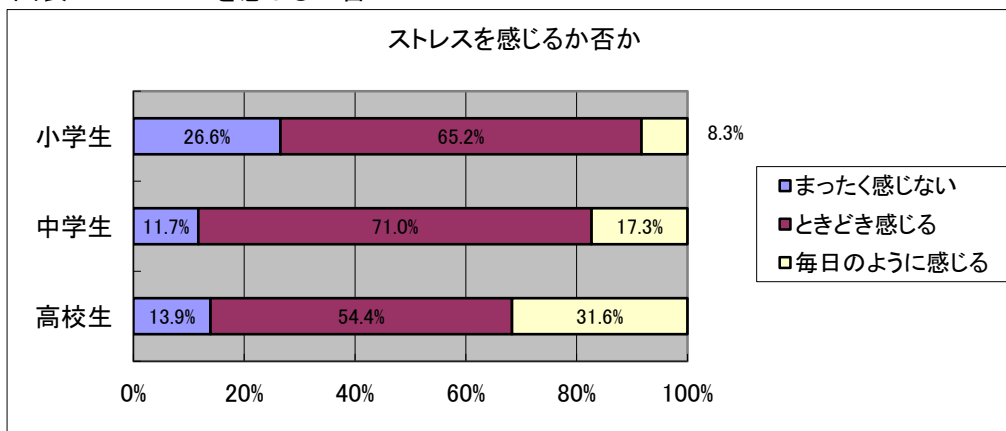
○適度なストレスは誰しも抱えていることから、自分自身でストレスを解消できる方法を持つことが必要です。ストレスを「ときどき感じる」「毎日感じる」と答えた者のうちストレス解消法がある小学6年生93.9%、中学3年生90.6%、高校3年生83.1%になっています。小学6年生では「運動をする」や「趣味を楽しむ」の割合が高く、中学生、高校生では「趣味を楽しむ」、「友人や家族と話す」の割合が高くなっています。

図表 73 睡眠の質



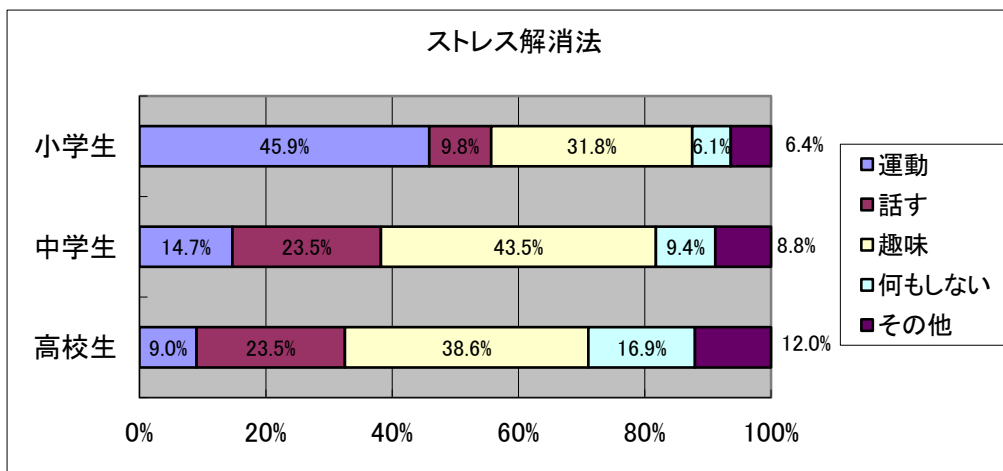
資料: 毎日の生活についてのアンケート

図表 74 ストレスを感じるか否か



資料: 毎日の生活についてのアンケート

図表 75 ストレス解消法



資料: 毎日の生活についてのアンケート

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|---------------|-------|-------|
| あまりよく眠れていない割合 | | |
| 高校 3 年生 | 29.1% | 10%以下 |
| ストレス解消法がある割合 | | |
| 小学 6 年生 | 93.9% | 100% |
| 中学 3 年生 | 90.6% | 100% |
| 高校 3 年生 | 83.1% | 100% |

◆目標値を達成するための取り組み

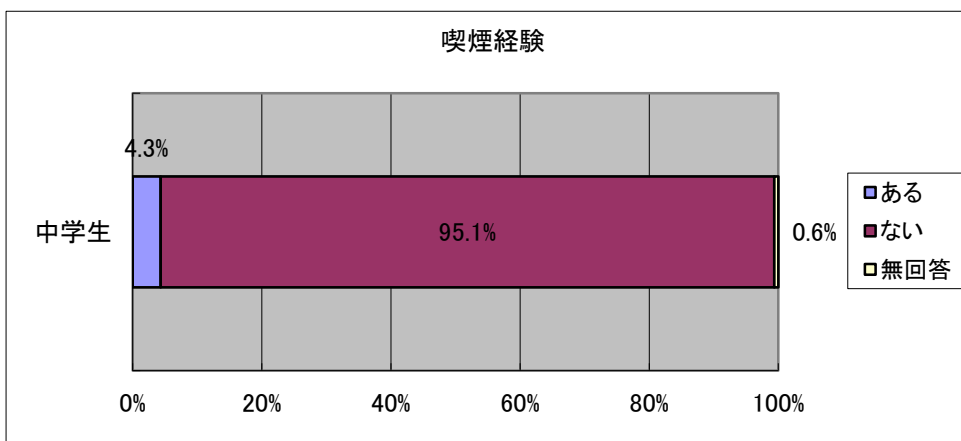
- 規則正しい生活をこころがけ、十分な睡眠をとるように指導します。
- 運動、趣味などの自分にあったストレス解消法を見つけていけるよう情報提供をしていきます。

3 喫煙、飲酒および薬物使用の防止

◆現状と課題

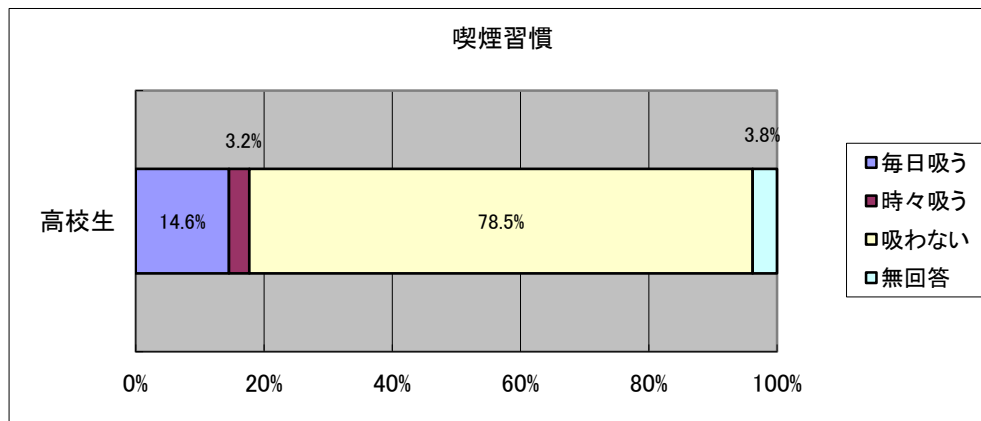
- 中学 3 年生の 4.3%が「たばこを吸ったことがある」と答えています。また高校 3 年生ではたばこを「毎日吸う」「時々吸う」の合計が 17.8%もあります。
- 中学 3 年生の 27.8%が「酒を飲んだことがある」と答えています。また高校 3 年生で酒を「毎日飲む」が 5.7%、「時々飲む」が 30.4%ありました。
- 覚醒剤や麻薬などの使用の害に関する知識について聞いたところ、小学 6 年生の 93.8%、中学 3 年生の 97.5%、高校 3 年生の 88.0%が「知っている」と回答しています。

図表 76 喫煙体験



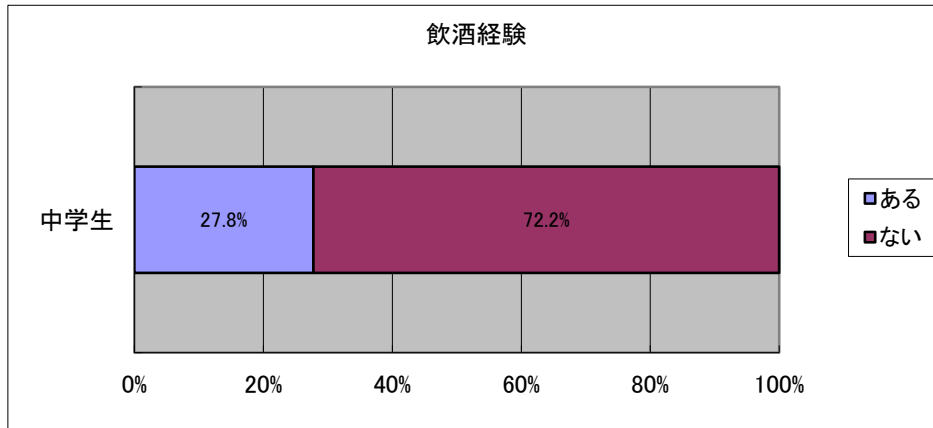
資料: 毎日の生活についてのアンケート

図表 77 喫煙習慣



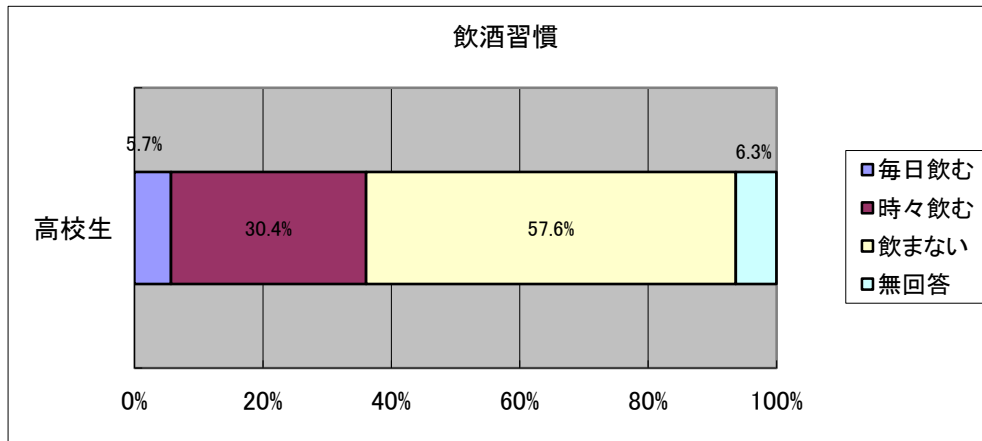
資料: 毎日の生活についてのアンケート

図表 78 飲酒経験



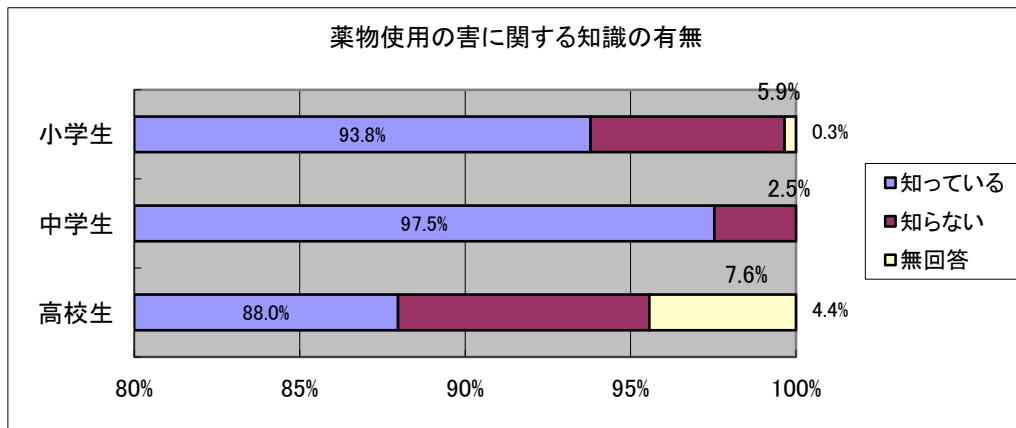
資料: 毎日の生活についてのアンケート

図表 79 飲酒習慣



資料: 毎日の生活についてのアンケート

図表 80 薬物使用の害に関する知識の有無



資料: 毎日の生活についてのアンケート

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|---------------------|-------|------|
| 喫煙経験率 | | |
| 中学3年生 | 4.3% | 0% |
| 喫煙率 | | |
| 高校3年生 | 17.8% | 0% |
| 飲酒経験率 | | |
| 中学3年生 | 27.8% | 0% |
| 飲酒率 | | |
| 高校3年生 | 36.1% | 0% |
| 薬物乱用の有害性について知っている割合 | | |
| 小学6年生 | 93.8% | 100% |
| 中学3年生 | 97.5% | 100% |
| 高校3年生 | 88.0% | 100% |

◆目標値を達成するための取り組み

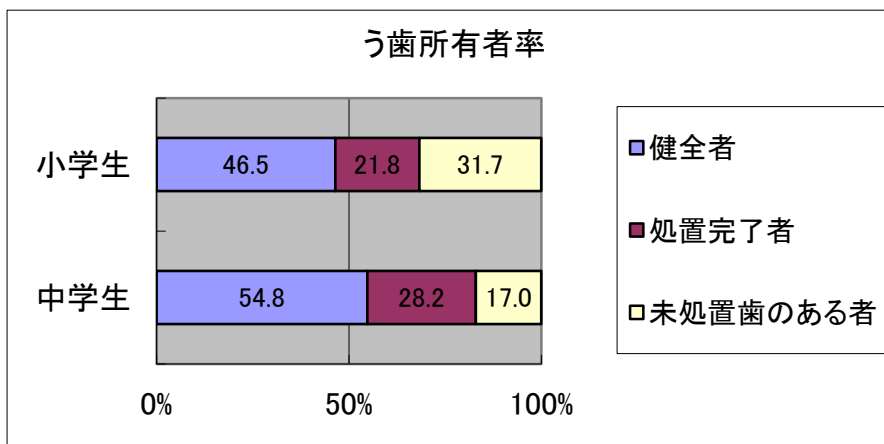
- 未成年者の喫煙及び飲酒は法律で禁止されています。児童・生徒に喫煙や飲酒が及ぼす健康への害について学校、家庭において指導を行い、地域社会においても未成年者の喫煙、飲酒防止に協力していきます。
- 薬物が与える悪影響について情報提供し、児童・生徒に薬物乱用の有害性について認識させるとともに薬物の乱用を防止します。

4 歯の健康

◆現状と課題

○う歯所有者率は、処置完了者と未処置者をあわせた率となります。小学生が 53.5%、中学生が 45.2%となっています。

図表 81 う歯所有者率



資料:子どものからだ(羽島市学校保健会)

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|--------|-------|-------|
| う歯所有者率 | | |
| 小学生 | 53.5% | 50%以下 |
| 中学生 | 45.2% | 40%以下 |

◆目標値を達成するための取り組み

- う歯を誘発する甘味飲食物の過剰摂取制限、ブラッシングの励行などの広報啓発活動に努め、歯によい習慣づくりを目指します。
- 学校において昼食後の歯みがきを実施します。
- かかりつけ歯科医院等による歯口清掃指導を定期的に受けるなど個別的な指導の推進に努めます。

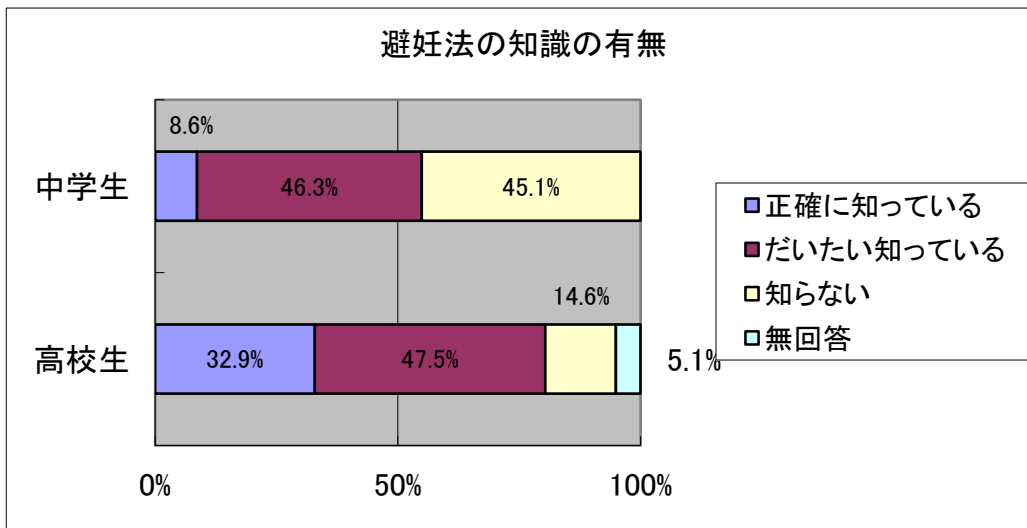
5 性に関する知識

◆現状と課題

○避妊法についての知識については、中学3年生の45.1%および高校3年生の14.6%が「知らない」と答えています。また「正確に知っている」は、中学3年生が8.6%、高校3年生が32.9%です。

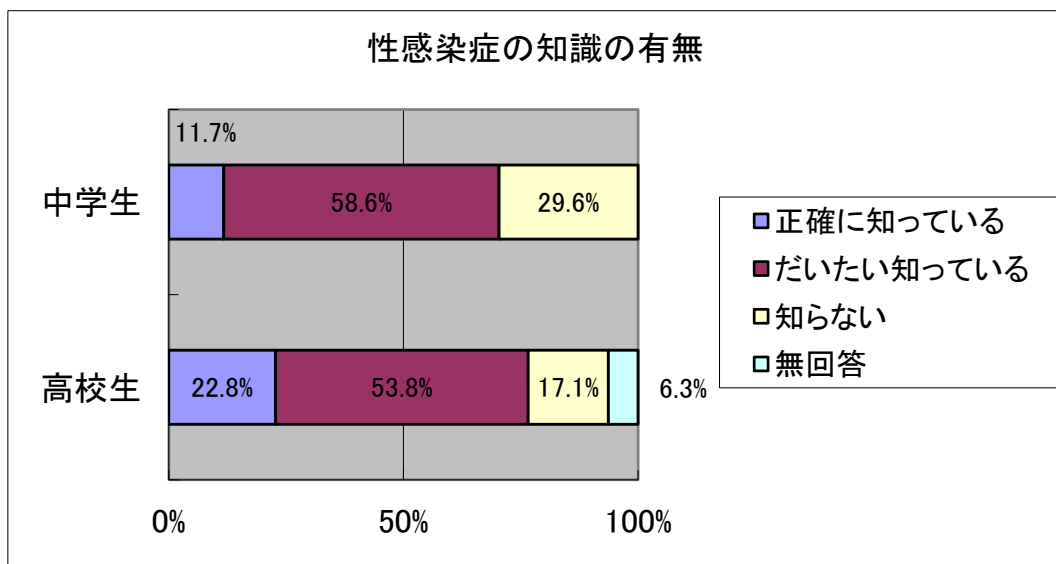
○性感染症については、中学3年生の29.6%、高校3年生の17.1%が「知らない」と答えています。

図表 82 避妊法の知識の有無



資料: 毎日の生活についてのアンケート

図表 83 性感染症の知識の有無



資料: 毎日の生活についてのアンケート

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|--------------------------|-------|------|
| 避妊法を正確に知っている割合 高校3年生 | 32.9% | 100% |
| 性感染症を正確に知っている割合 高校3年生 | 22.8% | 100% |

◆目標値を達成するための取り組み

- 偏った情報に左右されず、正しい知識を身につけるために、学校の保健学習における性教育の充実に努めます。
- 少子社会により初めて触れる子が自分の子という親も多くなっています。児童・生徒が乳幼児と関わる機会を持ち、思いやる心の育成の一環として小中高校生の「乳幼児ふれあい体験」を実施し、自我の発達を助ける機会をつくれます。

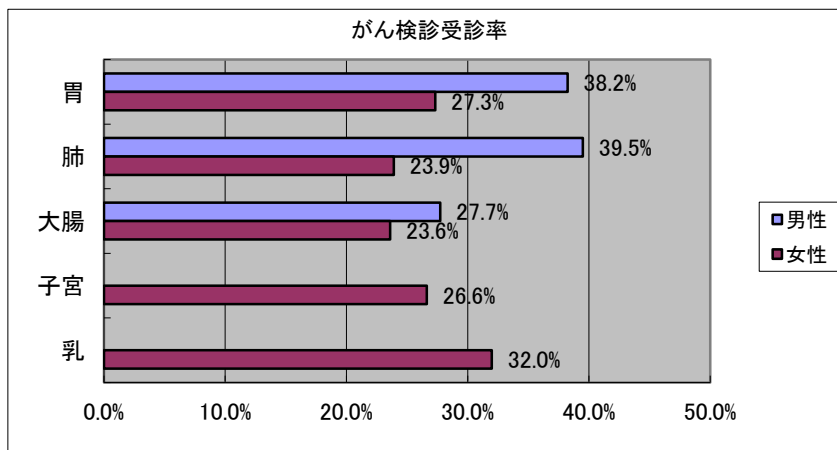
Ⅲ 成人・高齢者の健康づくり

1 生活習慣病の発症・重症化予防と健康寿命

◆現状と課題

- 死亡の統計によると、主要死因別死亡率及び疾病別標準化死亡比ともに、男女とも悪性新生物、心疾患が高くなっています。また男性の糖尿病は、主要死因別死亡率は高くありませんが、疾病別標準化死亡比が非常に高くなっています。
- がんの部位別標準化死亡比では特に女性の胃がん、大腸がん、子宮がん及び乳がんが高くなっています。男性では胃がん、肺がんが高くなっています。
- メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防対策として、平成 20 年 4 月から特定健康診査が実施されていますが、年々受診率が低下しています。特に 40 歳代の男女の受診率が低くなっています。
- 男女ともにメタボリックシンドローム該当者が多く、肥満者の割合が極めて高い状態です。また、中性脂肪、LDLコレステロール、血圧、HbA1c等の検査値において受診勧奨判定値の割合が高くなっています。
- がんの早期発見、早期治療のために定期的に検診を受けることが必要ですが、国の目標とする受診率 50%より下回っています。胃、肺、大腸、乳がん検診は 40～69 歳の受診率、子宮がん検診は 20～69 歳の受診率を算出しています。
- 65 歳の健康寿命は男性 15.8 年、女性 19.0 年となっています。
※平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)による健康寿命の地域指標算定の標準化に関する研究班による平均自立期間の算出方法の指針から算出しており今までの算出方法と変更をしました。

図表 84 がん検診受診率



※胃・肺・大腸・乳がん検診は 40～69 歳
 ※子宮がん検診は 20～69 歳の受診率です。

資料: 市民健康意識調査

◆ 目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|---------------------------------------|-------|-------|
| 国保特定健康診査受診率 | 33.7% | 65%以上 |
| 国保特定保健指導実施率 | 34.9% | 45%以上 |
| 国保特定健康診査 メタボリックシンドローム該当者の割合 (40～74 歳) | | |
| 男性 | 32.5% | 減少 |
| 女性 | 14.5% | 減少 |
| 国保特定健康診査 HbA1c6.1 以上の割合 | | |
| 男性 | 11.4% | 減少 |
| 女性 | 7.4% | 減少 |
| 国保特定健康診査 高血圧の割合 | | |
| 男性 | 58.1% | 減少 |
| 女性 | 52.5% | 減少 |
| 国保特定健康診査 高中性脂肪(150mg/dl 以上)の割合 | | |
| 男性 | 41.8% | 減少 |
| 女性 | 31.5% | 減少 |

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|-----------------------------|-------|-------|
| がん検診受診率 | | |
| 胃がん検診(40～69歳) | | |
| 男性 | 38.2% | 50%以上 |
| 女性 | 27.3% | 50%以上 |
| 肺がん検診(40～69歳) | | |
| 男性 | 39.5% | 50%以上 |
| 女性 | 23.9% | 50%以上 |
| 大腸がん検診(40～69歳) | | |
| 男性 | 27.7% | 50%以上 |
| 女性 | 23.6% | 50%以上 |
| 子宮がん検診(20～69歳) | 26.6% | 50%以上 |
| 乳がん検診(40～69歳) | 32.0% | 50%以上 |
| 前期高齢者(65～74歳)の要支援・要介護認定者発生率 | | |
| 男性 | 3.6% | 現状維持 |
| 女性 | 3.8% | 現状維持 |
| 65歳の健康寿命(※算出方法を変更) | | |
| 男性 | 15.8年 | 増加 |
| 女性 | 19.0年 | 増加 |

◆目標値を達成するための取り組み

- より多くの方が特定健康診査を受けるように保険年金課と連携し受診勧奨をします。
- メタボリックシンドローム該当者及び予備群に対し、特定保健指導を実施し対象者自らが生活習慣を改善するよう援助します。
- がん検診受診率を向上させるため、休日検診を実施し受診しやすい体制を継続します。また、医療機関での受診等、受診しやすい体制づくりを図ります。
- 健康教育や広報、ホームページなどを通じてがん予防の知識の普及、がん検診の受診の必要性について啓発します。
- 糖尿病を予防するための教室を開催し、疾患の正しい理解やバランスのよい食事に関する知識の普及及び運動の推進等を行います。
- 高齢になってもできる限り寝たきりなどの要介護状態にならないよう、介護予防への取り組みを実施します。

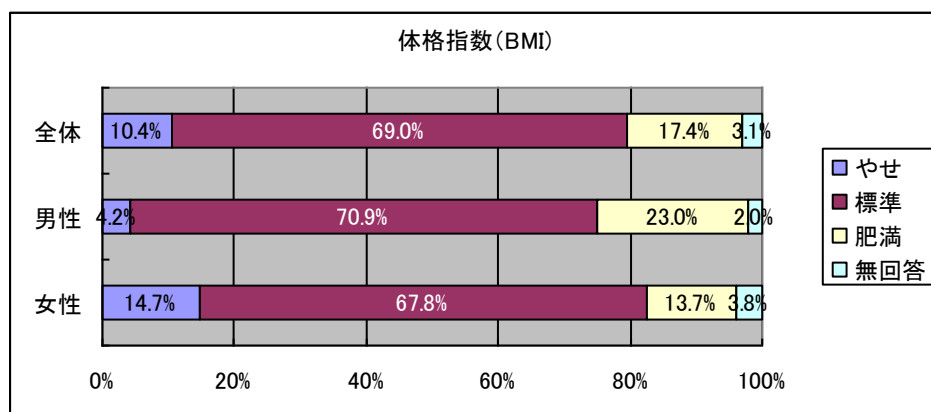
2 生活習慣に関する取り組み

1) 栄養・食生活

◆現状と課題

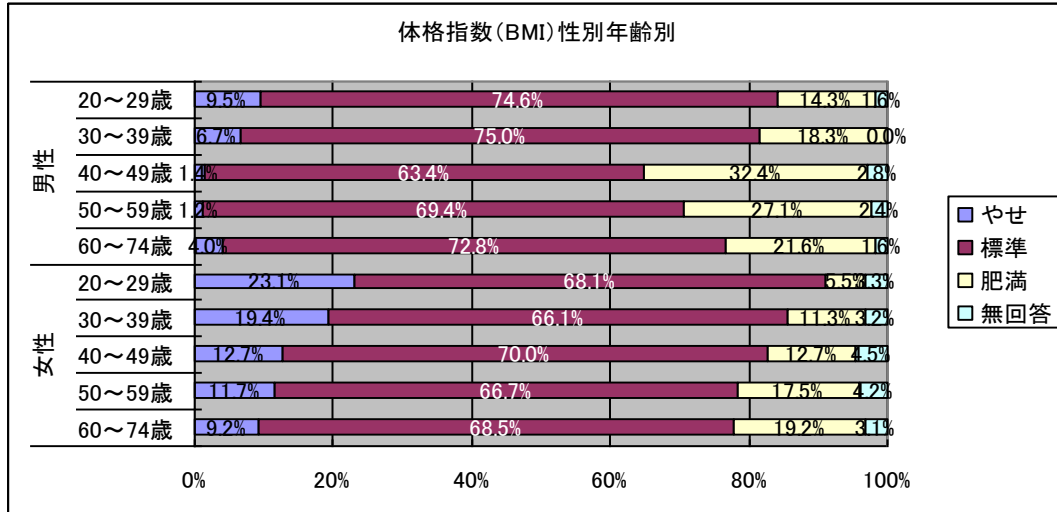
- BMI18.5未満のやせに該当するのは、男性が4.2%、女性が14.7%です。特に女性の20～29歳の23.1%がやせとなっています。
- BMI25.0以上の肥満に該当するのは、男性が23.0%、女性が13.7%です。特に男性の40～49歳の32.4%が肥満となっています。
- BMI20以下の低栄養傾向にある65歳以上の高齢者の割合は、17.6%となっています。
- 岐阜県民栄養調査の結果では、脂肪からのエネルギー摂取割合が30%以上である人が、20歳代の男性で37.7%、女性で52.1%を占めています。20歳代での適正な脂肪エネルギー比率が20～30%であることからかなり高くなっています。
- 岐阜県民栄養調査の結果では、成人1人あたりの食塩摂取量の平均値は、男性10.8g、女性9.6gでした。目標量の男性9.0g未満、女性7.5g未満を上回っています。
- 岐阜県民栄養調査の結果では、成人1人あたりの野菜摂取量の平均値は、男性302.0g、女性290.4gで一日の目標量の350gを下回っています。
- 朝食欠食者の割合は20歳代の男性で21.9%、30歳代の男性で15.0%あります。
- 主食・主菜・副菜がそろった食事が1日3回摂取できている割合は男性で37.2%、女性で33.3%でした。年齢が高くなるにつれて割合が高くなり、60歳～74歳では男女ともに高くなっています。
- 1週間のうち週に4～5回以上家族と食事をする割合は72.4%となっています。年齢が高くなるにつれて高い割合となっています。
- 羽島市ならではの食べ物や郷土料理を知っている割合は57.0%となっています。男性より女性の割合が高くなっています。実際に行事食や郷土料理を作ったり食べたりする割合は53.9%でした。また、次世代へ伝えたいものがあり実際に伝えている割合は8.1%でした。

図表 85 体格指数



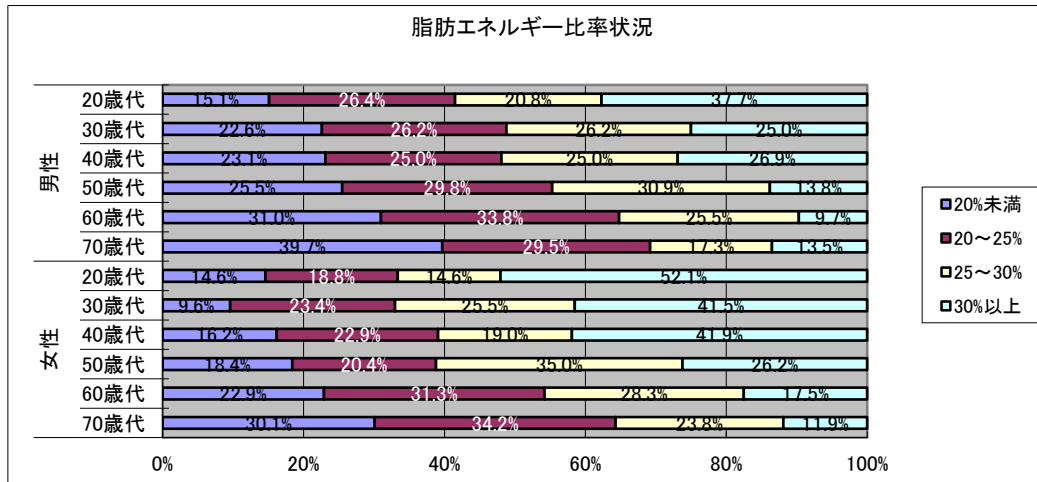
資料: 市民健康意識調査

図表 86 体格指数(性別年齢別)



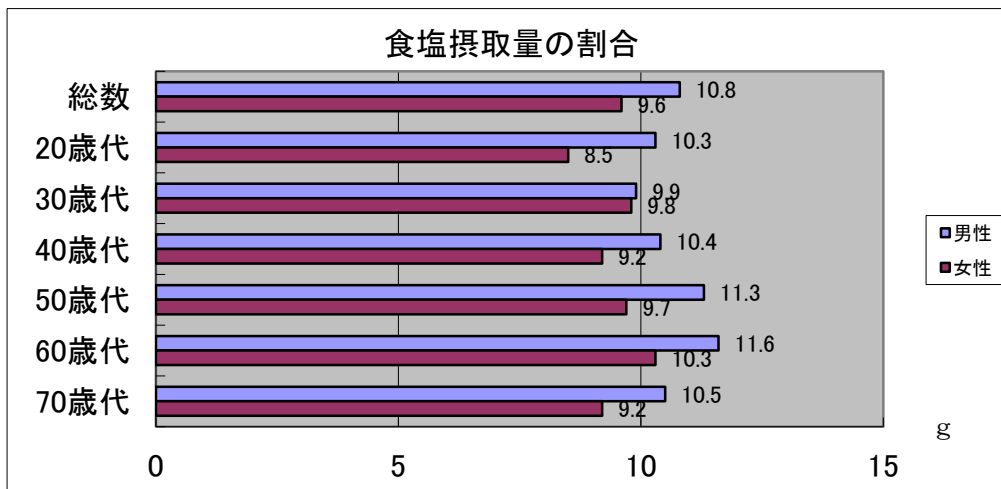
資料: 市民健康意識調査

図表 87 脂肪エネルギー比率状況



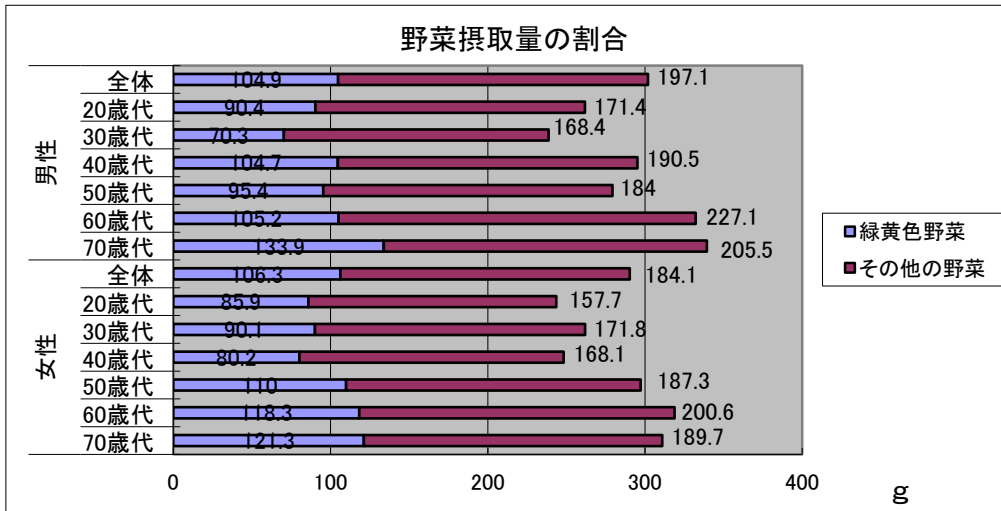
資料: 岐阜県民栄養調査(県全体)

図表 88 食塩摂取量の割合



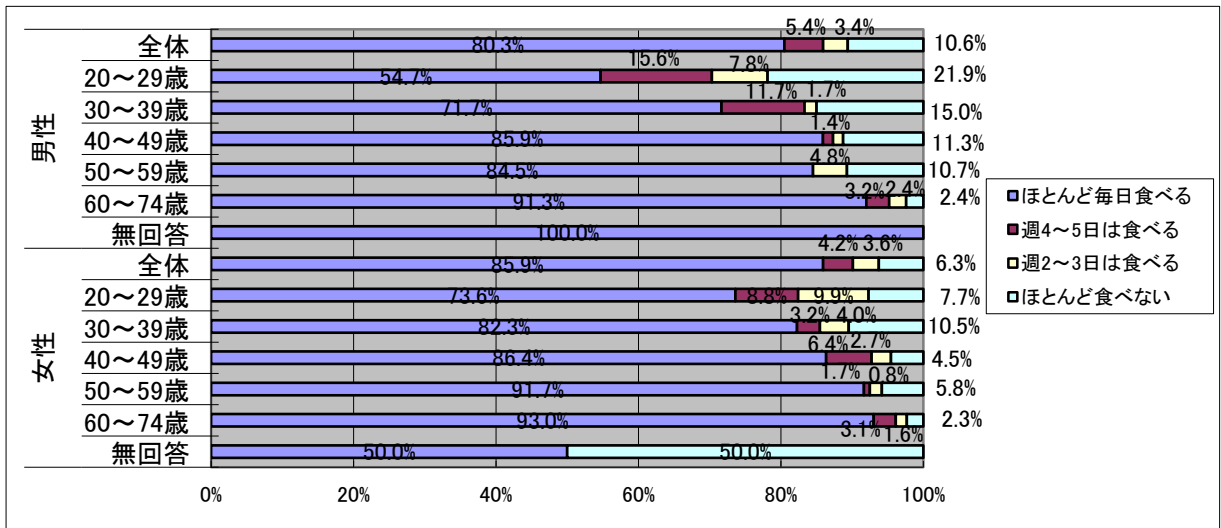
資料: 岐阜県民栄養調査(県全体)

図表 89 野菜摂取量の割合



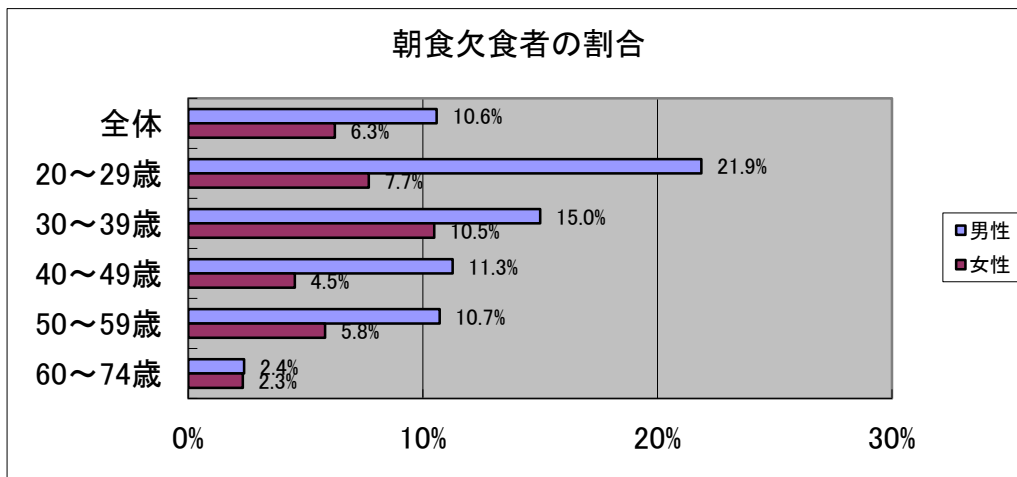
資料: 岐阜県民栄養調査(県全体)

図表 90 朝食摂取状況



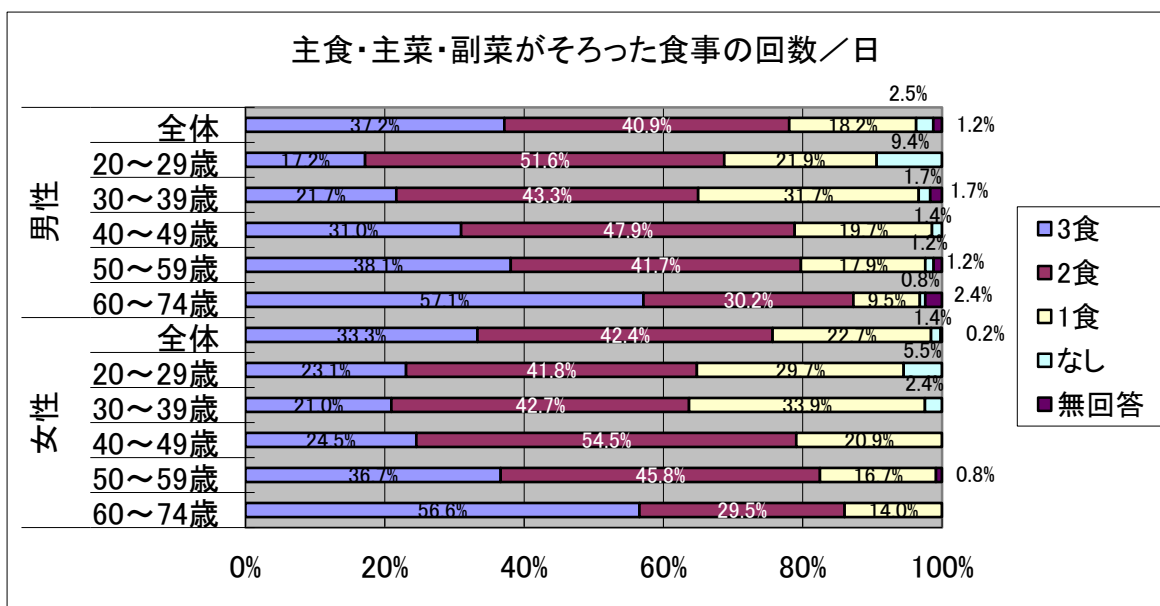
資料: 市民健康意識調査

図表 91 朝食欠食者の割合



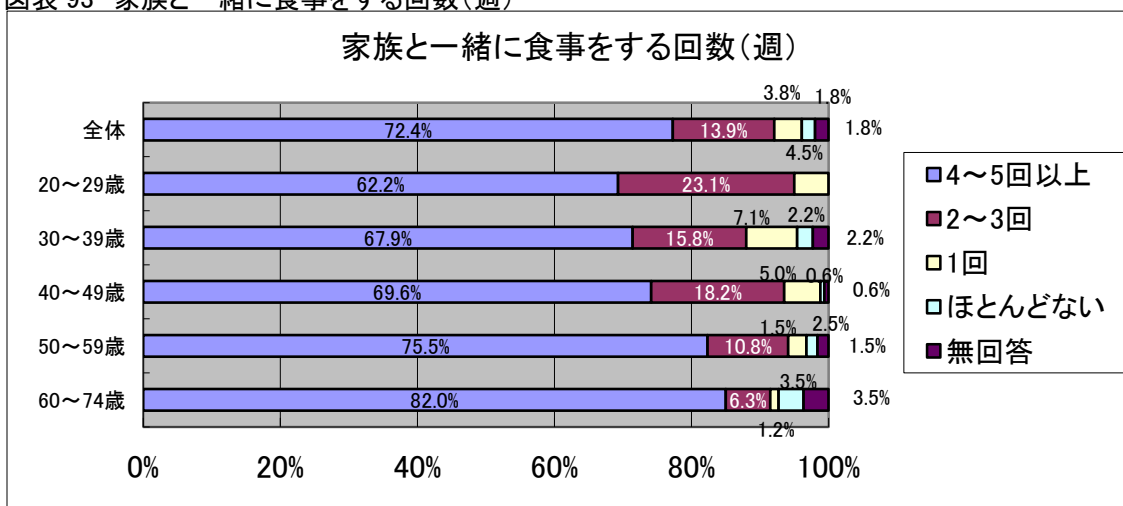
資料: 市民健康意識調査

図表 92 一日のうち主食・主菜・副菜がそろった食事の回数



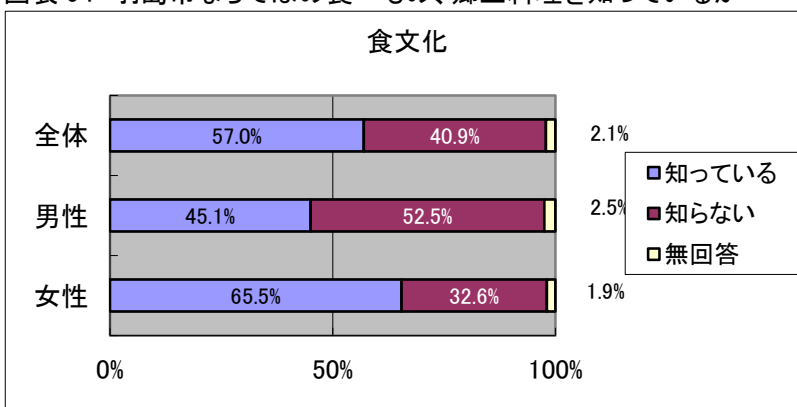
資料: 市民健康意識調査

図表 93 家族と一緒に食事をする回数(週)



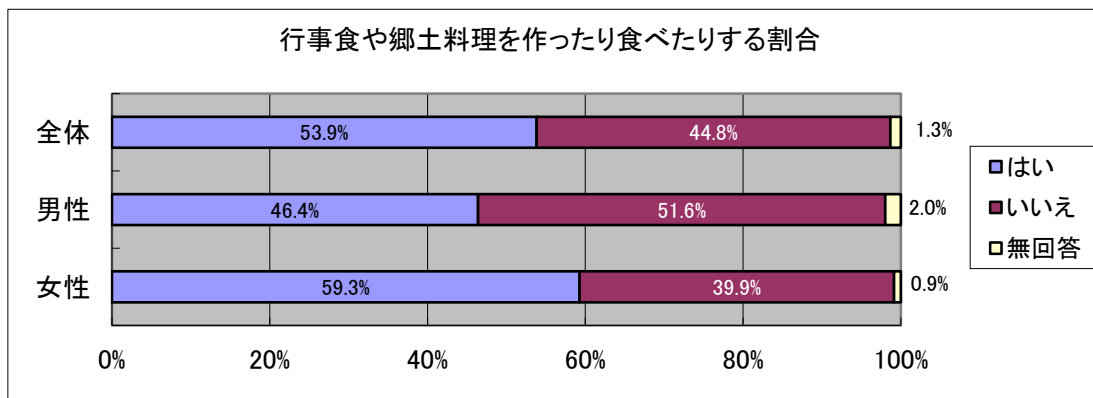
資料: 市民健康意識調査

図表 94 羽島市ならではの食べもの、郷土料理を知っているか



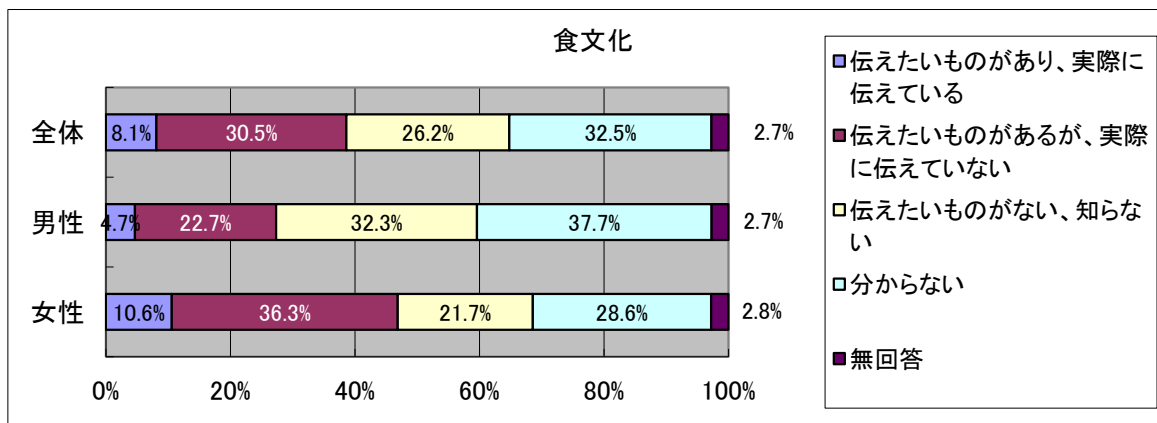
資料: 市民健康意識調査

図表 95 行事食や郷土料理を作ったり食べたりする割合



資料: 市民健康意識調査

図表 96 郷土料理や伝統料理を次世代に伝えて行きたいものはありますか。実際に伝えていますか。



資料: 市民健康意識調査

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|-----------------------------|-------|-------|
| 適正体重等の維持 | | |
| 肥満者(BMI25以上)の割合 | | |
| 20～60歳代男性 | 22.5% | 15%以下 |
| 40～60歳代女性 | 13.2% | 10%以下 |
| やせ(BMI18.5未満)の割合 | | |
| 20歳代女性 | 23.1% | 20%以下 |
| 低栄養傾向(BMI20以下)の65歳以上の高齢者の割合 | 17.6% | 現状維持 |
| 朝食欠食者の割合 | | |
| 20歳代男性 | 21.9% | 15%以下 |
| 30歳代男性 | 15.0% | 10%以下 |
| 3食きちんとした食事をする人の割合 | | |
| 男性 | 37.2% | 80%以上 |
| 女性 | 33.3% | 80%以上 |
| 家族と一緒に食事をする回数が週に4～5回以上の割合 | 72.4% | 80%以上 |
| 行事食や郷土料理を作ったり食べたりする割合 | 53.9% | 70%以上 |

◆目標値を達成するための取り組み

- 生活習慣病(糖尿病、心疾患、脳血管疾患など)の危険因子である肥満者を減少させるために、特定健康診査で指導が必要となった方に対し特定保健指導を実施し、適正な食事や運動について個別指導を実施します。
- 肥満や過度のダイエットなどによるやせ過ぎは健康に悪影響を及ぼすこと等の適切な情報提供を市のホームページや広報等により実施します。
- 1日3回の食事は、栄養・食生活の基本です。特に朝食をしっかりと規則正しい生活リズムを整えることが必要です。また、主食、主菜、副菜のそろったバランスの取れた食事の必要性や栄養成分表示等の食生活に役立つ情報を提供します。
- 家族一緒に食事をする「共食」は食事マナーや良好な家族関係を育むといわれています。「共食」の大切さを啓発していきます。
- 食生活のボランティア活動を行う食生活改善推進員を養成する講座「栄養教室」を開催し、会員を養成します。また食生活改善連絡協議会の活動を支援します。
- 食生活改善推進員による食育教室等の講習会を開催し啓発をします。
- 羽島ならではの食材や郷土料理を食生活改善推進員により啓発し、食文化を伝えていきます。
- 農政課と連携し市内産野菜の使用、地産地消を推進していきます。

2) 身体活動・運動

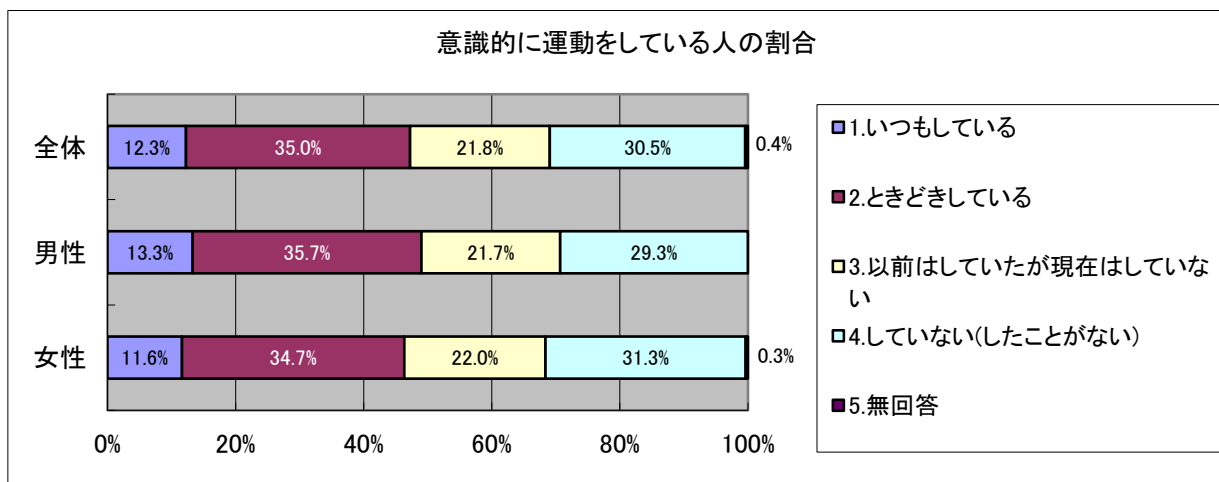
◆現状と課題

○意識的に運動を心がけている人の割合は、「いつもしている」「ときどきしている」を合わせると、男性では 49.0%、女性では 46.3%となっています。

○運動習慣者(1回 30 分以上で週 2 回以上運動を実施し、1 年以上継続をしている人)の割合が 20 歳～64 歳の男性では 15.4%、20 歳～64 歳の女性では 11.4%となっています。65 歳以上の男性では 50.6%、65 歳以上の女性では 37.8%となっています。65 歳以上の高齢者の方が定期的な運動を実施しています。

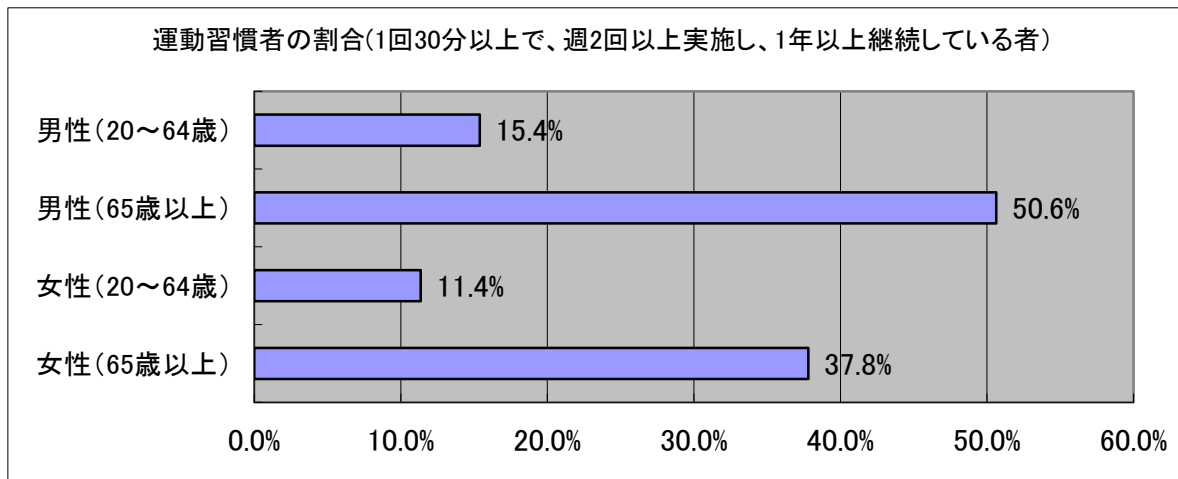
○地域活動を実施している割合(60～74 歳)は男性で 64.0%、女性で 56.9%となっています。

図表 97 意識的に運動を心がけている人の割合



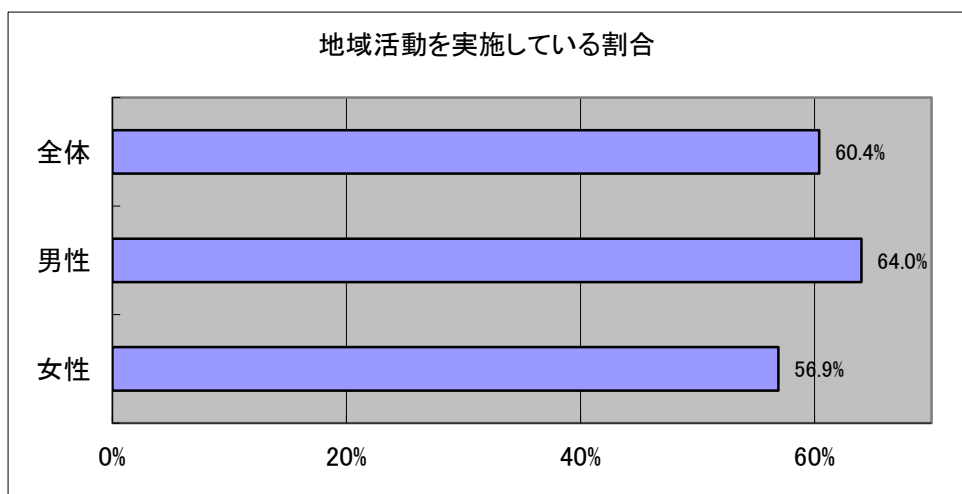
資料: 市民健康意識調査

図表 98 運動習慣者の割合



資料: 市民健康意識調査

図表 99 地域活動を実施している割合



資料：市民健康意識調査

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|--------------------------------|-------|-------|
| 意識的に運動を心がけている人の割合 | 47.3% | 50%以上 |
| 運動習慣者の割合 | | |
| 男性(20～64 歳) | 15.4% | 30%以上 |
| 女性(20～64 歳) | 11.4% | 30%以上 |
| 男性(65 歳以上) | 50.6% | 60%以上 |
| 女性(65 歳以上) | 37.8% | 50%以上 |
| 何らかの地域活動を実施している高齢者の割合(60～74 歳) | 60.4% | 75%以上 |

◆目標値を達成するための取り組み

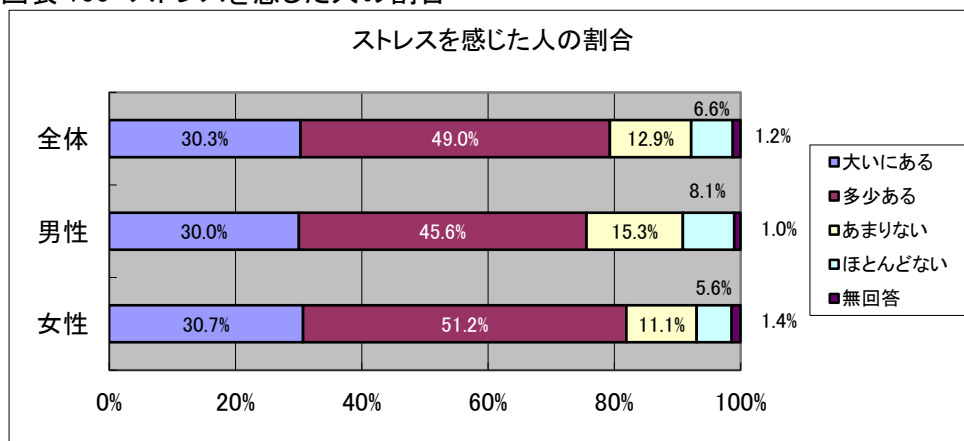
- 特定健康診査で指導が必要となった方に対し特定保健指導を実施し、自分の生活習慣を見直し、適度な運動について個別指導を実施します。
- 日常生活において、身体活動量を増加するためウォーキングの効果について知識の普及を図ります。
- 地域に根ざした自主運営型・複合型スポーツクラブである総合型地域スポーツクラブ等に多くの方が参加し、気軽にスポーツが楽しめる環境づくりに努めます。スポーツ振興課と連携しPRをしていきます。
- ウォーキングコースの整備や街灯の設置などに努めます。
- 積極的な外出や地域活動への参加は日常生活における身体活動を高め、高齢者の自立度低下を予防するため、積極的な社会参加を促します。

3) 休養・こころの健康づくり

◆現状と課題

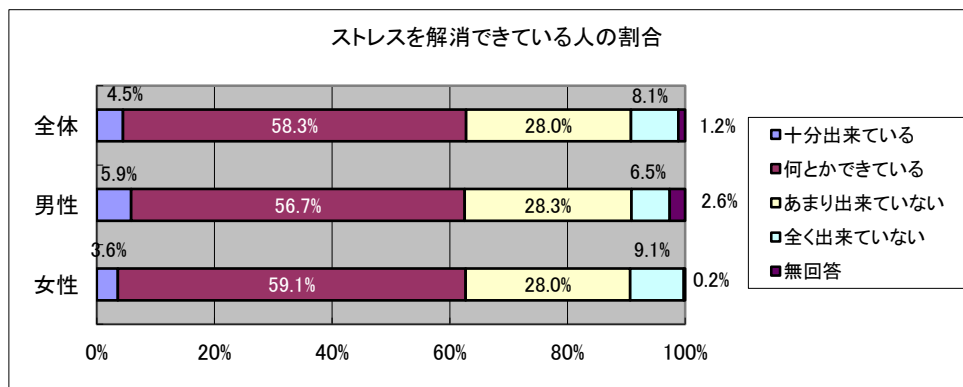
- 最近 1 か月間にストレスを感じた人の割合は「大いにある」が 30.3%、「多少ある」が 49.0%で合わせて 79.3%の人がストレスを感じています。
- ストレスを感じている人に対して、ストレスを解消できているか聞いたところ、「十分できている」「何とかできている」が 62.8%となっています。
- 日頃の睡眠で疲れがとれていない人の割合は 30.7%となっています。
- 自殺者数は経年的にみると減少しています。男女別では男性が多くなっています。

図表 100 ストレスを感じた人の割合



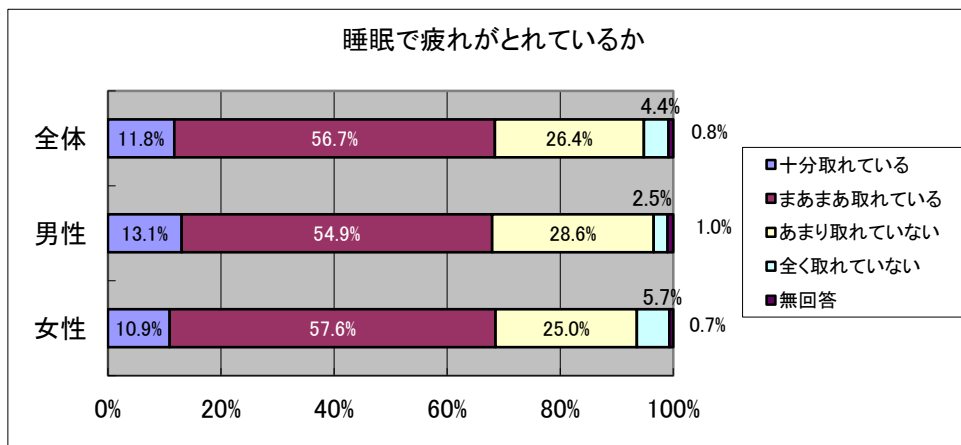
資料: 市民健康意識調査

図表 101 ストレスを解消できている人の割合



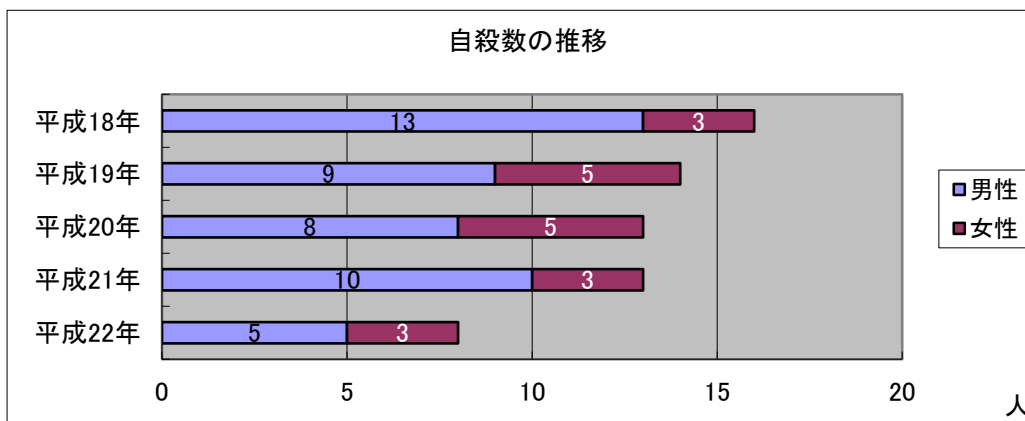
資料: 市民健康意識調査

図表 102 睡眠で疲れがとれているか



資料: 市民健康意識調査

図表 103 自殺数の推移



資料: 人口動態

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|-----------------------|-------|-------|
| ストレスを解消できている人の割合 | 62.8% | 80%以上 |
| 睡眠による休養を十分にとれていない人の割合 | 30.7% | 20%以下 |

◆目標値を達成するための取り組み

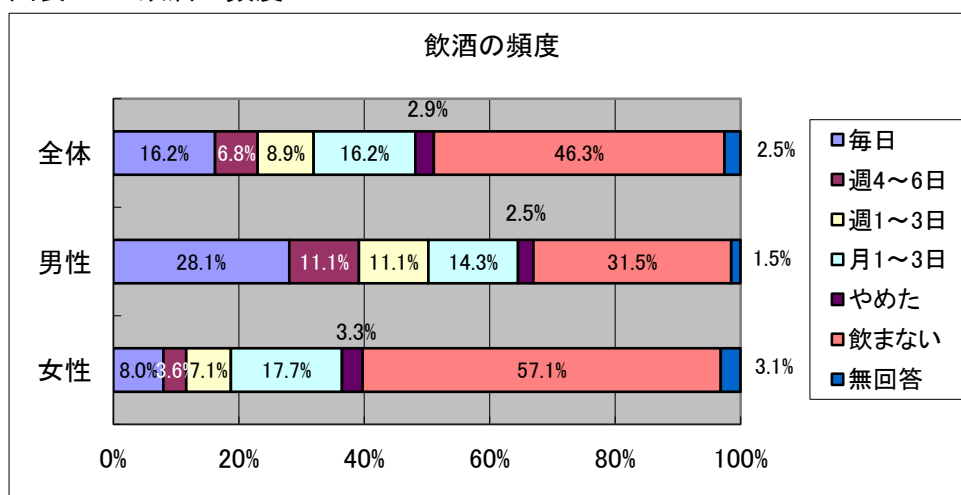
- ストレスは必ずしも悪いものではなく、いつの社会でもある程度のストレスは誰もが感じています。ストレスと上手につきあうために、自分なりのストレス解消法が見つかるよう啓発を実施します。
- 不調を感じた時に相談をしたり早期に医療機関を受診するなどの方法がとれるように相談窓口の周知をします。
- こころの健康づくりについて健康教育を実施します。

4) アルコール

◆現状と課題

- 男性の 64.6%、女性の 36.4%が飲酒すると答えており、そのうち男性の 28.1%が「毎日」、11.1%が「週 4～6 日」、女性の 8.0%が「毎日」、3.6%が「週 4～6 日」飲酒すると答えています。
- 生活習慣病のリスクを高める飲酒量(純アルコール摂取量)は男性で1日平均 40g以上、女性で 20g以上としており、男性では 16.8%、女性では 5.6%でした。

図表 104 飲酒の頻度



資料: 市民健康意識調査

図表 105 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している割合

男性(毎日 2 合以上、週 4～6 日 2 合以上)

女性(毎日 1 合以上、週 4～6 日 1 合以上)

| 区分 | 調査数 | 人数 | 割合 |
|----|-----|----|-------|
| 男性 | 400 | 67 | 16.8% |
| 女性 | 558 | 31 | 5.6% |

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|---------------------------|-------|---------|
| 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合 | | |
| 男性(1日あたりの純アルコール摂取量 40g以上) | 16.8% | 14.5%以下 |
| 女性(1日あたりの純アルコール摂取量 20g以上) | 5.6% | 4.8%以下 |

◆目標値を達成するための取り組み

- 地域の健康教育や特定保健指導等においてアルコールの有害性に関する正しい知識の普及を図ります。
- 特定保健指導等で飲酒の量を減らしたい人への指導を実施します。

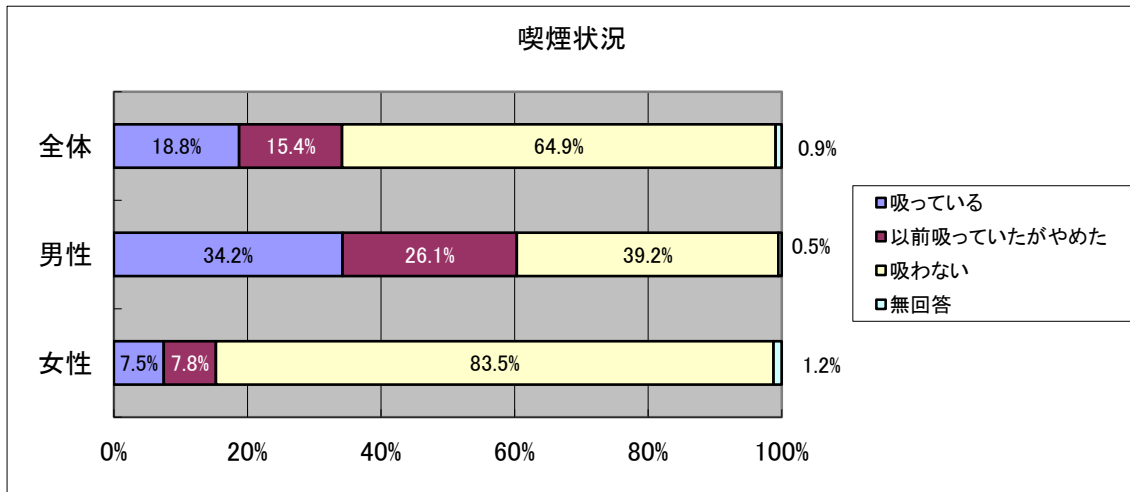
5) たばこ

◆現状と課題

○男性の 34.2%、女性の 7.5%が喫煙者となっています。

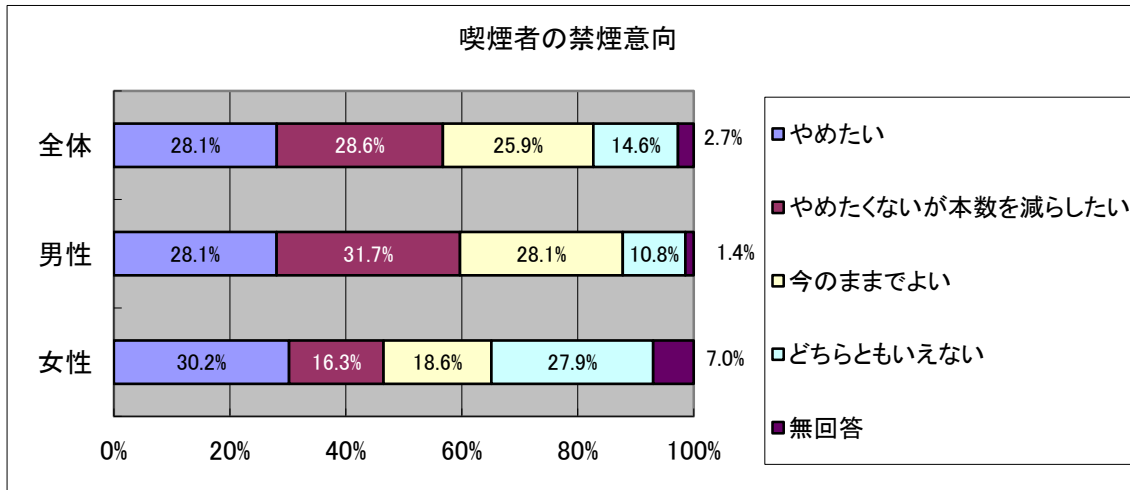
○喫煙者で禁煙したいと思っている人の割合は、男性で 28.1%、女性で 30.2%となっています。

図表 106 喫煙状況



資料:市民健康意識調査

図表 107 喫煙者の禁煙意向



資料:市民健康意識調査

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|--------|-------|-------|
| 喫煙者の割合 | | |
| 男性 | 34.2% | 25%以下 |
| 女性 | 7.5% | 5%以下 |

◆目標値を達成するための取り組み

- 喫煙が健康に及ぼす影響について正しい知識を情報提供し、受動喫煙の危険性についても普及啓発します。
- 禁煙を希望する人に対し、禁煙支援を実施します。
- 肺がん検診時において、健康教育を実施します。

6) 歯の健康

◆現状と課題

○岐阜県成人歯科保健実態アンケート調査の結果によると、岐阜圏域（岐阜市を除く）の60歳（55～64歳）における咀嚼良好者の割合は64.1%でした。

○成人歯科健康診査の結果によると、進行した歯周炎を有する人の割合は、40歳で34.8%、50歳で59.6%、60歳で47.7%でした。

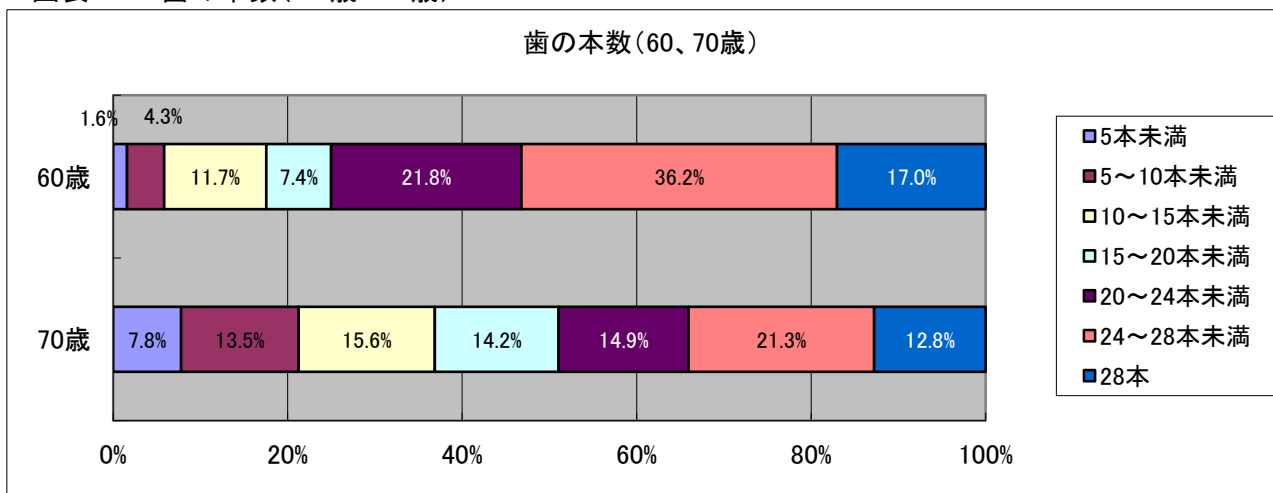
○8020運動では、80歳で自分の歯を20歯以上に保つことを推進しています。しかし、60～74歳では、男性17.4本、女性19.5本で20本以下となっています。

○60歳（55～64歳）で24歯以上あるのは53.2%、70歳（65～74歳）では、34.1%となっています。

○40歳（35～44歳）で喪失歯のない者の割合は65.8%となっています。

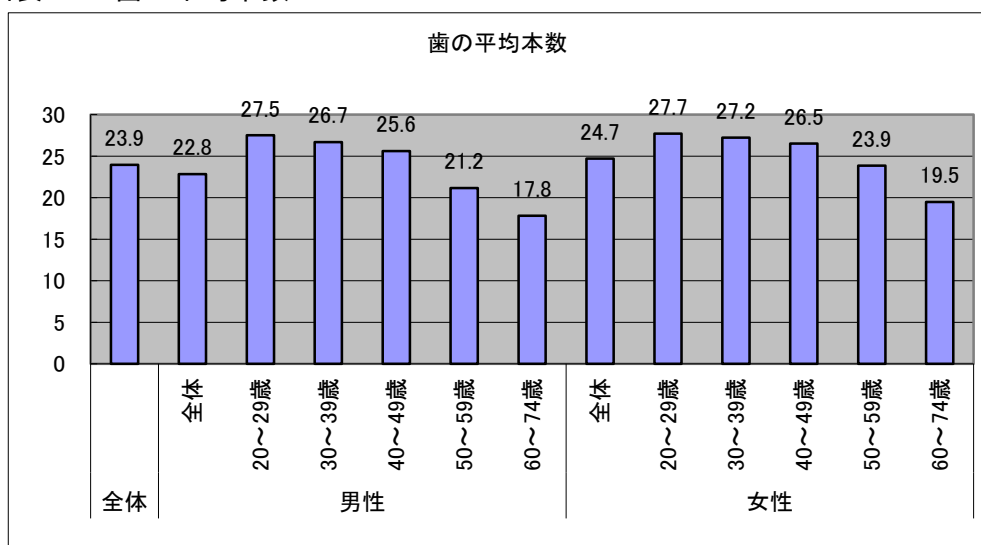
○定期的に歯科健診を受けているのは、全体では17.6%となっています。

図表 108 歯の本数(60歳・70歳)



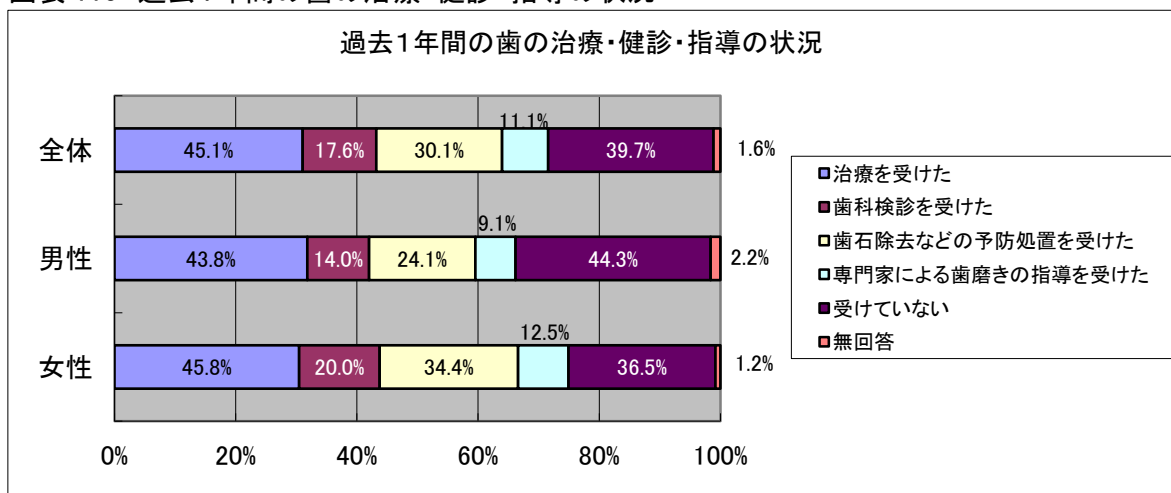
資料: 市民健康意識調査

図表 109 歯の平均本数



資料: 市民健康意識調査

図表 110 過去1年間の歯の治療・健診・指導の状況



資料: 市民健康意識調査

◆目標値

| 項目 | 現状値 | 目標値 |
|-------------------------------|-------|-------|
| 60歳代における咀嚼良好者の割合 | 64.1% | 80%以上 |
| (岐阜圏域) | | |
| 進行した歯周炎を有する人の割合 | | |
| 40歳 | 34.8% | 30%以下 |
| 50歳 | 59.6% | 40%以下 |
| 60歳 | 47.7% | 45%以下 |
| 60歳(55~64歳)で24歯以上自分の歯を有する人の割合 | 53.2% | 60%以上 |
| 40歳(35~44歳)で喪失歯のない人の割合 | 65.8% | 75%以上 |
| 過去1年間に歯科健診を受けた人の割合 | 17.6% | 20%以上 |

◆目標値を達成するための取り組み

- 成人歯科健康診査を推進をし、歯周疾患に対する知識を高めます。
- 8020運動を推進し、健康な歯や口腔機能の維持に努めます。
- 生涯を通じて健やかな日常生活を送るために、咀嚼機能をはじめとする口腔機能を向上させることが大切であることから、高齢者に対して口腔機能を向上させる教室を実施します。
- かかりつけ歯科医院を持ち、定期的に歯科健診・歯科保健指導を受ける習慣をつけ、自己管理能力の向上を目指します。

第5章 計画の推進

1 計画の推進体制

健康づくりの推進者は、市民一人ひとりです。健康づくりを実践するためには、市民一人ひとりが健康づくりの知識・手法を身につけ、主体的に取り組むことが必要ですが、個人の力だけでは限界があり、社会全体でも個人を支援することが必要です。

2 関係機関等の役割と連携

1)市の役割

本計画を推進する中核的な役割を担うとともに、健康づくりに関係する部署と連携し、市民が主体的に健康づくりに取り組むことができるよう関連事業における充実をはかり支援します。また、市民一人ひとりが健康づくりを実践するために、関係機関・団体等との連携を深め、取り組みを推進します。

2)家庭の役割

市民一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、主体的に取り組むことが必要です。また、家庭は、人が生活していく上での基礎となる場であり、健康づくりにおいても重要な役割を占めます。乳幼児期からの生活習慣の基本を身につけるなど、よりよい家庭環境を築くことが大切です。

3)保育園、幼稚園、学校、事業所の役割

保育園、幼稚園や学校は、家庭に次いで多くの時間を過ごす場所であり、子供の成長や健康を維持・増進させる大切な役割を担っています。

また、青年期、壮年期においては事業所などの職場の影響が大きくなります。事業所等においても健康づくりを目的とする取り組みを推進することが大切です。

4)保健・医療・福祉の専門家の役割

市民の健康を守る上で、医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携は重要です。健康についての様々な問題に対して専門的な医療や情報提供を行います。また、いつでも相談することができる「かかりつけ」としての機能が期待されます。

5)ボランティア等の役割

ボランティア団体などの特定の目的をもった団体は専門性を生かした活動を行い、市民の健康づくりの推進に大きな役割を果たすことが期待されます。

3 評価

(1)健康づくり施策検討委員会での評価

計画の推進にあたっては、目標値の達成状況の評価を行い、重点的な取り組みについて検討します。

(2)中間評価・最終評価

中間評価を平成29年度に実施し、最終評価を34年度に実施します。結果については、広報紙及びホームページ等に掲載し、市民への周知を行ないます。

(3)計画の見直し

本計画は平成25年度から平成34年度までの10年間について定めています。必要に応じて計画の見直しを行います。

○目標値まとめ

1 母子の健康づくり

| | 項目 | 現状値 | 目標値 |
|---|--------------------------------|-------|-------|
| 妊娠 出産 快産 適に 関す の確 保 安全 性の | 妊娠中、心身ともに快調であると感じた人の割合 | 49.6% | 100% |
| | 出産について満足している人の割合 | 81.4% | 100% |
| | 妊娠中、産後に相談できる人がいる割合 | 97.7% | 100% |
| | 妊娠11週以下での妊娠の届け出率 | 89.1% | 100% |
| | 母子健康管理指導事項連絡カードを知っている妊婦の割合 | 31.2% | 100% |
| | 妊娠中の喫煙率 | 3.6% | 0% |
| | 妊娠中の同居者の喫煙率 | 36.7% | 0% |
| | 妊娠中の飲酒率 | 5.5% | 0% |
| 歯 | う歯のない3歳児の割合 | 80.6% | 85%以上 |
| 育児 環境 と事 故防 止 | 育児期間中の自宅での喫煙率(こどもの周囲で吸っている喫煙者) | 26.8% | なくす |
| | 乳児期にうつぶせ寝を防いでいない割合 | 5.8% | なくす |
| | 事故防止対策を実施している家庭の割合 | | |
| | 1歳6カ月児 | 81.4% | 100% |
| | 3歳児 | 85.0% | 100% |
| | 心肺蘇生法を知っている家庭の割合 | | |
| | 乳児 | 16.9% | 100% |
| | 1歳6カ月児 | 14.9% | 100% |
| | 3歳児 | 15.7% | 100% |
| | チャイルドシートを必ずしている割合 | | |
| | 乳児 | 85.3% | 100% |
| 1歳6カ月児 | 81.4% | 100% | |
| 3歳児 | 74.0% | 100% | |
| MR接種率 | | | |
| 第1期 | 93.7% | 95%以上 | |
| 第2期 | 95.5% | 96%以上 | |
| 育子 見育 てと 加 | こころに余裕を持って子育てしている割合 | 67.9% | 増加 |
| | 育児について相談相手のいる母親の割合 | 97.3% | 増加 |
| | 父親の育児参加や協力状況に満足している割合 | 71.2% | 増加 |

2 児童・生徒の健康づくり

| | 項目 | 現状値 | 目標値 |
|-------------------|-----------------|----------|------------|
| 栄養・食生活 | 児童・生徒の肥満者 | | |
| | 小学生男子 | 3.8% | 3.5%以下 |
| | 小学生女子 | 2.6% | 2.5%以下 |
| | 中学生男子 | 5.3% | 5%以下 |
| | 中学生女子 | 4.9% | 4.5%以下 |
| | 高校3年生 | 5.7% | 5%以下 |
| | 朝食を食べない児童・生徒の割合 | | |
| | 小学6年生 | 2.4% | 0% |
| | 中学3年生 | 1.9% | 0% |
| | 高校3年生 | 8.9% | 0% |
| | 3食きちんとした食事をする割合 | | |
| | 小学6年生 | 39.3% | 50%以上 |
| | 中学3年生 | 26.5% | 40%以上 |
| | 高校3年生 | 17.7% | 30%以上 |
| | 郷土料理をつくったり食べる割合 | | |
| | 小学6年生 | 80.3% | 90%以上 |
| | 中学3年生 | 75.9% | 80%以上 |
| | 高校3年生 | 56.3% | 70%以上 |
| 学校給食における市内産野菜等使用量 | | 16,606kg | 20,000kg以上 |
| 休養・こころの健康づくり | あまりよく眠れていない割合 | | |
| | 高校3年生 | 29.1% | 10%以下 |
| | ストレス解消法がある割合 | | |
| | 小学6年生 | 93.9% | 100% |
| | 中学3年生 | 90.6% | 100% |
| 高校3年生 | 83.1% | 100% | |

| | 項目 | 現状値 | 目標値 |
|---------------------------------|------------------------------|-------|-------|
| 喫煙、 飲酒および 薬物使用の 防止 | 喫煙経験率 中学3年生 | 4.3% | 0% |
| | 喫煙率 高校3年生 | 17.8% | 0% |
| | 飲酒経験率 中学3年生 | 27.8% | 0% |
| | 飲酒率 高校3年生 | 36.1% | 0% |
| | 薬物乱用の有害性について知っている割合 小学6年生 | 93.8% | 100% |
| | 中学3年生 | 97.5% | 100% |
| | 高校3年生 | 88.0% | 100% |
| 歯 | う歯所有者率 小学生 | 53.5% | 50%以下 |
| | 中学生 | 45.2% | 40%以下 |
| | | | |
| 性 に 関 す る 知 識 | 避妊法を正確に知っている割合 高校3年生 | 32.9% | 100% |
| | 性感染症を正確に知っている割合 高校3年生 | 22.8% | 100% |

3 成人・高齢者の健康づくり

| | 項目 | 現状値 | 目標値 |
|-----------------------------|-------------------------------------|-------|-------|
| 生活習慣病の発症・重症化予防と健康寿命 | 国保特定健康診査受診率 | 33.7% | 65%以上 |
| | 国保特定保健指導実施率 | 34.9% | 45%以上 |
| | 国保特定健康診査 メタボリックシンドローム該当者の割合(40～74歳) | | |
| | 男性 | 32.5% | 減少 |
| | 女性 | 14.5% | 減少 |
| | 国保特定健康診査 HbA1c6.1以上の割合 | | |
| | 男性 | 11.4% | 減少 |
| | 女性 | 7.4% | 減少 |
| | 国保特定健康診査 高血圧の割合 | | |
| | 男性 | 58.1% | 減少 |
| | 女性 | 52.5% | 減少 |
| | 国保特定健康診査 高中性脂肪(150mg/dl以上)の割合 | | |
| | 男性 | 41.8% | 減少 |
| | 女性 | 31.5% | 減少 |
| | がん検診受診率 | | |
| | 胃がん検診(40～69歳) | | |
| | 男性 | 38.2% | 50%以上 |
| | 女性 | 27.3% | 50%以上 |
| | 肺がん検診(40～69歳) | | |
| 男性 | 39.5% | 50%以上 | |
| 女性 | 23.9% | 50%以上 | |
| 大腸がん検診(40～69歳) | | | |
| 男性 | 27.7% | 50%以上 | |
| 女性 | 23.6% | 50%以上 | |
| 子宮がん検診(20～69歳) | 26.6% | 50%以上 | |
| 乳がん検診(40～69歳) | 32.0% | 50%以上 | |
| 前期高齢者(65～74歳)の要支援・要介護認定者発生率 | | | |
| 男性 | 3.6% | 現状維持 | |
| 女性 | 3.8% | 現状維持 | |
| 65歳の健康寿命 | | | |
| 男性 | 15.8年 | 増加 | |
| 女性 | 19.0年 | 増加 | |

| | 項目 | 現状値 | 目標値 |
|-----------|-------------------------------|-------|---------|
| 栄養・食生活 | 適正体重等の維持 | | |
| | 肥満者(BMI25以上)の割合 | | |
| | 20～60歳代男性 | 22.5% | 15%以下 |
| | 40～60歳代女性 | 13.2% | 10%以下 |
| | やせ(BMI18.5未満)の割合 | | |
| | 20歳代女性 | 23.1% | 20%以下 |
| | 低栄養傾向(BMI20以下)の割合 | | |
| | 65歳以上 | 17.6% | 現状維持 |
| | 朝食欠食者の割合 | | |
| | 20歳代男性 | 21.9% | 15%以下 |
| 30歳代男性 | 15.0% | 15%以下 | |
| 身体活動・運動 | 3食きちんとした食事をする人の割合 | | |
| | 男性 | 37.2% | 80%以上 |
| | 女性 | 33.3% | 80%以上 |
| | 家族と一緒に食事をする回数が週に4～5回以上の割合 | 72.4% | 80%以上 |
| | 行事食や郷土料理を作ったり食べたりする割合 | 53.9% | 70%以上 |
| こ休こ養る・ | 意識的に運動を心がけている人の割合 | 47.3% | 50%以上 |
| | 運動習慣者の割合 | | |
| | 男性(20～64歳) | 15.4% | 30%以上 |
| | 女性(20～64歳) | 11.4% | 30%以上 |
| | 男性(65歳以上) | 50.6% | 60%以上 |
| 女性(65歳以上) | 37.8% | 50%以上 | |
| アルコール | 何らかの地域活動を実施している高齢者の割合(60～74歳) | 60.4% | 75%以上 |
| | ストレスを解消できている人の割合 | 62.8% | 80%以上 |
| たばこ | 睡眠による休養を十分にとれていない人の割合 | 30.7% | 20%以下 |
| | 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合 | | |
| たばこ | 男性(1日あたりの純アルコール摂取量40g以上) | 16.8% | 14.5%以下 |
| | 女性(1日あたりの純アルコール摂取量20g以上) | 5.6% | 4.8%以下 |
| たばこ | 喫煙者の割合 | | |
| | 男性 | 34.2% | 25%以下 |
| | 女性 | 7.5% | 5%以下 |

| | 項目 | 現状値 | 目標値 |
|------------------|-------------------------------|-------------|-------|
| 歯 の 健 康 | 60歳代における咀嚼良好者の割合 | 岐阜圏域(64.1%) | 80%以上 |
| | 進行した歯周炎を有する人の割合 | | |
| | 40歳 | 34.8% | 30%以下 |
| | 50歳 | 59.6% | 40%以下 |
| | 60歳 | 47.7% | 45%以下 |
| | 60歳(55～64歳)で24歯以上自分の歯を有する人の割合 | 53.2% | 60%以上 |
| | 40歳(35～44歳)で喪失歯のない人の割合 | 65.8% | 75%以上 |
| | 過去1年間に歯科健診を受けた人の割合 | 17.6% | 20%以上 |

○羽島市健康づくり施策検討委員会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 羽島市の健康づくりに関する施策を、総合的かつ効果的に推進するため、羽島市健康づくり施策検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 健康づくり施策の審議及び調整に関すること。
- (2) 健康づくり施策について関係部課間の総合的な調整に関すること。
- (3) 前2号に定めるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 委員会は、市長が委嘱する20人以内の委員をもって構成する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(組織)

第5条 委員会は、会長、副会長及び委員を持って組織する。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、委員会を代表し、会務を総括する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、必要に応じて会長が招集する。ただし、委員の委嘱後最初の会議は、市長が招集する。

2 会議の議長は、会長とする。

(研究部会)

第7条 委員会の所掌事項を円滑に遂行するため、研究部会を置く。

2 研究部会は、次の各号に掲げる事務を所掌する。

- (1) 委員会に付議する事項に関する企画、調査及び研究に関すること。
- (2) 委員会から指示された事項の調査及び研究に関すること。

(3) その他委員会を補助するために必要な事項の調査及び研究に関すること。

3 研究部会は、会長が指名する者をもって組織する。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、福祉部健康管理課において行う。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この要綱は、平成14年8月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

○羽島市健康づくり施策検討担当者名簿

| 所 属 | 氏 名 |
|---------------------|--------|
| 羽島市民病院 精神保健福祉士 | 木下 良敏 |
| 羽島市学校教育研究会養護教諭部会長 | 赤塚 真美 |
| 教育委員会学校教育課 係長 | 吉田 圭子 |
| 教育委員会生涯学習課 課長補佐 | 不破 三郎 |
| 教育委員会スポーツ振興課 係長 | 高橋 浩之 |
| 高齢福祉課 係長 | 國井 真美子 |
| 福祉課 係長 | 林 和子 |
| 保険年金課 係長 | 高田 裕彰 |
| 農政課 係長 | 浅野 光昭 |
| 健康管理課 課長 | 後藤 啓一 |
| 健康管理課 課長補佐(兼)保健指導係長 | 横山 郁代 |
| 健康管理課 技術主幹 | 柴田 恵津子 |
| 健康管理課 保健師 | 赤嶺 真理 |

○羽島市健康づくり施策検討委員会名簿

(敬称略 順不同)

| 役 職 名 | 氏 名 |
|-------------------|--------|
| 羽島市医師会長 | 田中 吉政 |
| 羽島市自治委員会連絡協議会 | 浅井 廣志 |
| 羽島市体育協会会長 | 水谷 晃三 |
| 羽島歯科医師会長 | 田中 資康 |
| 羽島市学校薬剤師会長 | 小川 徹 |
| 岐阜保健所長 | 竹腰 知治 |
| 岐阜県立看護大学教授 | 北山 三津子 |
| 羽島市民生委員児童委員協議会長 | 小池 弘公 |
| 羽島市老人クラブ連合会長 | 近藤 即男 |
| 羽島市保育会会長 | 北川 山治 |
| 羽島市小中学校長会会長 | 平松 好道 |
| 羽島市 PTA 連合会長 | 横田 鉄明 |
| 羽島市学校教育研究会養護教諭部会長 | 赤塚 真美 |
| 羽島市食生活改善連絡協議会長 | 江崎 紀久代 |
| スポーツ体操指導員 | 小川 勇美子 |
| 公募委員 | 木村 祐三 |

○元気はしま 21 第 2 期計画策定経過の概要

| 時 期 | 実 施 内 容 |
|-------------------|---|
| 平成 23 年 4 月 26 日 | 健康づくり施策検討担当者会議の開催 最終評価及び第 2 期計画立案のためのアンケート |
| 平成 23 年 6 月 23 日 | 健康づくり施策検討委員会の開催 最終評価及び第 2 期計画立案のためのアンケート |
| 平成 23 年 7 月～12 月 | 健康意識調査実施(母子) |
| 平成 23 年 9 月 | 市民健康意識調査実施(成人) |
| 平成 23 年 10 月～11 月 | 毎日の生活についてのアンケート実施(小中高校生) |
| 平成 24 年 1 月～3 月 | アンケート集計・評価 |
| 平成 24 年 5 月 22 日 | 健康づくり施策検討担当者会議の開催 アンケート調査結果、最終評価 |
| 平成 24 年 6 月 7 日 | 健康づくり施策検討委員会の開催 アンケート調査結果、最終評価 |
| 平成 24 年 9 月 18 日 | 健康づくり施策検討担当者会議の開催 第 2 期計画素案の検討 |
| 平成 24 年 10 月 11 日 | 健康づくり施策検討委員会の開催 第 2 期計画素案の検討 |
| 平成 24 年 12 月 | パブリックコメント |
| 平成 25 年 1 月 24 日 | 健康づくり施策検討担当者会議の開催 パブリックコメントの報告 |
| 平成 25 年 2 月 21 日 | 健康づくり施策検討委員会の開催 パブリックコメントの報告 |

元気はしま21

(羽島市第2期健康増進計画)

発 行 2013年3月

発 行 者 羽島市
岐阜県羽島市竹鼻町55番地
〒501-6292 ☎(058)392-1111

編 集 福祉部健康管理課
